

**令和6年度
生活習慣病検診管理指導協議会**

子宮がん部会の審議事項について

－ 概要と内容 －

宮城県保健福祉部健康推進課

がん部会の内容（本年度からの変更点）

1 生活習慣病検診管理指導協議会
各がん部会と精度管理について

← 説明

2 概要調査結果

← 本年度の状況
と全国比較

3 チェックリスト遵守状況調査結果

4 がん検診結果別人員等調査結果
(プロセス指標)

} 全国との比較
を中心に



全国値のデータが公表
されている年度を使用
(本年度のデータは、
集計後、来年度の部会
の資料で使用)

5 アウトカム指標

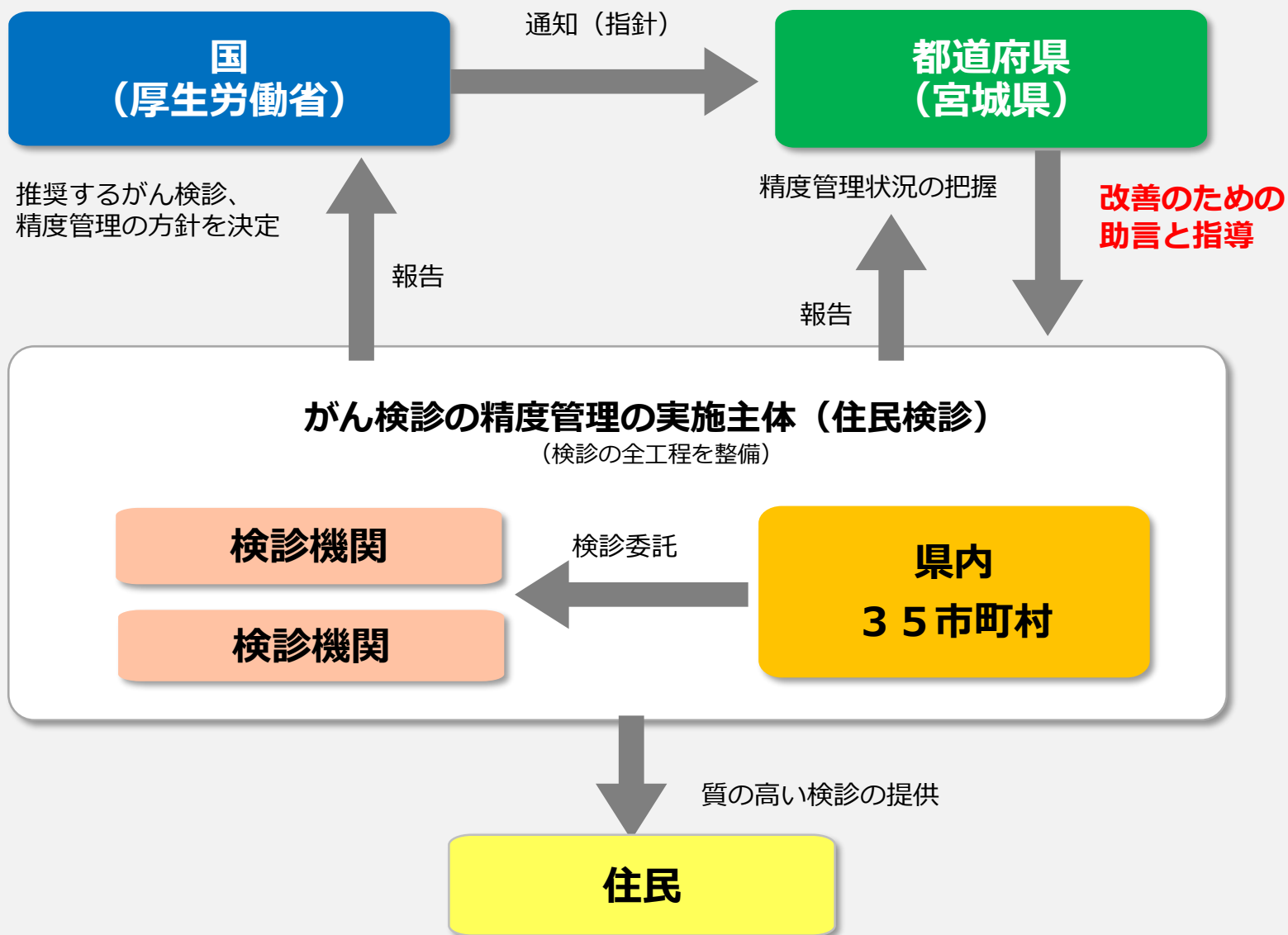
← 今回から追加

がん部会の内容



- 1 生活習慣病検診管理指導協議会各がん部会と精度管理について
- 2 概要調査結果
- 3 チェックリスト遵守状況調査結果
- 4 がん検診結果別人員等調査結果
(プロセス指標)
- 5 アウトカム指標

がん検診の精度管理に関わる組織

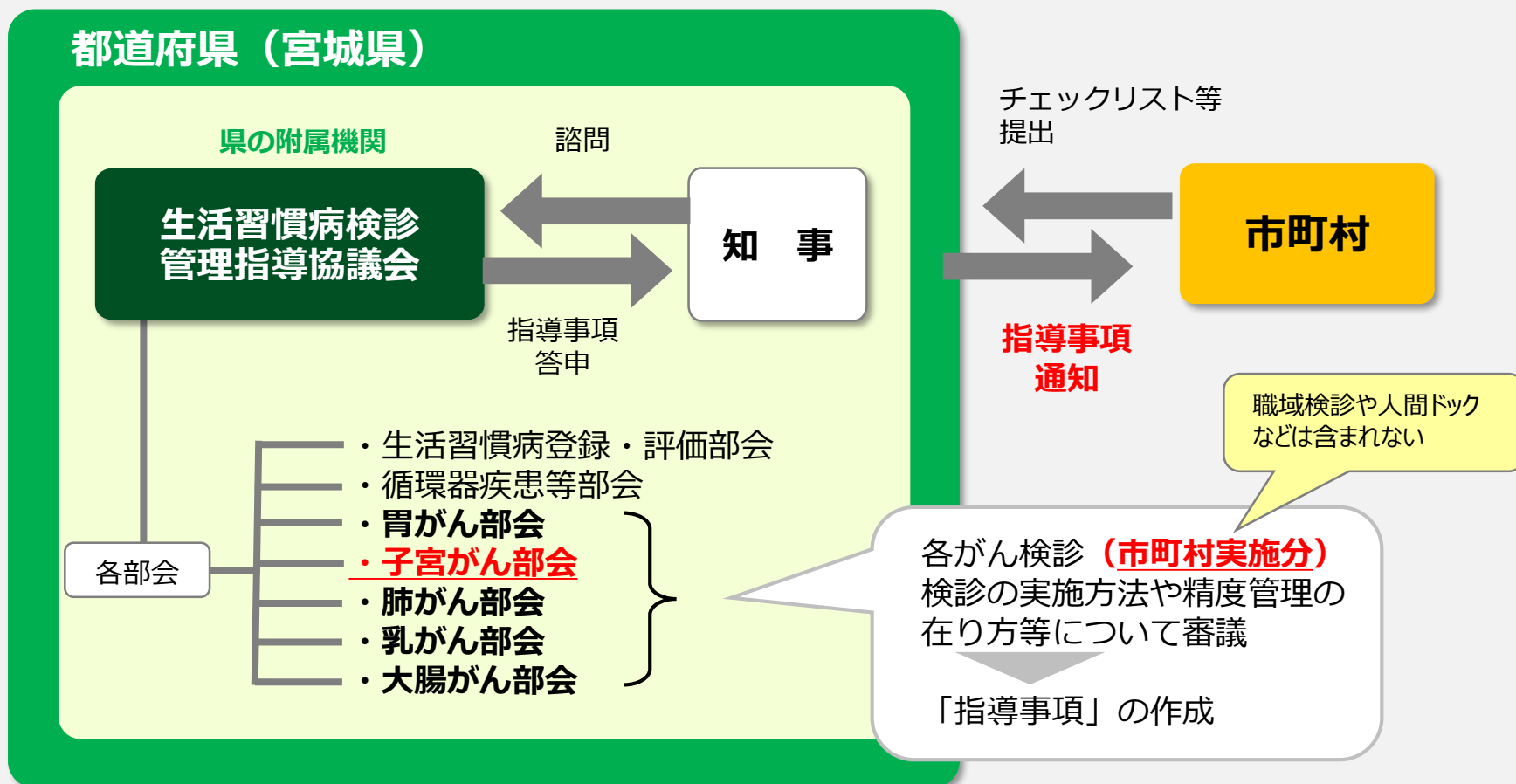


市町村が実施するがん検診への指導

生活習慣病検診管理指導協議会とは

厚生労働省健康局総務課長通知、健総発第0331012号「健康診査管理指導等事業実施のための指針」

都道府県は、がん、心臓病等の生活習慣病の動向を把握し、市町村、医療保険者及び検診機関に対し、検診の実施方法や精度管理の在り方等について専門的な見地から適切な指導を行うために、生活習慣病検診等管理指導協議会を設置。



法律に基づく各検診（健診）

ライフステージの各段階にあわせた健診（検診）

年代	主な検診・健診		対象	実施主体	根拠法
妊娠中	妊産婦健康診査		妊娠前期・後期	市町村	母子保健法
出産～	乳幼児健康診査		3か月～3歳		
就学	就学時健康診断		入学校入学時	各教育委員会	学校保健安全法
	定期・臨時健康診断		幼稚園～大学	各学校	
就労～	職域検診 (会社員等)	一般健康診断	就職～退職	事業者	労働安全衛生法
退職～		特定健康診査	40～74歳	医療保険者	高齢者医療確保法
		各種がん検診	就職～退職 (規定なし)	事業者 (オプション)	なし (福利厚生の一環)
	住民検診	各種がん検診	20～40歳以上 (がん種別に異なる)	市町村 (努力義務)	健康増進法
	(会社員、自営業、無職)	特定健康診査	40～74歳	医療保険者	高齢者医療確保法
	(参考) 人間ドックなど		(規定なし)	個人 (一部補助がある場合あり)	なし (福利厚生の一環)

含まれない

指導対象となる
がん検診

「健診」は健康診断（健康診査）の略。疾病の予防、早期発見のために全身の健康状態を評価。
「検診」はある特定疾患（ここでは「がん」）に罹患しているかどうか検査。

がん検診の最終目的

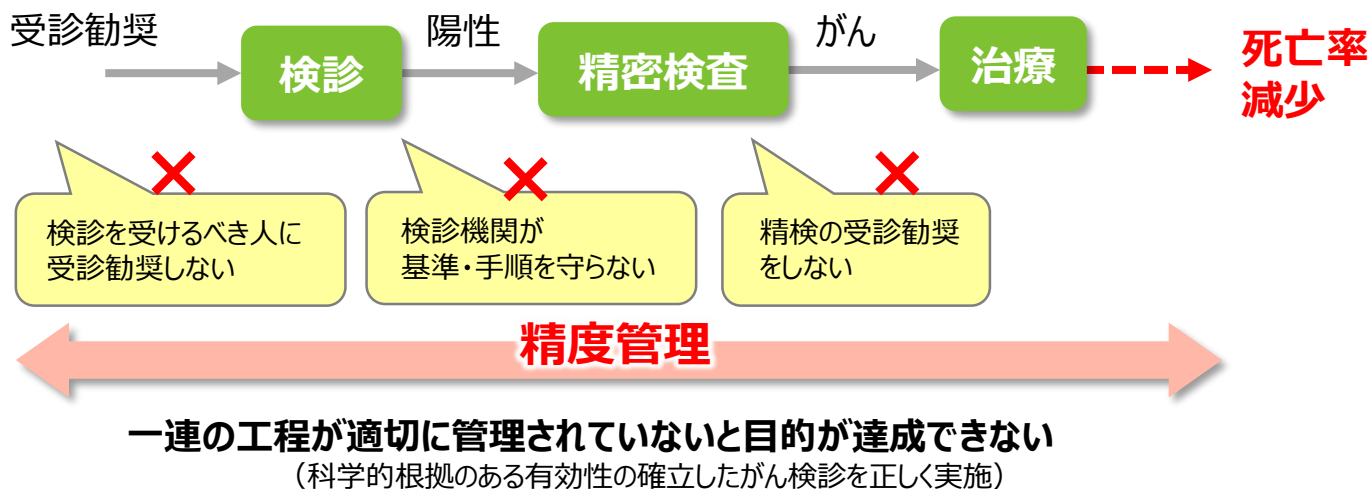
市町村が行うがん検診（対策型検診）の目的

（予防対策として行われる公共的なサービス）

がんの死亡者の減少を目指すもの

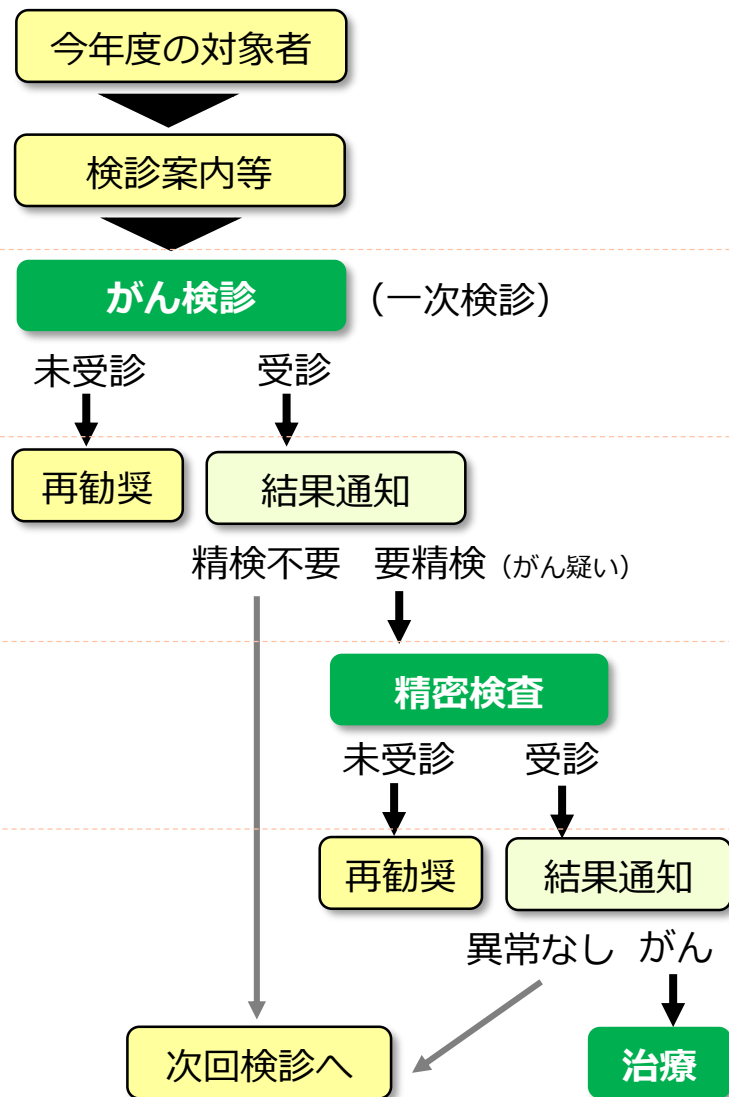
（対象集団全体の死亡率を下げる）

がん検診の流れ



がん検診の精度管理とは

がん検診の流れ



市町村

事前準備

- ・名簿、台帳整備
- ・検診機関委託
- ・受診勧奨

- ・検査結果通知
- ・再勧奨

- ・精検結果の把握
- ・精検未受診者の追跡、再勧奨

事後評価
(受診率等)

検診機関

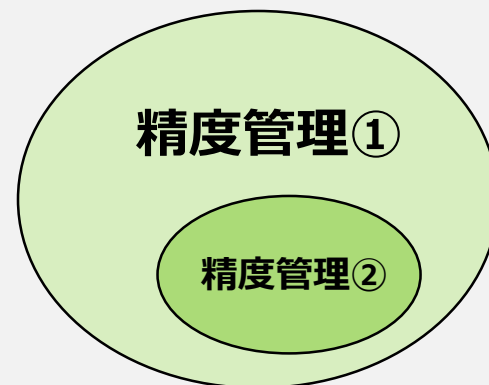
- ・検査、診断
- ・検査精度管理
- ・検診従事者研修
- ・(検査結果通知)

精度管理とは、事前準備から事業評価までの**全工程**の質の担保

「精度管理」の違い

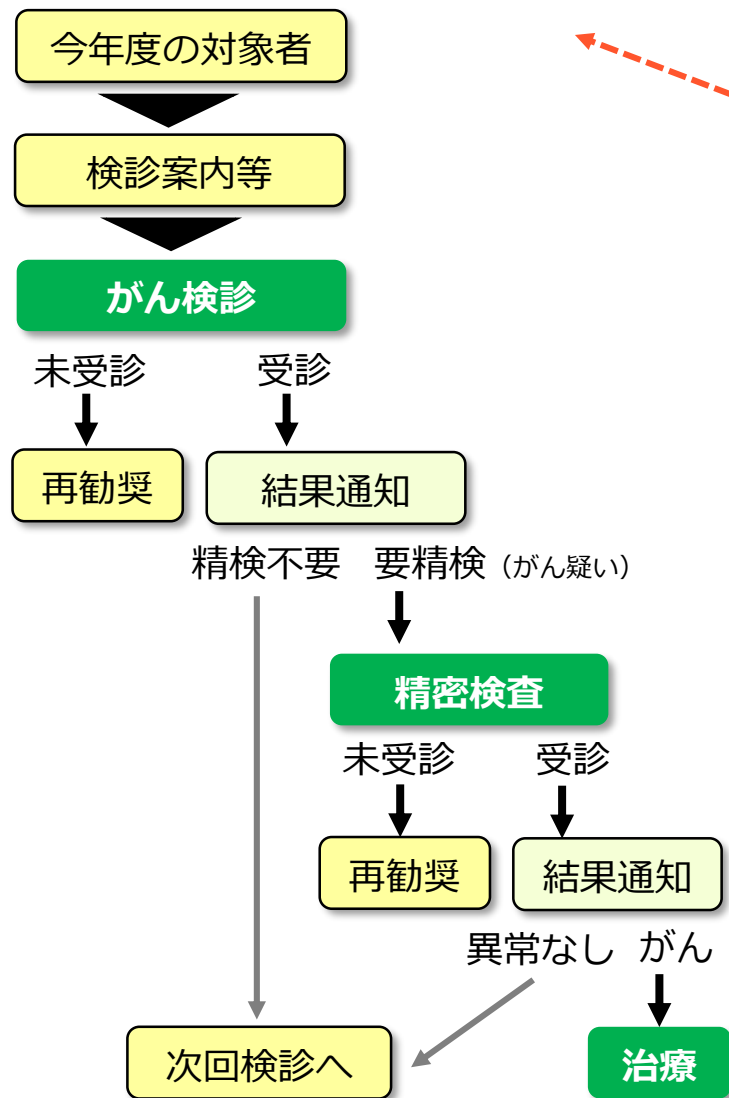
	「精度管理」①	「精度管理」②
目的	死亡率減少の効果に結び付くがん検診プログラム（事前準備から事業評価までの全工程の質の担保）を行うこと	（検査の測定値等を）正しく判定すること
対象	市町村が中心で 検診機関、医療機関	検査を行う検診機関、医療機関 （検体検査部門）
評価方法	チェックリスト遵守状況調査、 プロセス指標（がん検診結果別人員等調査）	内部精度管理、外部精度管理

- ・ 精度管理①に精度管理②が含まれる。
- ・ 精度管理①は、地域の関係者全体（県・市町村・検診機関）が連携して行うもので、市町村だけが行うものではない。



がん検診の要件

がん検診の流れ



がん検診の3要件

— 科学的根拠に基づく —

市町村が実施する
対策型検診

(この順番で)

① 正しい検診
を行う

有効性が確立した検診
を行う

- ・検診の種類、項目
- ・対象年齢
- ・受診間隔 など

② 正しく行う

適切な精度管理を行い、
検診の質を高く保つ

③ 受診者規模
拡大

多くの人に受診してもらう

- ・適格な対象集団を特定
- ・全員に個別勧奨

一連の流れ

がん死亡率減少

がん検診の精度管理はどう評価するか

精度管理状況を評価する3種類の指標

短期的指標

技術・体制指標

国が推奨する
最低限の検診体制
(受診勧奨、検診機関など)

プロセス指標

各体制の下で行った
検診の中間結果
(受診率、要精検率など)

長期的指標

アウトカム指標

がん死亡率

①概要調査

②チェックリスト
遵守状況調査

③がん検診結果別
人員等調査

↑
検診が死亡率に与
えた影響が判明す
るには相当な時間
を要する

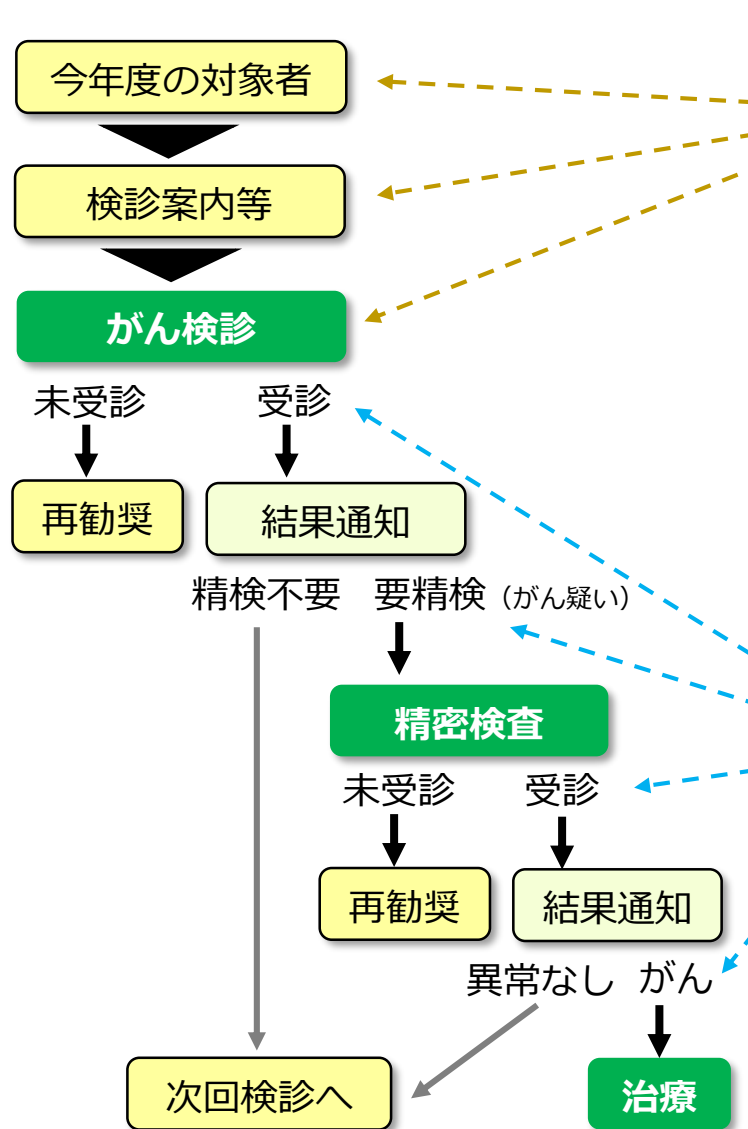
短期的指標により評価

(不備な点を改善しなければ、検診の効果を十分に発揮することができない)

→ いわゆる品質管理と同様に繰り返しにより検診の質を徐々に高めていく必要がある。

がん検診の精度管理

がん検診の流れ



本会議の **資料** はどこを見ているのか

① 概要調査

国の指針で定める内容で検診を行っているか
(対象年齢、検診項目)

② チェックリスト 遵守状況調査

検診を正しく実施しているかを評価する指標
(市町村の **自己点検**)

③ がん検診結果別人員等調査

市町村ごとの各 **プロセス指標** (各種がん検診の一次検診及び精密検査の受診状況及び判定別の結果等)を確認するための調査。

↓
今回は、**都道府県ごとに評価**

一連の流れ

がん部会の内容

1 生活習慣病検診管理指導協議会各がん部会と
精度管理について



2 概要調査結果

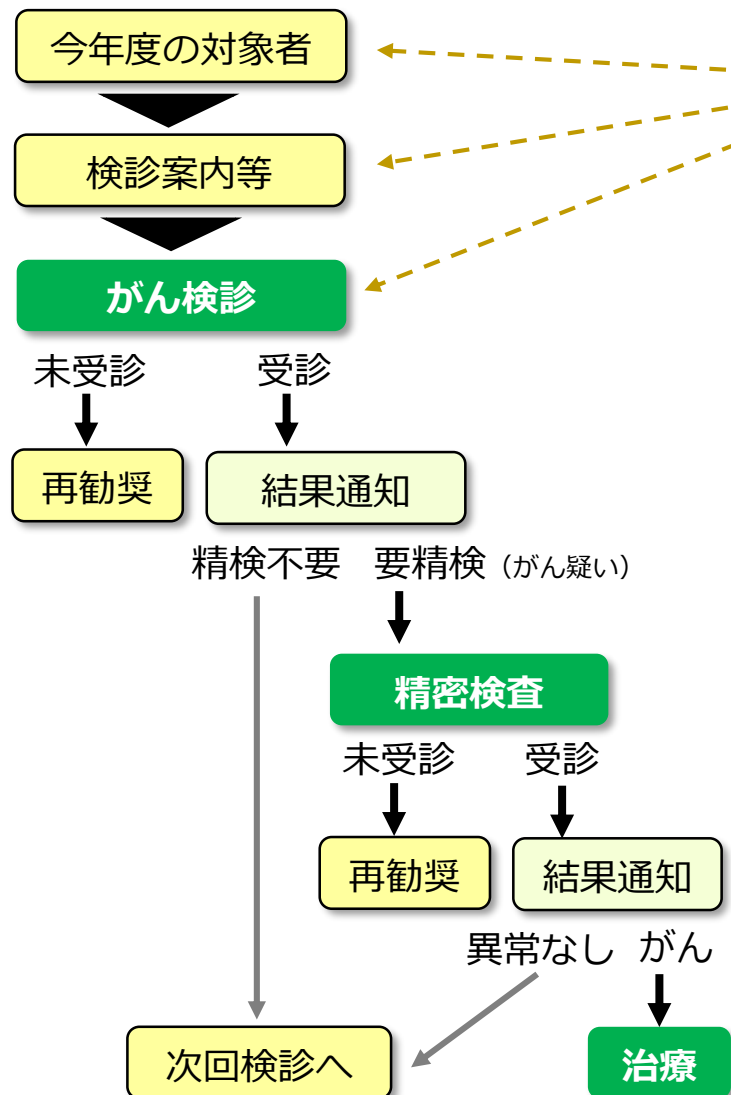
3 チェックリスト遵守状況調査結果

4 がん検診結果別人員等調査結果
(プロセス指標)

5 アウトカム指標

①概要調査の内容

がん検診の流れ



①概要調査

国の指針で定める検診内容



「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」
(厚生労働省)

- (1) 検診の対象年齢（下限）
- (2) 検診項目
- (3) 検診の委託を契約している
検診実施機関

各指標の時期と対象者

資料にある値は、その値を取得できる時期、対象者によって、それぞれ異なります。

出典（調査実施主体）	調査対象			調査内容		調査年度				
	市町村	職域	任意			R 2 2020	R 3 2021	R 4 2022	R 5 2023	R 6 2024
概要調査 （指針に基づく検診実施状況）	○			検診実施 体制など	宮城県	○	○	○	○	○
					全 国	○	○	○		
チェックリスト遵守状況調査 （厚労省）	○			遵守状況	宮城県	○	○	○	○	△
					全 国	○	○	○	○	
がん検診結果別人員等調査 ↓ 地域保健・健康増進事業報告 （厚労省）	○			検診受診率	宮城県	○	○	○	○	
					全 国	○	○	○		
	○			精検受診率	宮城県	○	○			
					全 国	○				



実測値（全数調査）

市町村が実施している検診のみ
（職域検診、人間ドック等は含まない）



全国比較できる年度データと直近のデータを使用

国の指針で定めるがん検診の内容

検診種類	検査項目	対象者	受診間隔
胃がん	問診に加え、 胃部エックス線検査 又は 胃内視鏡検査のいずれか	50歳以上 ※ 当分の間、胃部エックス線検査については40歳以上に対し実施可	2年に1回 ※ 当分の間、胃部エックス線検査については年1回実施可
子宮頸がん	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診	20歳代	2年に1回
	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診	30歳以上	2年に1回
	問診、視診及びHPV検査単独法 ※ 実施体制が整った自治体で選択可能		5年に1回 ※ 罹患リスクが高い者については1年後に受診
肺がん	質問(問診)、胸部エックス線検査及び喀痰細胞診	40歳以上 ※ 喀痰細胞診については原則として50歳以上の重喫煙者(喫煙指数600以上の者)のみ	年1回
乳がん	質問(問診)及び 乳房エックス線検査(マンモグラフィ) ※ 視診、触診は推奨しない	40歳以上	2年に1回
大腸がん	問診及び便潜血検査	40歳以上	年1回



指針改正で追加

① 概要調査結果の概要 (令和4年度 子宮がん検診)

1 子宮頸がん検診の対象年齢 20歳以上

指針に基づく対象年齢で検診を実施したか

	実施したと回答した市区町村割合
全国	97.6%
宮城県	100%

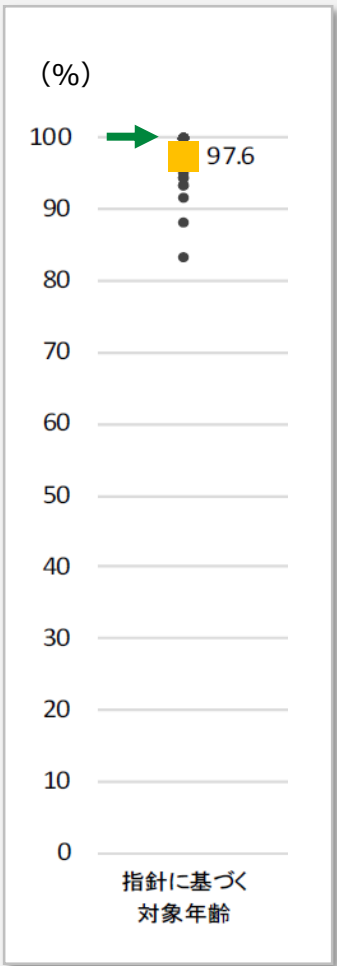


(令和4年度)

宮城県	年 齢	市町村数	備考
	20歳以上	35	国の指針どおり (20歳以上)
	30歳以上	0	
	40歳以上	0	

(宮城県：令和5～6年度も同じ)

指針に基づく検診実施状況
(都道府県別の市町村遵守率)



がん情報サービス (国立がん研究センター)
全国がん検診実施状況データブック

① 概要調査結果の概要 (令和 6 年度 子宮頸がん検診)

2 検診項目

(全国値との比較なし)

宮城県	項 目	市町村数	備考
	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診	35	

すべての市町村で指針に定める検査項目で実施

(令和 6 年度)

3 検診の委託を契約している検診実施機関

宮城県	項 目	市町村数	主な検診機関
	集団検診のみ	8	宮城県対がん協会（100%）
	集団検診と個別検診併用	15	宮城県対がん協会と各郡市医師会など
	個別検診のみ	12	各郡市医師会など

(令和 6 年度)


概要調査のまとめ（子宮頸がん）

- 子宮頸がん検診の実施年齢の遵守率は100%。
- 指針に基づく検査項目を逸脱して実施している市町村はなし。

→ 昨年同様に概要調査については市町村への指導はなし。

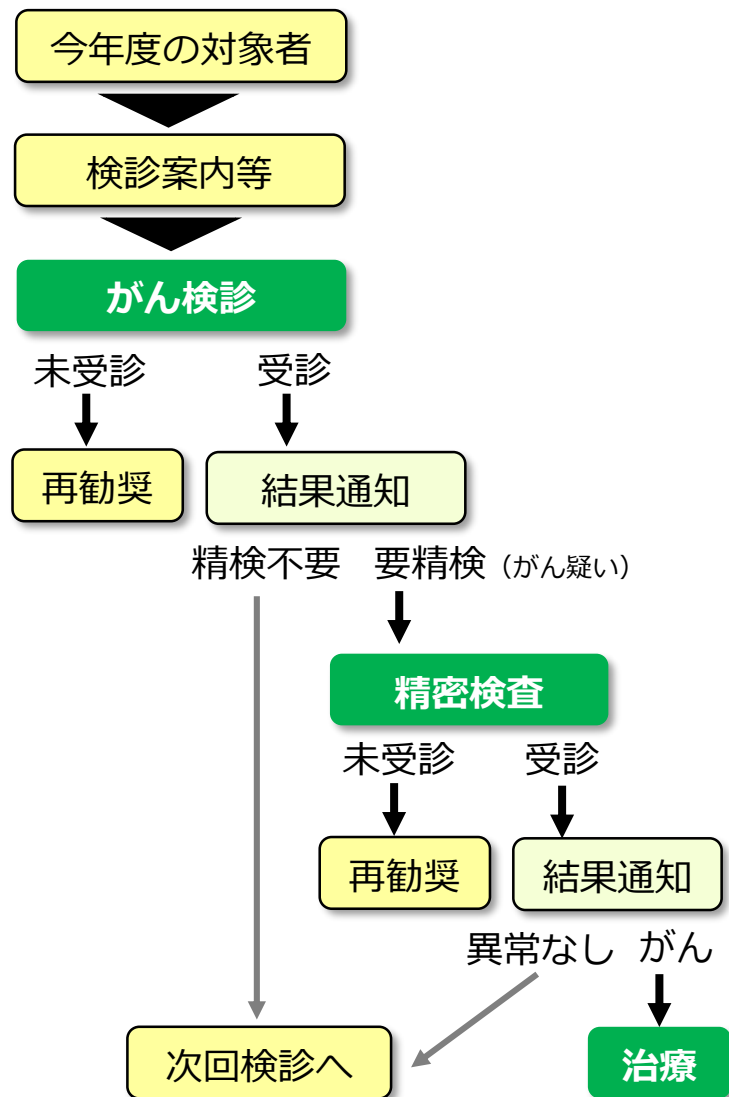
(余 白)

がん部会の内容

- 1 生活習慣病検診管理指導協議会各がん部会と精度管理について
- 2 概要調査結果
-  3 チェックリスト遵守状況調査結果
- 4 がん検診結果別人員等調査結果
(プロセス指標)
- 5 アウトカム指標

チェックリスト遵守状況調査 (技術・体制指標)

がん検診の流れ



技術・体制指標

②チェックリスト遵守状況調査

市町村用 事業評価のためのチェックリスト

集団検診用

個別検診用

実施体制の評価

検診機関用 事業評価のためのチェックリスト

精度管理状況の評価

都道府県用 事業評価のためのチェックリスト

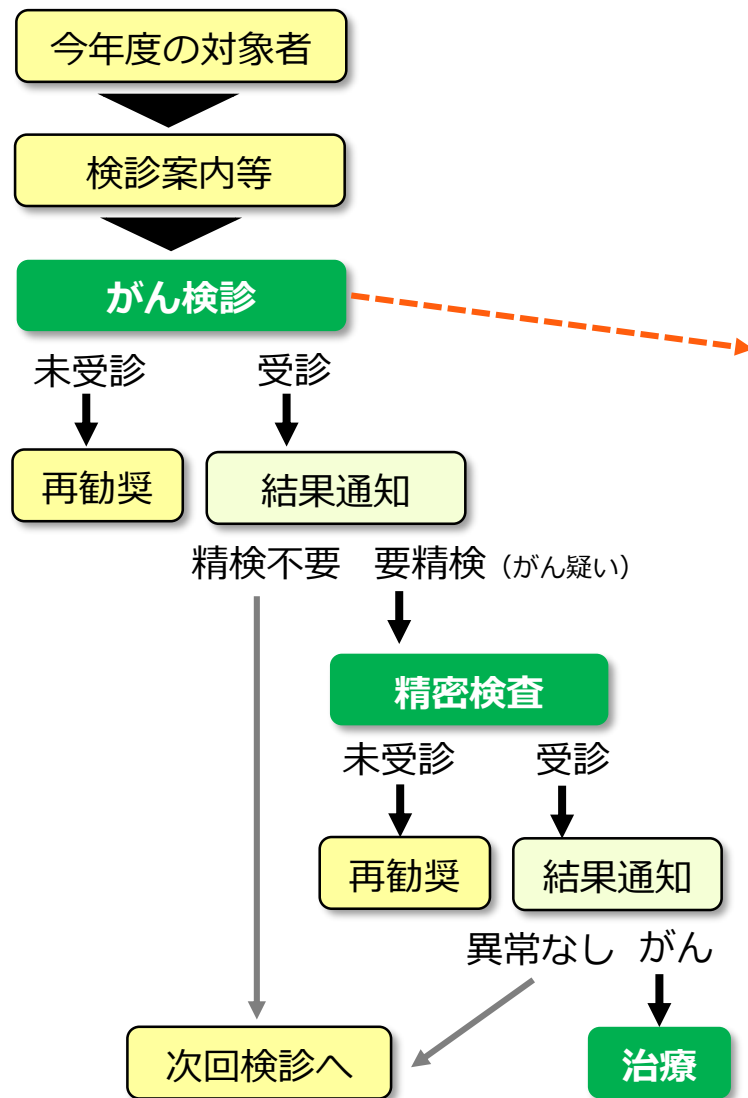
がん部会の開催、受診率等の把握、分析等の評価

- ・国が作成 (全国一律)
- ・推奨する最低限の検診体制を実施しているか

一連の流れ

チェックリスト：集団検診と個別検診

がん検診の流れ



市町村と検診機関との契約形態

集団検診

日時、場所を設定し集団で行う方式

市町村

委託

検診センター等

個別検診

利用券方式等により個人単位でいつでも受けられる方式

市町村

委託

個々の医療機関

郡市
医師会

集合契約

医療機関

医療機関

医療機関

各指標の時期と対象者

資料にある値は、その値を取得できる時期、対象者によって、それぞれ異なります。

出典（調査実施主体）	調査対象			調査内容		調査年度				
	市町村	職域	任意			R 2 2020	R 3 2021	R 4 2022	R 5 2023	R 6 2024
概要調査 （指針に基づく検診実施状況）	○			検診実施 体制など	宮城県	○	○	○	○	○
					全 国	○	○	○		
チェックリスト遵守状況調査 （厚労省）	○			遵守状況	宮城県	○	○	○	○	△
					全 国	○	○	○	○	
がん検診結果別人員等調査 ↓ 地域保健・健康増進事業報告 （厚労省）	○			検診受診率	宮城県	○	○	○	○	
					全 国	○	○	○		
	○			精検受診率	宮城県	○	○			
					全 国	○				



実測値（全数調査）

市町村が実施している検診のみ
（職域検診、人間ドック等は含まない）

➡ **全国比較できる年度データを使用（令和 5 年度）**

△：本年度（令和 6 年）は集計中

チェックリスト項目

市区町村用

がん検診のためのチェックリスト 集団検診・個別検診 (全がん共通、一部異なる項目あり)

項目	項目数
1. 検診対象者の情報管理	4
2. 受診者の情報管理	2
3. 対象者への説明、及び要精検者への説明	3
4. 精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨	6
5. 地域保健・健康増進事業報告	5
6. 検診機関（医療機関）の質の担保	7
7. 受診率(受診者数)の集計	4
8. 【肺がん】肺がん検診受診者中の高危険群割合ほか（肺がんのみ）	(4)
9. 要精検率の集計	4
10. 精検受診率・精検未受診率の集計	5
11. がん発見率の集計	4
12. 陽性反応適中度の集計	4
13. 早期がん割合（肺がん：臨床病期 0～I 期の割合）の集計	4
14. 【胃がん、大腸がん、乳がん】 粘膜内がん、非浸潤がんの集計	(1)
15. 【子宮頸がん】上皮内病変（CIN・AISなど）数の区分毎の集計、進行度がIA期のがん割合の集計	(8)

(チェックリスト項目数 計52～65問)

チェックリスト内容

令和6年度市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査

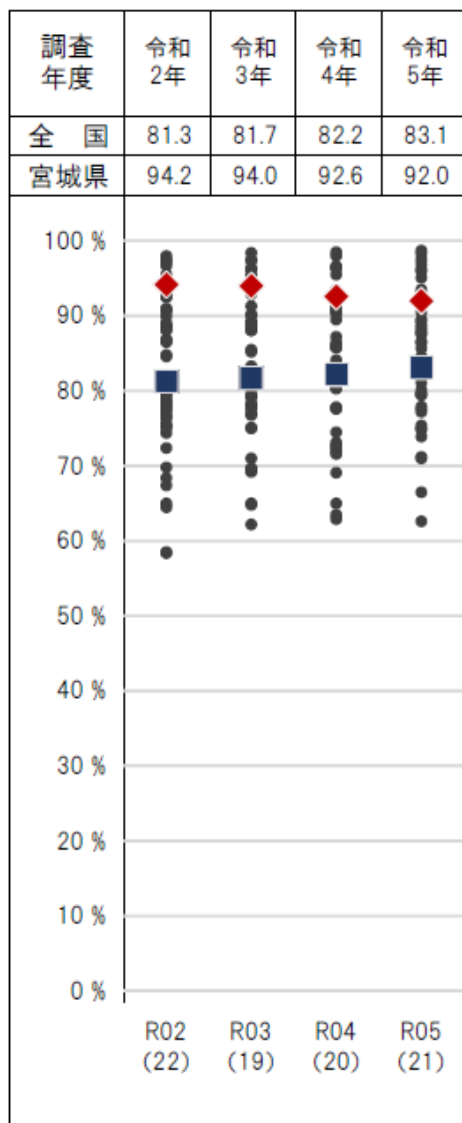
調査1	検診実施体制整備に関する調査(令和6年度実施体制)②																																																																								
<p>【回答方法】</p> <p>■令和6年度の検診実施体制について、下記の基準にそってご回答ください。</p> <p>別ワークシート『調査1①』の質問1で「未実施」を選択した検診については回答入力には不要です。</p> <p>○:今年度は既に実施済みである</p> <p>×:今年度は実施しない</p> <p>△:今年度に実施する予定だが、現時点(回答入力時)ではまだ実施していない</p> <p>実際に実施したものに○と回答してください。また、実施予定があってもまだ実施していないものについては実施後に回答してください。調査期間中にはまだ実施しない項目については「△(実施予定)」と回答してください。</p> <p>【回答前にお読みください】</p> <p>■貴自治体が単独で把握できない項目については、外部機関(委託先検診機関、医師会、都道府県、都道府県生活習慣病検診等管理指導協議会等)に確認して回答してください。</p> <p>■本調査での「検診機関」とは、実際に検診を行う個々の検診機関(医療機関)を指します(例.○○クリニック、○○病院など)。</p> <p>・検診機関(医療機関)に関する質問では、すべての検診機関(医療機関)で実施できている場合に○と回答してください。</p> <p>・医師会等が地域の体制を完全に統一している場合は医師会等を1医療機関とみなし、医師会等に確認して回答してください。</p> <p>ただし、医療機関によっては医師会の方針に準じていない場合も考えられますので、医師会への確認だけでなく、別途検診機関チェックリスト調査を行い、直接個々の医療機関の体制を把握することが重要です。</p>																																																																									
<p>問1. 検診対象者の情報管理</p> <p>・貴自治体以外が実施している場合は、その内容を確認して回答してください。</p> <p>・検診を複数の施設に委託している場合は、すべての施設で行われている場合のみ○と回答してください。</p> <p>【問1-1】 対象者全員の氏名を記載した名簿を、住民台帳などに基づいて作成しましたか</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">胃がん検診 (エックス線検査)</th> <th colspan="2">胃がん検診 (内視鏡検査)</th> <th colspan="2">大腸がん検診</th> <th colspan="2">肺がん検診</th> <th colspan="2">乳がん検診</th> <th colspan="2">子宮頸がん検診</th> </tr> <tr> <th>集団</th> <th>個別</th> <th>集団</th> <th>個別</th> <th>集団</th> <th>個別</th> <th>集団</th> <th>個別</th> <th>集団</th> <th>個別</th> <th>集団</th> <th>個別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>下記①②③のいずれかに該当する場合のみ○です。 それ以外(例えば、貴自治体で設定する対象者のうち、前年度受診者や希望者のみを名簿化している場合など)はすべて×と回答してください。</p> <p>① 住民基本台帳に基づいた当該年度の対象者名簿(電子ファイルや紙)を作成している</p> <p>② 住民基本台帳に基づいた当該年度の対象者を保健(健康)管理システム等で管理している(抽出が可能である)</p> <p>③ 国民健康保険加入者を全員名簿化している</p> <p>【問1-2】 対象者全員に、個別に受診勧奨を行いましたか</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">胃がん検診 (エックス線検査)</th> <th colspan="2">胃がん検診 (内視鏡検査)</th> <th colspan="2">大腸がん検診</th> <th colspan="2">肺がん検診</th> <th colspan="2">乳がん検診</th> <th colspan="2">子宮頸がん検診</th> </tr> <tr> <th>集団</th> <th>個別</th> <th>集団</th> <th>個別</th> <th>集団</th> <th>個別</th> <th>集団</th> <th>個別</th> <th>集団</th> <th>個別</th> <th>集団</th> <th>個別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p>貴自治体で設定する対象者全員に対し、個人毎に手紙・電話・訪問等で、検診の通知(希望調査も可)等の受診勧奨を行っている場合のみ○です。</p> <p>・世帯宛に検診の通知や希望調査等を送付している場合でも、世帯の中の対象者全員の名前が記載されていないければ×です。</p> <p>・対象者のうち例えばクーポン事業対象者など、一部を限定して受診勧奨を行っている場合は×です。 (ただし、高齢者への検診の不利益を考慮し受診勧奨の年齢上限を設定している場合においては、厚労省の受診率算定年齢に基づき年齢上限を69歳とすれば○でかまいません。)</p> <p>・広報、チラシ、ポスター、イベント等による周知は×です。</p>		胃がん検診 (エックス線検査)		胃がん検診 (内視鏡検査)		大腸がん検診		肺がん検診		乳がん検診		子宮頸がん検診		集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別											○	○	胃がん検診 (エックス線検査)		胃がん検診 (内視鏡検査)		大腸がん検診		肺がん検診		乳がん検診		子宮頸がん検診		集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別											○	×
胃がん検診 (エックス線検査)		胃がん検診 (内視鏡検査)		大腸がん検診		肺がん検診		乳がん検診		子宮頸がん検診																																																															
集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別																																																														
										○	○																																																														
胃がん検診 (エックス線検査)		胃がん検診 (内視鏡検査)		大腸がん検診		肺がん検診		乳がん検診		子宮頸がん検診																																																															
集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別																																																														
										○	×																																																														

市町村が回答する
チェックリスト例

○・×で回答
(オンライン入力)

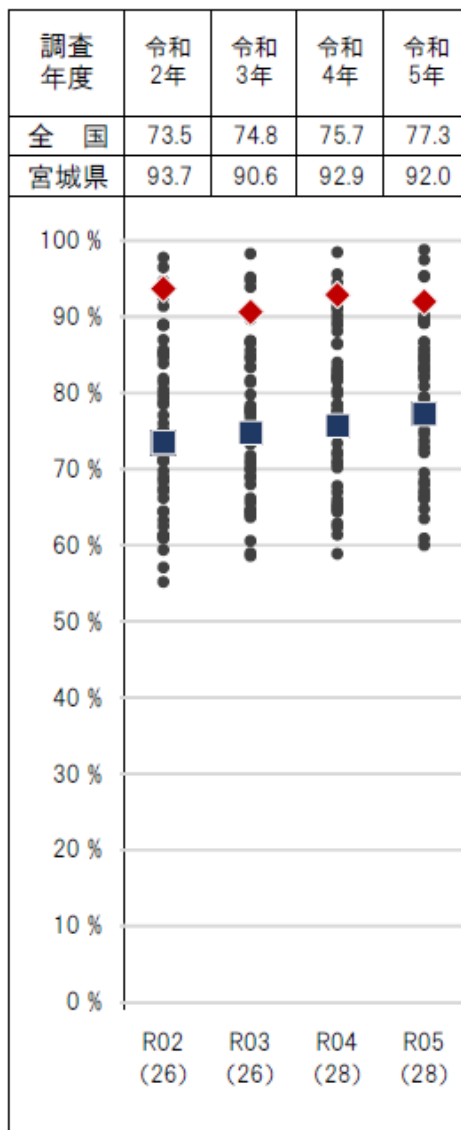
チェックリスト市町村遵守率の推移 全国比較

① 全項目実施率(%)推移



集計対象市区町村： () 内記載

① 全項目実施率(%)推移



集計対象市区町村： () 内記載

チェックリスト 遵守状況調査

子宮頸がん検診 55項目 全項目実施率(%)推移

凡例：

- ◆ 宮城県
- 全国
- その他の都道府県

【チェックリスト実施率の算出方法】

「○」※の合計数／集計対象市区町村数×
質問項目数× 100 (%)

※ 回答は「○（実施した）」「×（実施していない）」
「△（実施予定はあるが回答時点でまだ実施していない）」から選択。

当調査結果のチェックリスト実施率には「○」のみ集計し「△」は含みません。未回答は「×」とみなします。

【出典】

令和5年度「市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」結果報告
(国立がん研究センター がん対策研究所検診研究部 検診実施管理研究室)

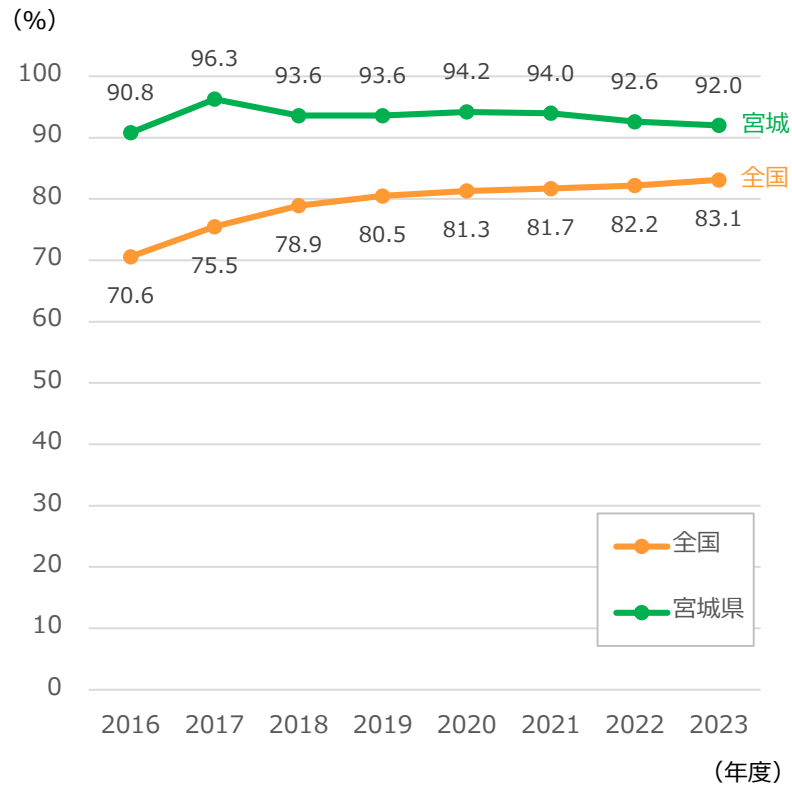
(余 白)

チェックリスト遵守率の年次推移（全項目）

子宮頸がん検診

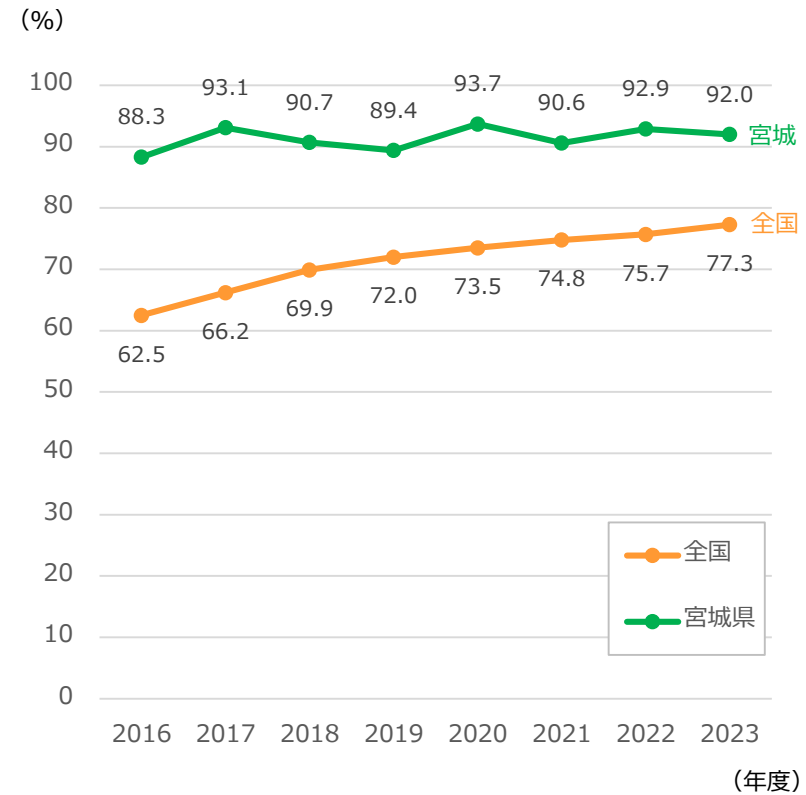
集団検診

チェックリスト遵守率の推移（集団）



個別検診

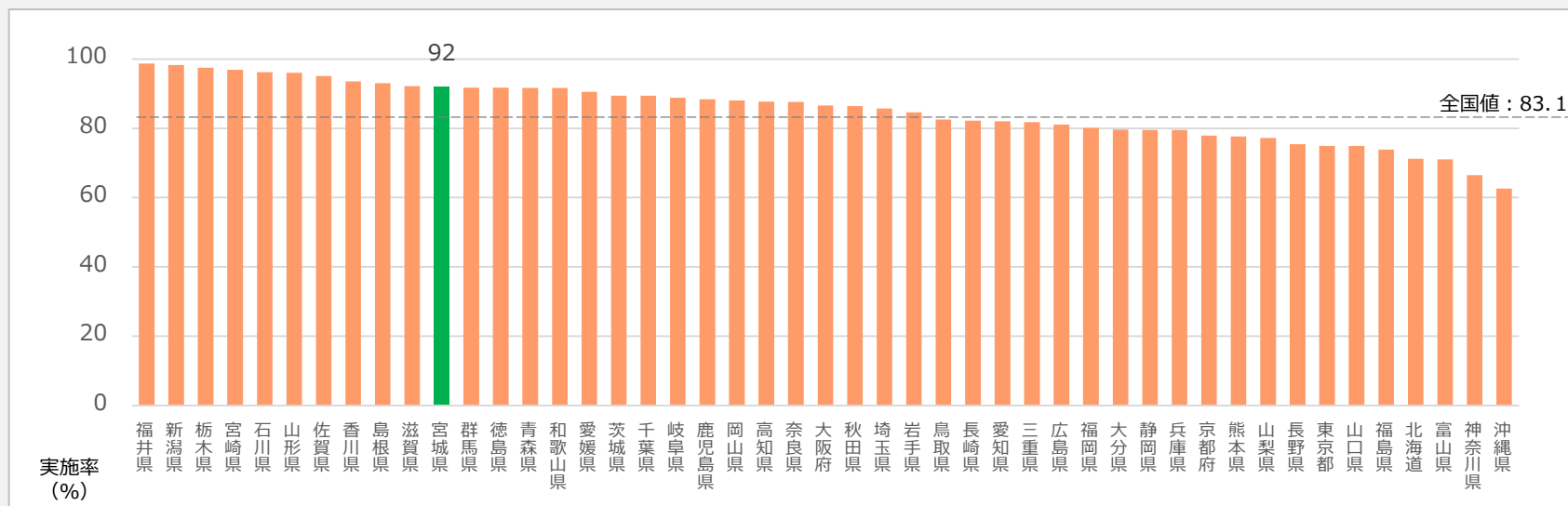
チェックリスト遵守率の推移（個別）



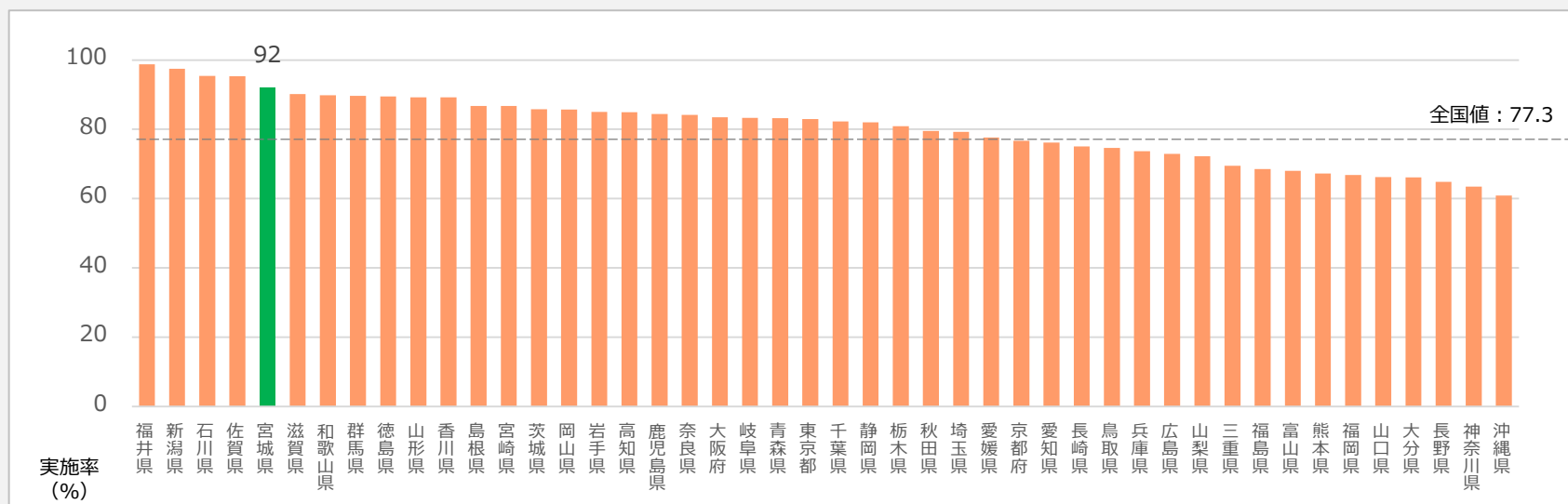
R5 チェックリスト市町村遵守率 (全国順位)

子宮頸がん検診 (全国順位) 令和5 (2023) 年度 全項目

集団検診



個別検診



チェックリスト集計結果 (集団①)

集団検診 (令和5年度)

子宮がん (全国比較)

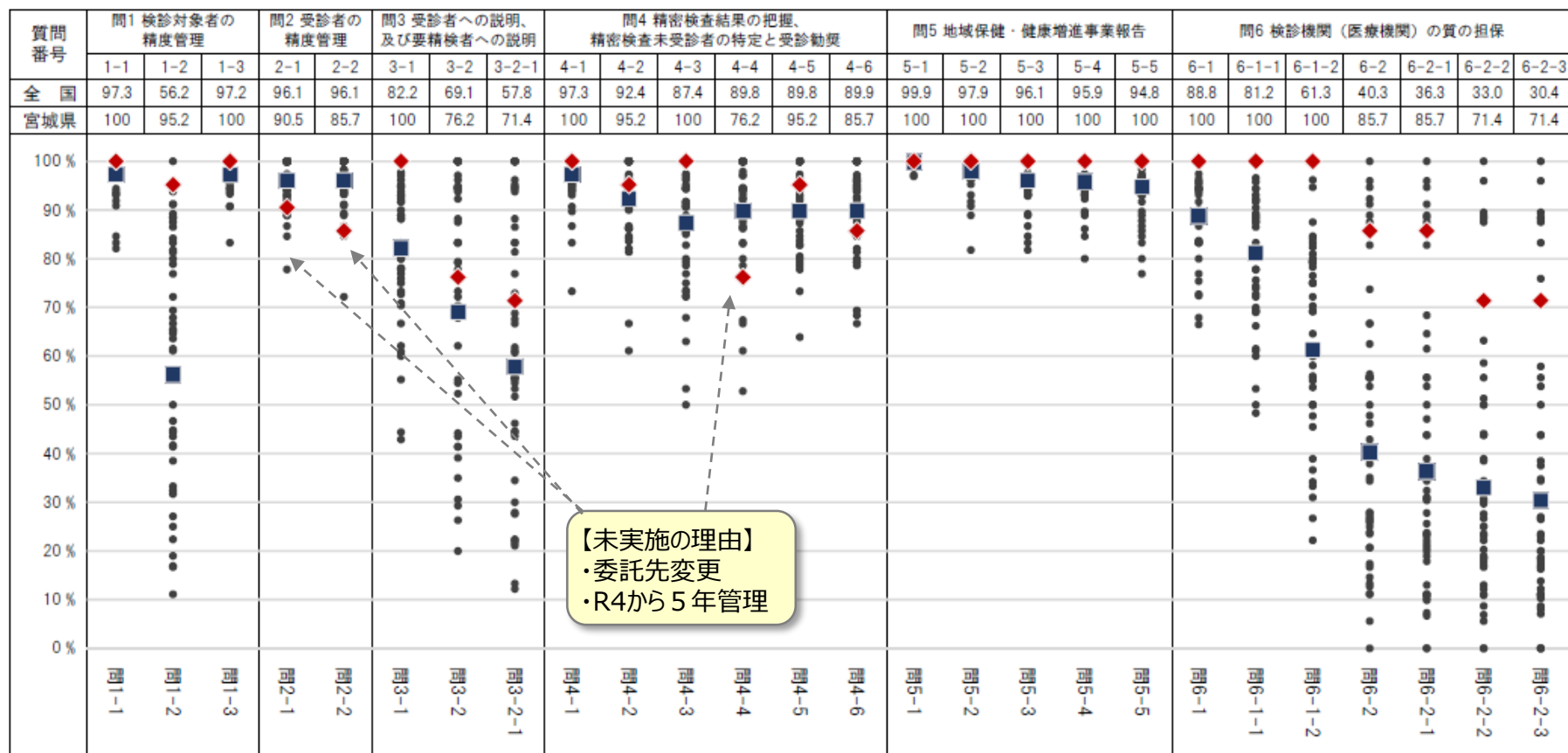
調査1 (令和5年度の検診実施体制) 項目別遵守率(%)

凡例:

◆ 宮城県

■ 全国

● その他の都道府県



集計対象市区町村数(調査1): 21

チェックリスト集計結果 (個別①)

個別検診 (令和5年度)

子宮がん (全国比較)

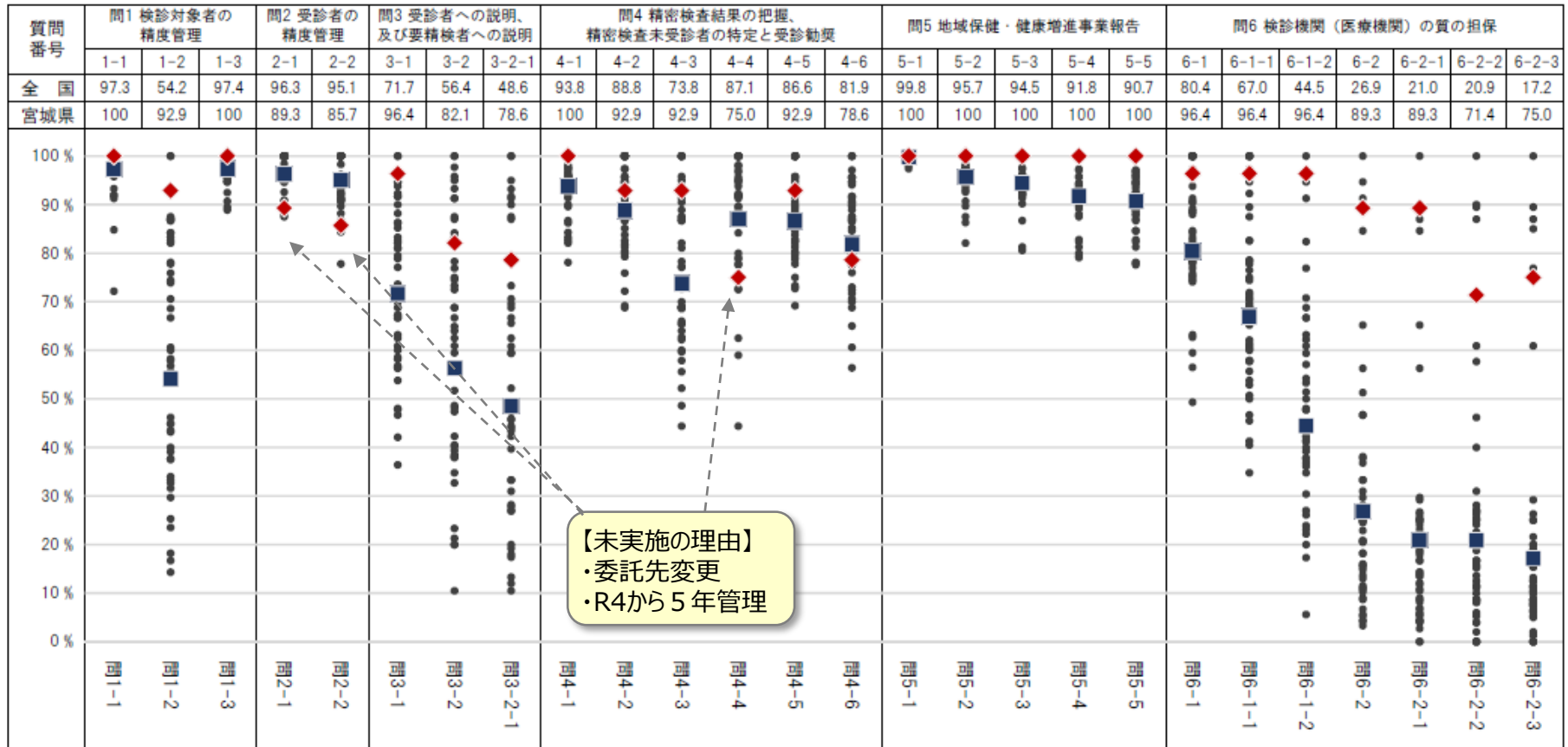
調査1 (令和5年度の検診実施体制) 項目別遵守率(%)

凡例:

◆ 宮城県

■ 全国

● その他の都道府県



集計対象市区町村数 (調査1) : 28

チェックリストの内容（①ー1）

【1】 検診対象者	
問 1-1	対象者全員の氏名を記載した名簿を、住民台帳などに基づいて作成したか
問 1-2	対象者全員に、個別に受診勧奨を行ったか
問 1-3	対象者数（推計でも可）を把握したか
【2】 受診者の情報管理	
問 2-1	個人別の受診(記録)台帳またはデータベースを作成したか
問 2-2	過去5年間の受診歴を記録しているか
【3】 受診者への説明、及び要精検者への説明	
問 3-1	受診勧奨時に、「検診機関用チェックリスト 1.受診者への説明」が全項目記載された資料を、全員に個別配布したか
問 3-2	要精検者全員に対し、受診可能な精密検査機関名（医療機関名）の一覧を提示したか
問 3-2-1	上記（3-2）の一覧に掲載したすべての精密検査機関には、あらかじめ精密検査結果の報告を依頼したか
【4】 精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨	
問 4-1	精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を把握したか
問 4-2	精密検査方法及び、精密検査（治療）結果が不明の者については、本人もしくは精密検査機関への照会等により、結果を確認したか
問 4-3	個人毎の精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を、市区町村、検診機関（医療機関）、精密検査機関が共有したか
問 4-4	過去5年間の精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を記録しているか
問 4-5	精密検査未受診と精密検査結果未把握を定義に従って区別し、精密検査未受診者を特定したか
問 4-6	精密検査未受診者に精密検査の受診勧奨を行ったか

チェックリストの内容（①ー２）

【5】地域保健・健康増進事業報告	
問 5-1	がん検診結果や精密検査結果の最終報告（地域保健・健康増進事業報告）を行ったか
問 5-2	がん検診の結果について、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できるよう、委託先（検診機関（医療機関）、医師会など）に報告を求めたか
問 5-3	がん検診の結果について、委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めたか
問 5-4	精密検査結果について、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できるよう、委託先（検診機関（医療機関）、精密検査機関、医師会など）に報告を求めたか
問 5-5	精密検査結果について、委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めたか
【6】検診機関（医療機関）の質の担保	
問 6-1	委託先検診機関（医療機関）を、仕様書の内容に基づいて選定したか
問 6-1-1	仕様書（もしくは実施要綱）の内容は、「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を満たしたか
問 6-1-2	検診終了後に、委託先検診機関（医療機関）で仕様書（もしくは実施要綱）の内容が遵守されたことを確認したか
問 6-2	検診機関（医療機関）に精度管理評価を個別にフィードバックしたか
問 6-2-1	「検診機関用チェックリスト」の遵守状況をフィードバックしたか
問 6-2-2	検診機関（医療機関）毎のプロセス指標値を集計してフィードバックしたか
問 6-2-3	上記の結果をふまえ、課題のある検診機関（医療機関）に改善策をフィードバックしたか

チェックリスト集計結果 (集団②)

集団検診 (令和5年度)

子宮がん (全国比較)

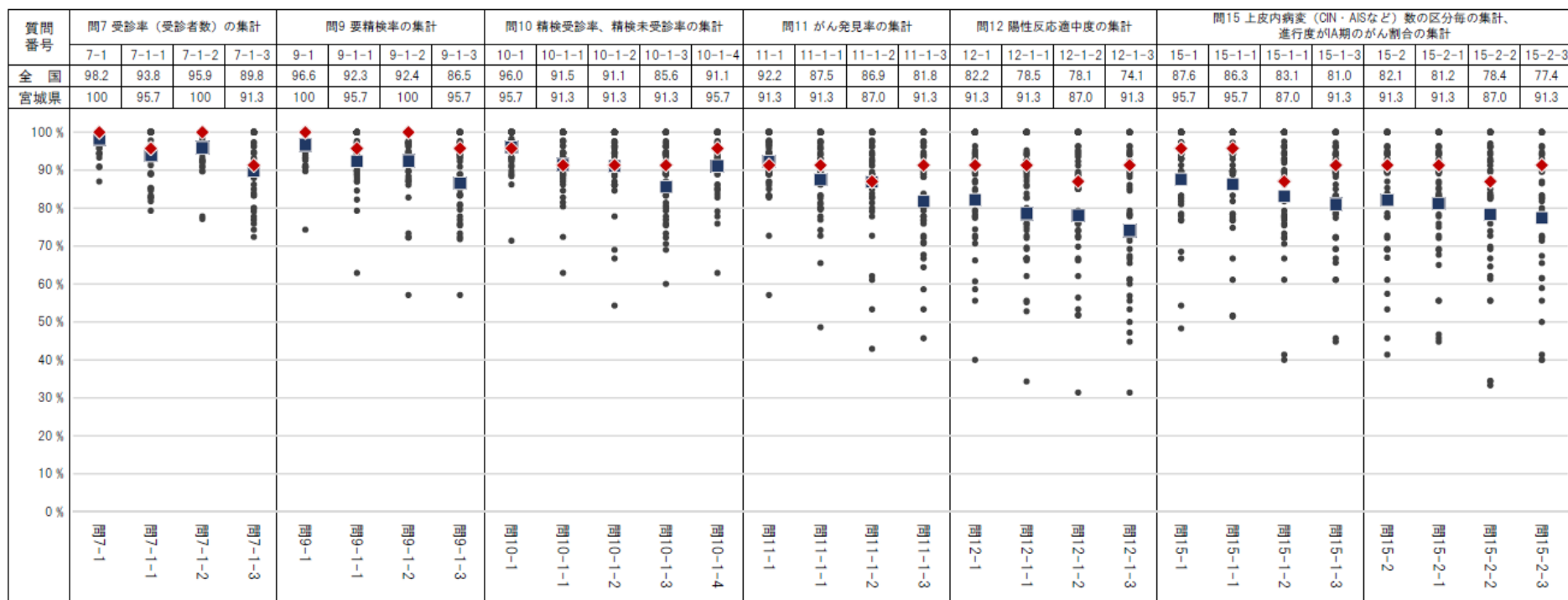
調査2 (令和5年度の検診実施体制) 項目別遵守率(%)

凡例:

◆ 宮城県

■ 全国

● その他の都道府県



集計対象市区町村数 (調査2) : 23

チェックリスト集計結果（個別②）

個別検診（令和5年度）

子宮がん（全国比較）

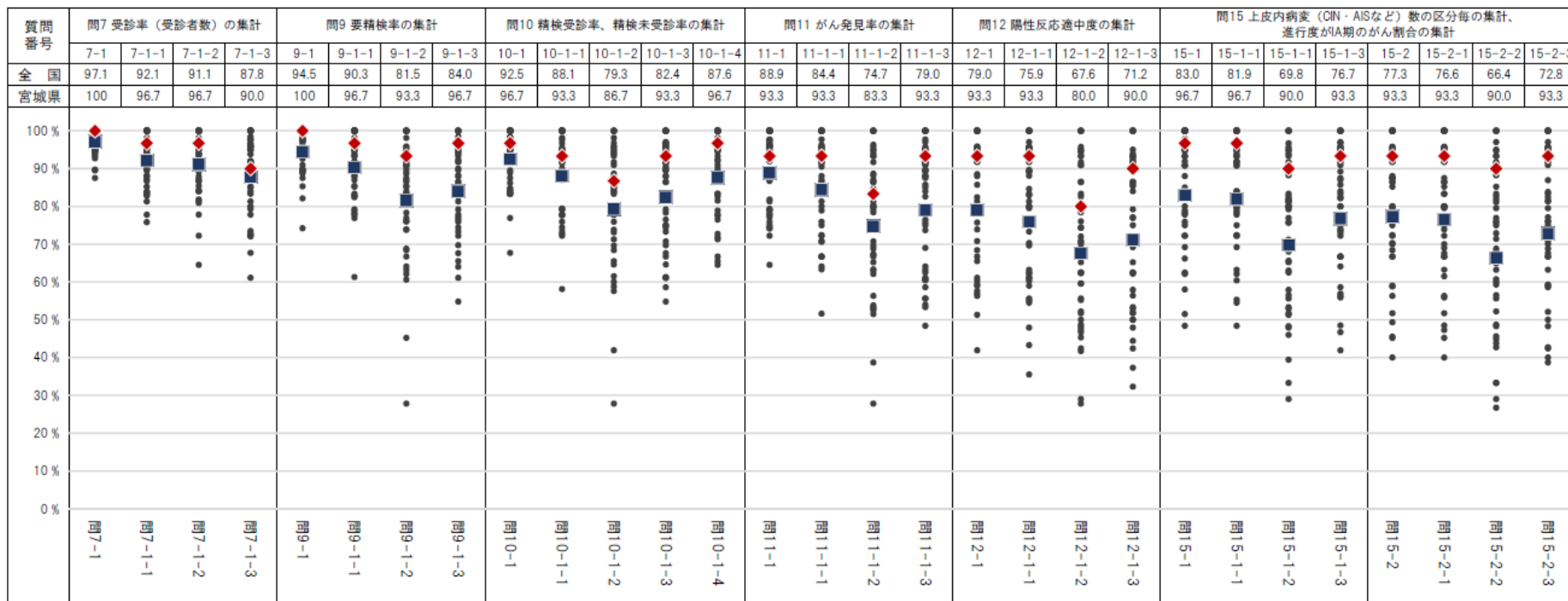
調査2（令和5年度の検診実施体制） 項目別遵守率(%)

凡例：

◆ 宮城県

■ 全国

● その他の都道府県



集計対象市区町村数（調査2）：30

チェックリストの内容（②ー1）

【7】 受診率（受診者数）の集計	
問 7-1	受診率を集計したか
問 7-1-1	受診率を年齢5歳階級別に集計したか
問 7-1-2	受診者数を検診機関別に集計したか
問 7-1-3	受診者数を検診受診歴別に集計したか
【9】 要精検率の集計	
問 9-1	要精検率を集計したか
問 9-1-1	要精検率を年齢5歳階級別に集計したか
問 9-1-2	要精検率を検診機関別に集計したか
問 9-1-3	要精検率を検診受診歴別に集計したか
【問10】 精検受診率・未受診率の集計	
問 10-1	精検受診率を集計したか
問 10-1-1	精検受診率を年齢5歳階級別に集計したか
問 10-1-2	精検受診率を検診機関別に集計したか
問 10-1-3	精検受診率を検診受診歴別に集計したか
問 10-1-4	精検未受診率を集計したか

チェックリストの内容（②ー2）

【11】がん発見率の集計	
問 11-1	がん発見率を集計したか
問 11-1-1	がん発見率を年齢5歳階級別に集計したか
問 11-1-2	がん発見率を検診機関別に集計したか
問 11-1-3	がん発見率を検診受診歴別に集計したか
【12】陽性反応適中度の集計	
問 12-1	陽性反応適中度を集計したか
問 12-1-1	陽性反応適中度を年齢5歳階級別に集計したか
問 12-1-2	陽性反応適中度を検診機関別に集計したか
問 12-1-3	陽性反応適中度を検診受診歴別に集計したか
【15】上皮内病変（CIN・AISなど）数の区分毎の集計、進行度がIA期のがん割合の集計	
問 15-1	上皮内病変（CIN・AISなど）を集計しましたか（区分毎）
問 15-1-1	上皮内病変（CIN・AISなど）を年齢5歳階級別に集計しましたか（区分毎）
問 15-1-2	上皮内病変（CIN・AISなど）を検診機関別に集計しましたか（区分毎）
問 15-1-3	上皮内病変（CIN・AISなど）を検診受診歴別に集計しましたか（区分毎）
問 15-2	進行度がIA期のがん割合を集計しましたか
問 15-2-1	進行度がIA期のがん割合を年齢5歳階級別に集計しましたか
問 15-2-2	進行度がIA期のがん割合を検診機関別に集計しましたか
問 15-2-3	進行度がIA期のがん割合を検診受診歴別に集計しましたか

チェックリスト遵守状況調査結果のまとめ（子宮頸がん）


- ほぼすべての項目において、全国より実施率が高い。
- 一部の項目については、全国より低いため、引き続き改善が必要。

（令和5年度のチェックリスト調査結果における指導は、昨年度に実施済）

→ 本年度（令和6年度）の結果については、全国値が公表される来年度に評価・指導予定

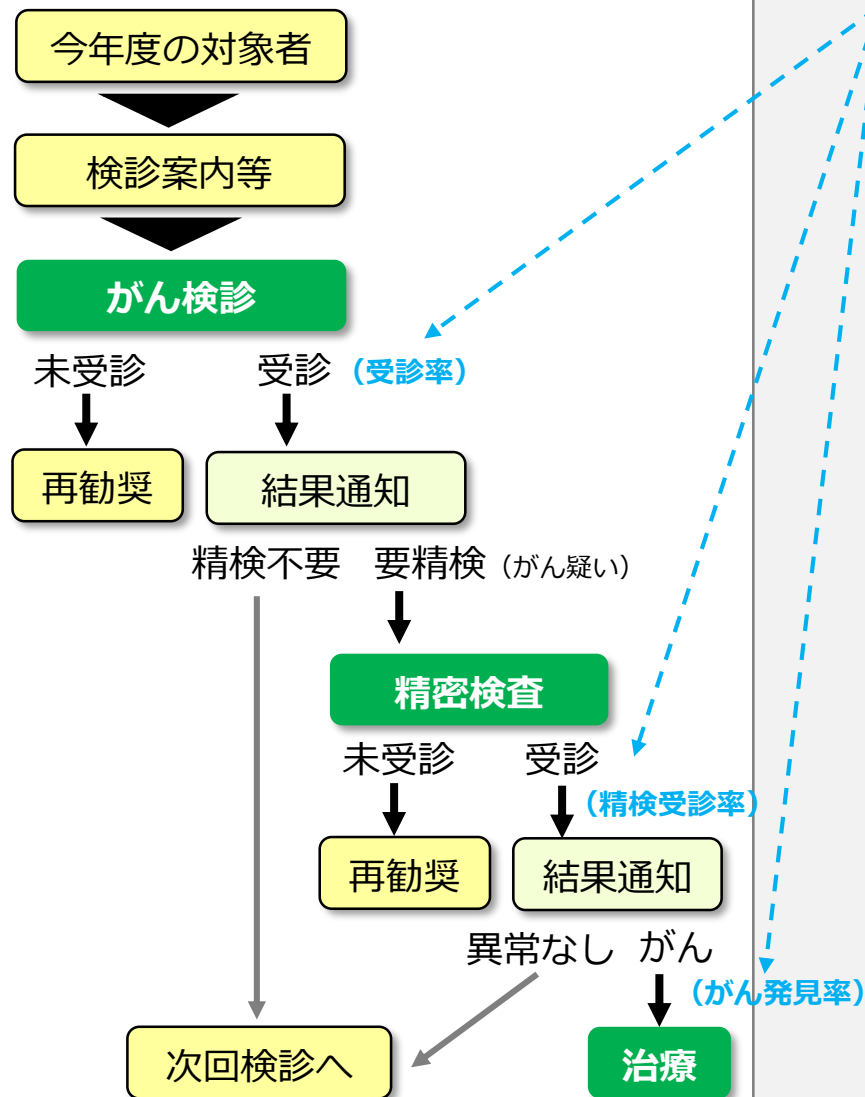
(余 白)

がん部会の内容

- 1 生活習慣病検診管理指導協議会各がん部会と精度管理について
- 2 概要調査結果
- 3 チェックリスト遵守状況調査結果
-  4 がん検診結果別人員等調査結果
(プロセス指標)
- 5 アウトカム指標

がん検診結果別人員等調査 (プロセス指標)

がん検診の流れ



プロセス指標

③がん検診結果別人員等調査

がん検診者数・受診率

がん検診精密検査者数・受診率

事業評価指標

都道府県ごとに評価

受診率

精検受診率

精検未把握率

精検未受診率

要精検率

がん発見率

陽性反応適中度

各プロセスが適切
に行われているか
を評価する指標

各がんの推奨年齢から74歳までの結果
(職域検診や人間ドックなどは含まれない)

各指標の時期と対象者

出典（調査実施主体）	調査対象			調査内容		調査年度				
	市町村	職域	任意			R 2 2020	R 3 2021	R 4 2022	R 5 2023	R 6 2024
概要調査 （指針に基づく検診実施状況）	○			検診実施 体制など	宮城県	○	○	○	○	○
					全 国	○	○	○		
チェックリスト遵守状況調査 （厚労省）	○			遵守状況	宮城県	○	○	○	○	○
					全 国	○	○	○	○	
がん検診結果別人員等調査 ↓ 地域保健・健康増進事業報告 （厚労省）	○			検診受診率	宮城県	○	○	○	○	
					全 国	○	○	○		
	○			精検受診率	宮城県	○	○			
					全 国	○				

実測値（全数調査） 市町村が実施している検診のみ

現時点では、職域検診を含む全体の実測値は把握できない

国民生活基礎調査（厚労省）	○	○	○	検診受診率 ②	宮城県	—	—	○	—	—
					全 国	—	—	○	—	—

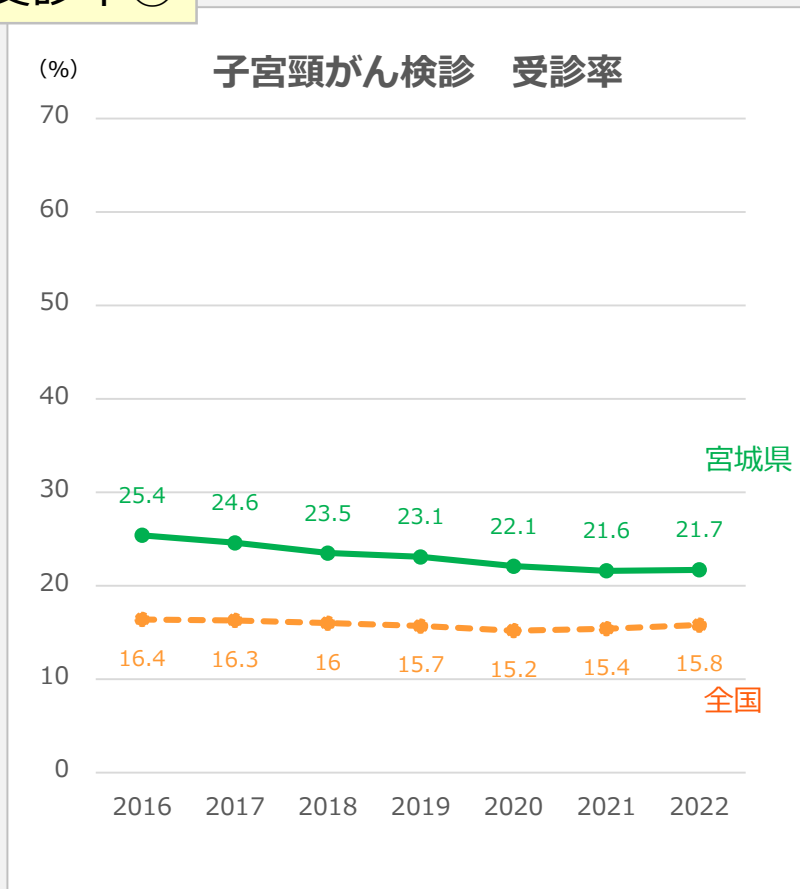
推計値 自治体検診、職域検診、ドック等も含まれる
国が行う抽出調査（3年に1回）

(余 白)

子宮頸がん検診受診率の推移（経年）

市町村実施のがん検診のみ （対策型検診）

受診率①

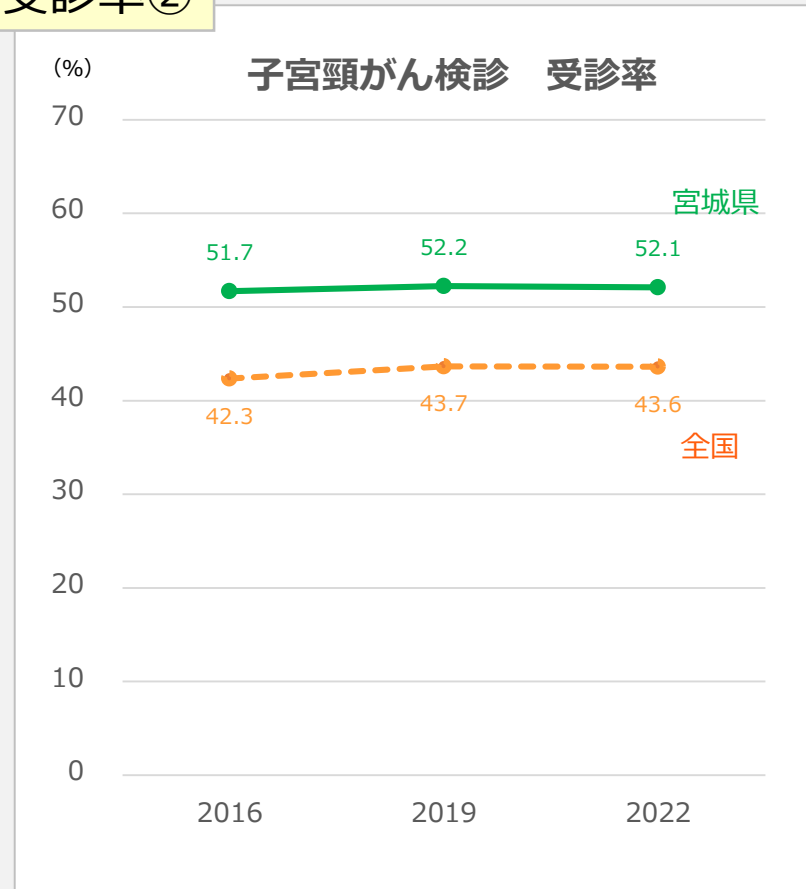


出典 地域保健・健康増進事業報告（2016～2022年）
子宮頸がん検診
対象：20-69歳
分母：規定年齢以上の全住民の数

すべてのがん検診

（健診等（健康診断、健康診査及び人間ドック）
の中で受診したものも含む）

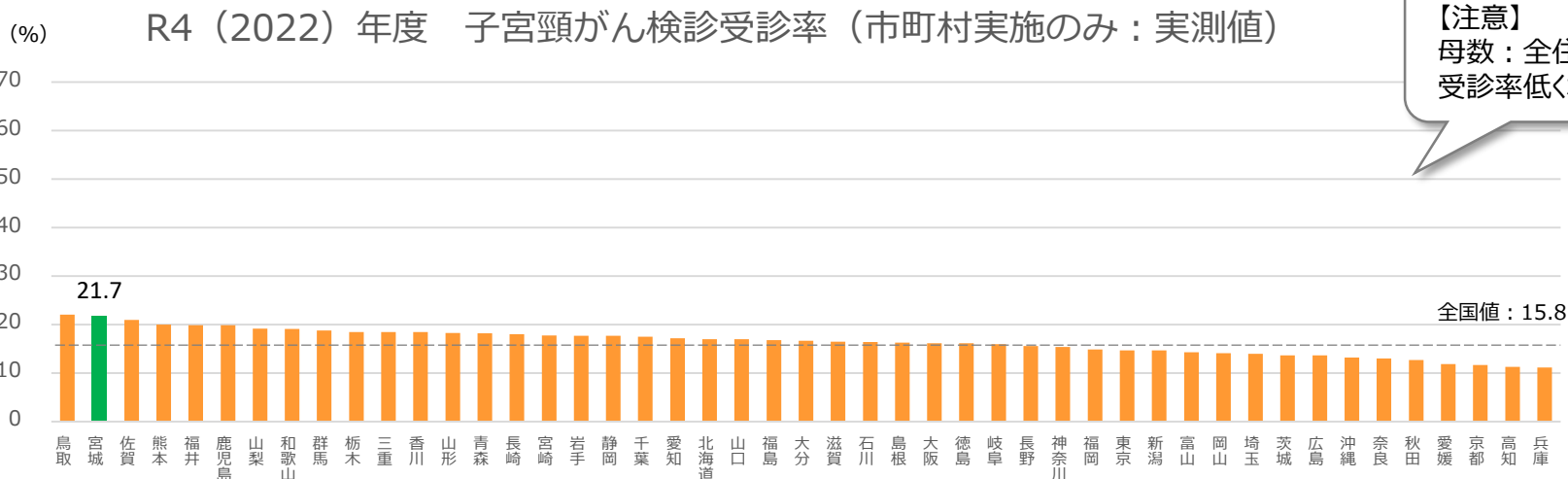
受診率②



出典 国民生活基礎調査実施年（2016,2019,2022年）
子宮（頸）がん検診（子宮の細胞診検査など）
対象（抽出）20-69歳
分母：調査対象者数

子宮頸がん検診受診率（全国順位）

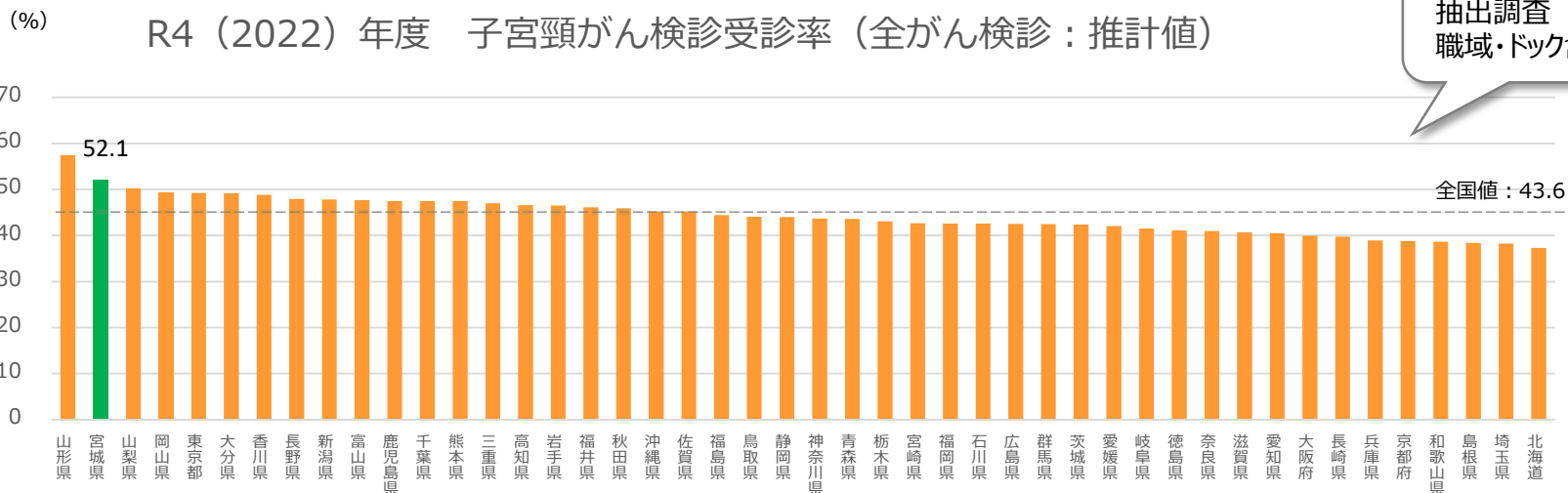
受診率①



【注意】
母数：全住民
受診率低くなる

出典 地域保健・健康増進事業報告 実施年 令和4年度（2022年度）

受診率②



【注意】
抽出調査
職域・ドック含む

出典 国民生活基礎調査 実施年 令和4年度（2022年度）

プロセス指標（事業評価指標）の意味

プロセス指標	各指標の意味【算出方法】	各指標値の評価
①精検受診率	要精検者が実際に精密検査を受診したか 【 $\text{精検受診者数} / \text{要精検者数} \times 100$ 】	高いことが望ましい(精検受診率が100%近くなければ、がん発見率を適切に評価できない)
②要精検率	検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているか 【 $\text{要精検者数} / \text{受診者数} \times 100$ 】	対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要
③精検未受診率	要精検者が実際に精密検査を受診したか 【 $\text{未受診者数} / \text{要精検者数} \times 100$ 】	低いことが望ましい
④精検未把握率	精検受診の有無や精検結果が、適切に把握されたか 【 $\text{未把握者数} / \text{要精検者数} \times 100$ 】	低いことが望ましい
⑤がん発見率	その検診において、適正な頻度でがんを発見できたか 【 $\text{がんであった者} / \text{受診者数} \times 100$ 】	基本的に高いことが望ましいが、極端に高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要
⑥陽性反応適中度	その検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標（検診の精度を測る指標） 【 $\text{がんであった者} / \text{要精検者数} \times 100$ 】	基本的に高いことが望ましいが、極端に高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要

出典：がん検診事業のあり方について（厚生労働省：がん検診のあり方に関する検討会（R6.7）の資料より抜粋）

※ 基準値は、がん種毎、年齢別にあり。

(余 白)

プロセス指標の（新）基準値

「がん検診事業のあり方について」（令和5年6月） → プロセス指標の変更 注)

【74歳以下】（男女計）

	胃がん		大腸がん	肺がん		乳がん		子宮頸がん*		
	検診間隔 2年	検診間隔 1年		検診以外の 肺に関する 検査の受診 なし	検診以外の 肺に関する 検査の受診 考慮	すべての受 診者の検診 間隔が2年	連続受診者 がいること を考慮	20～74歳	20～39歳	40～74歳
	①	②		①	②	①	②			
① 精検受診率	90% 以上		90% 以上	90% 以上		90% 以上		90% 以上		
② 要精検率	7.7% 以下	7.6% 以下	6.8% 以下	2.4% 以下	2.3% 以下	6.5% 以下	6.4% 以下	2.5% 以下	4.2% 以下	1.9% 以下
⑤ がん発見率	0.19% 以上	0.11% 以上	0.21% 以上	0.10% 以上	0.05% 以上	0.40% 以上	0.31% 以上	0.15% 以上	0.18% 以上	0.14% 以上
⑥ 陽性反応 適中度	2.5% 以上	1.5% 以上	3.0% 以上	4.1% 以上	2.2% 以上	6.1% 以上	4.8% 以上	5.9% 以上	4.4% 以上	7.3% 以上

*子宮頸がんはCIN3以上の発見率または陽性反応的中度（2020年度のデータから変更）

注) 主な変更点

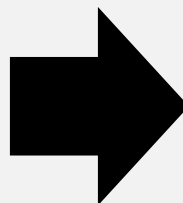
- ・許容値が廃止され、精検受診率の基準値は全がん種90%となり、未把握率、未受診率の基準値は廃止。
- ・基準値の対象年齢は、従来の上限74歳に加え、上限69歳の区分が追加。
- ・要精検率・がん発見率・陽性反応適中度の基準値が細分化され、性別及び受診歴別に示された。
- ・胃がん検診、肺がん検診及び乳がん検診のプロセス指標には、受診者の性質に応じた2種類の基準値が設定。
 - ①の基準値は、がん検診に類する検査・検診を受診する機会が指針どおりのがん検診以外にない検診対象者を想定
 - ②の基準値は、がん検診に類する検査・検診を受診する機会が他にある検診対象者を想定

プロセス指標の（新）基準値

「がん検診事業のあり方について」（令和5年6月） → プロセス指標の変更

許容値

	子宮頸がん*
	74歳以下 年齢区分なし
① 精検受診率	90% 以上
② 要精検率	1.4% 以下
⑤ がん発見率	0.05% 以上
⑥ 陽性反応 適中度	4.0% 以上



基準値

	子宮頸がん*		
	20～74歳	20～39歳	40～74歳
① 精検受診率	90% 以上		
② 要精検率	2.5% 以下	4.2% 以下	1.9% 以下
⑤ がん発見率	0.15% 以上	0.18% 以上	0.14% 以上
⑥ 陽性反応 適中度	5.9% 以上	4.4% 以上	7.3% 以上

CIN3以上

（2020年度のデータから
変更）

軽度異形成（CIN1）

中等度異形成（CIN2）

高度異形成～上皮内がん（CIN3）

…異形成が上皮の下1/3以内にとどまっている状態

…異形成が上皮の下2/3以内にとどまっている状態

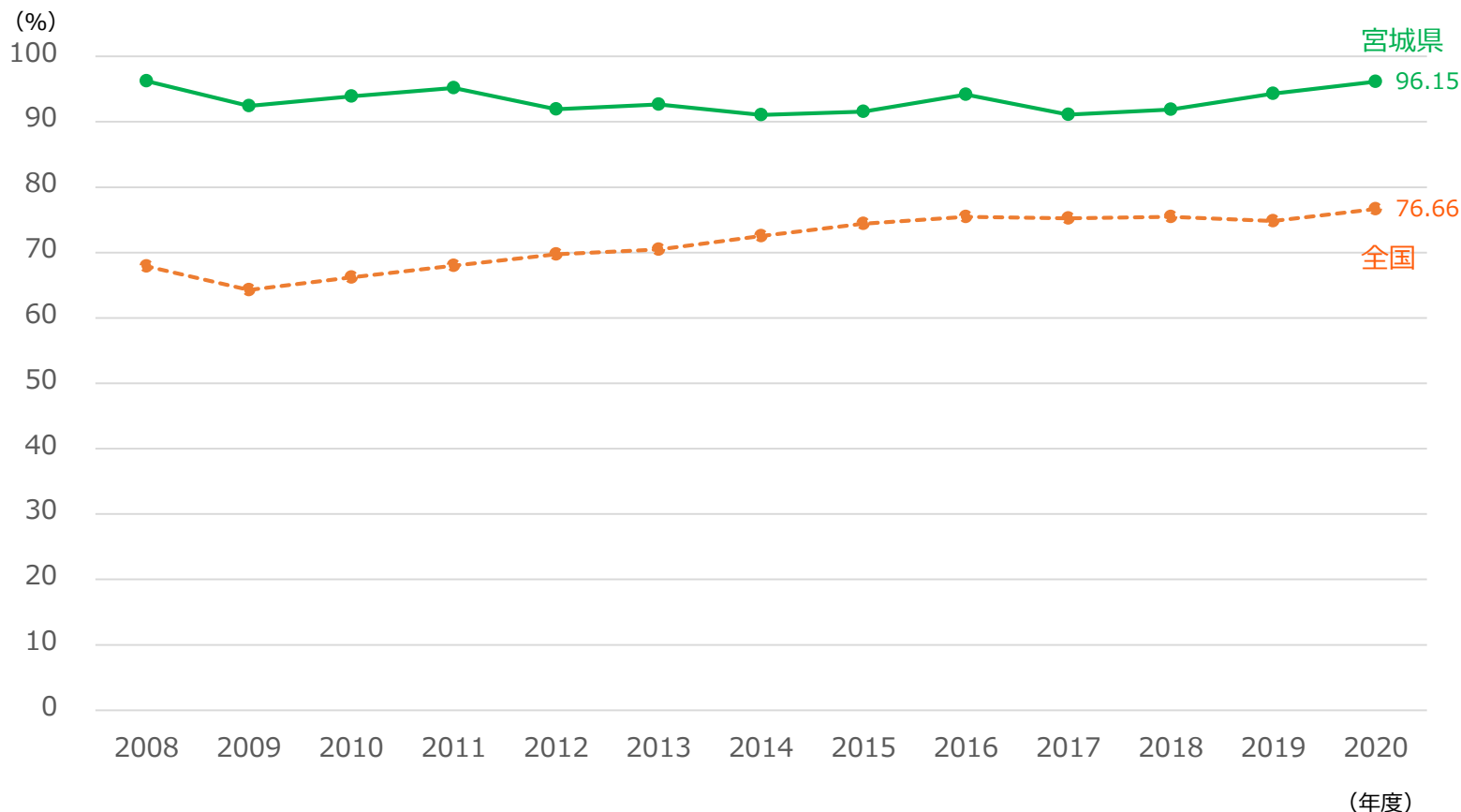
…異形成が上皮の2/3からすべての層（基底膜は破らずに上皮内におさまっている）に及んでいる状態

プロセス指標①（精検受診率）経年

要精検者が実際に精密検査を受診したか【精検受診者数／要精検者数×100】

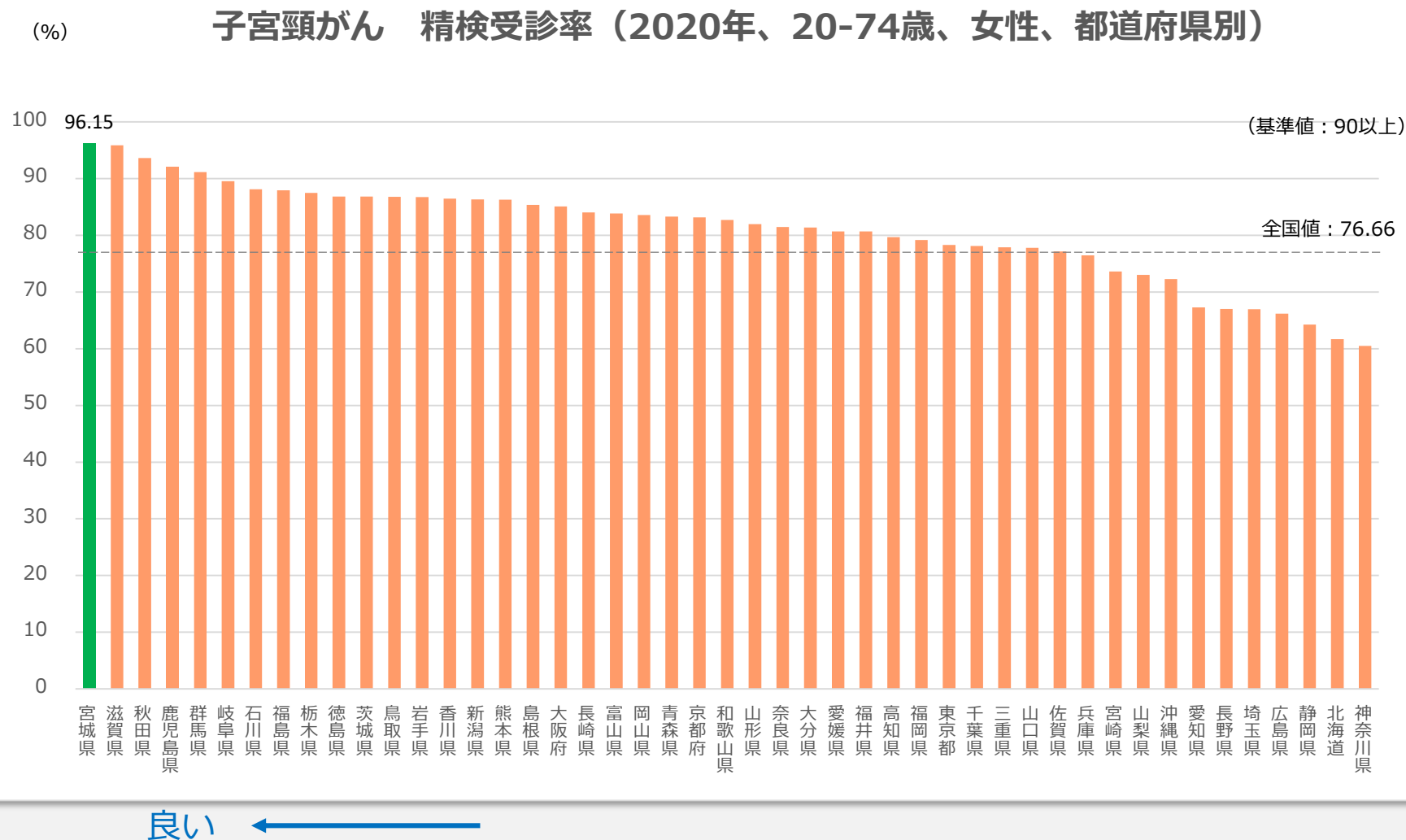
【注意】
市町村実施の
住民検診のみ

子宮頸がん精検受診率（2008-2020、20-74歳、女性、全国・宮城県）



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
対象：市町村が実施する住民検診（20-74歳を抽出）集団・個別合計

プロセス指標①（精検受診率） 全国順位



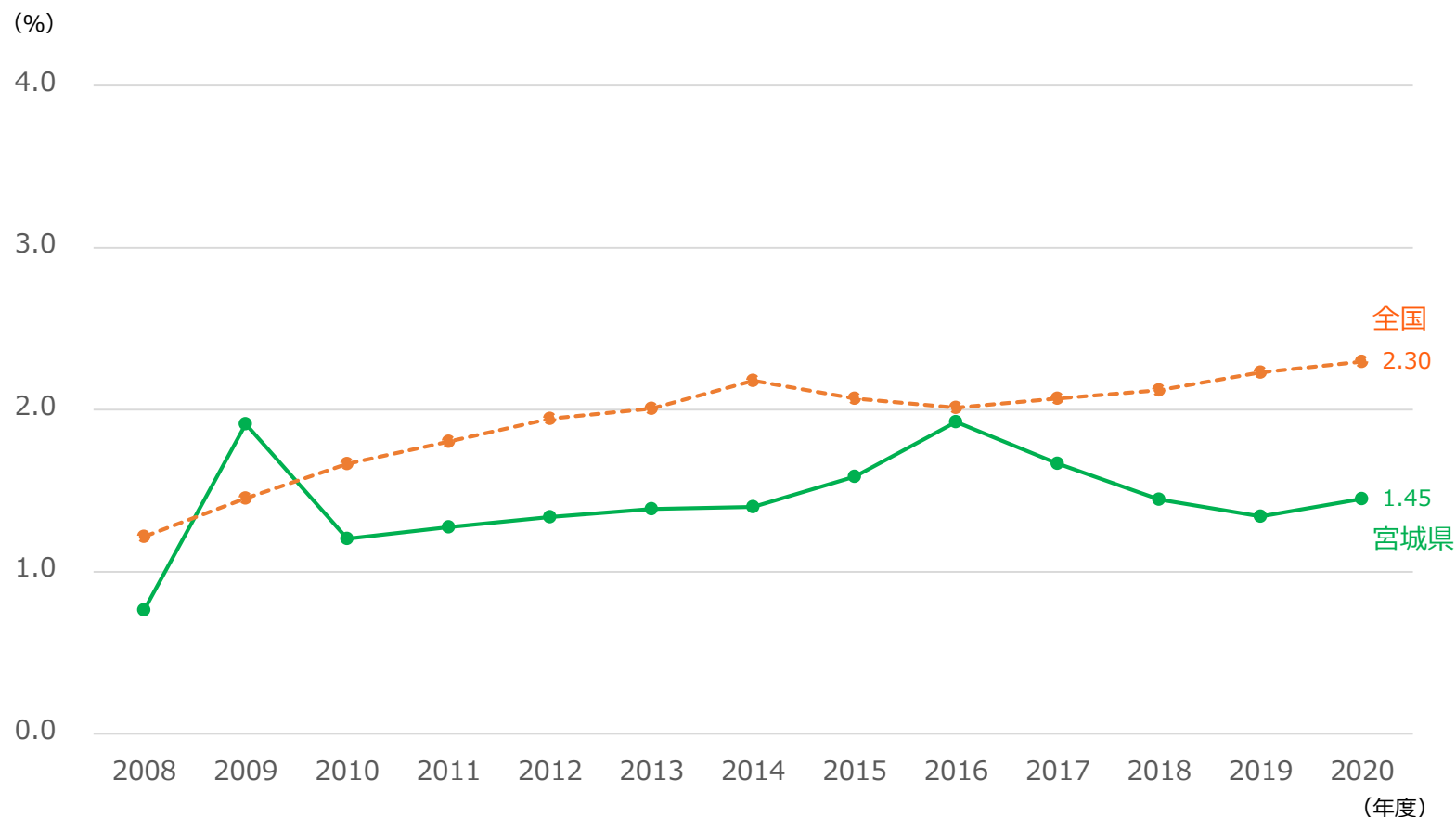
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
 対象：市町村が実施する住民検診（20-74歳を抽出）集団・個別合計

参考：対象が「全年齢」の場合の受診率は、全国：76.59%、宮城県：96.02%

プロセス指標②（要精検率）経年

検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているか【要精検者数／受診者数×100】

子宮頸がん 要精検率（2008-2020、20-74歳、女性、全国・宮城県）

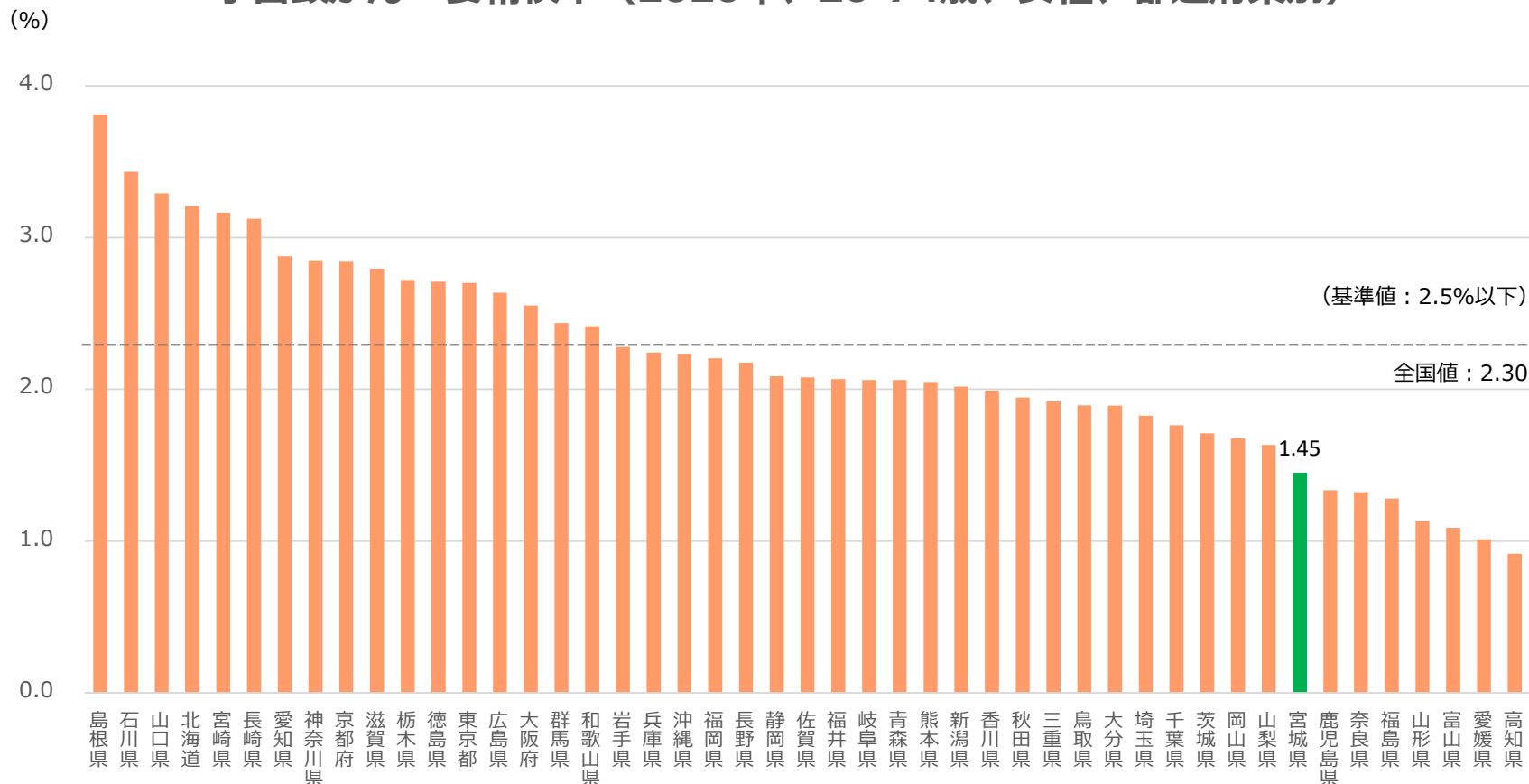


対象集団に応じて適切な範囲があり、
極端な高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
対象：市町村が実施する住民検診（20-74歳を抽出）集団・個別合計

プロセス指標②（要精検率） 全国順位

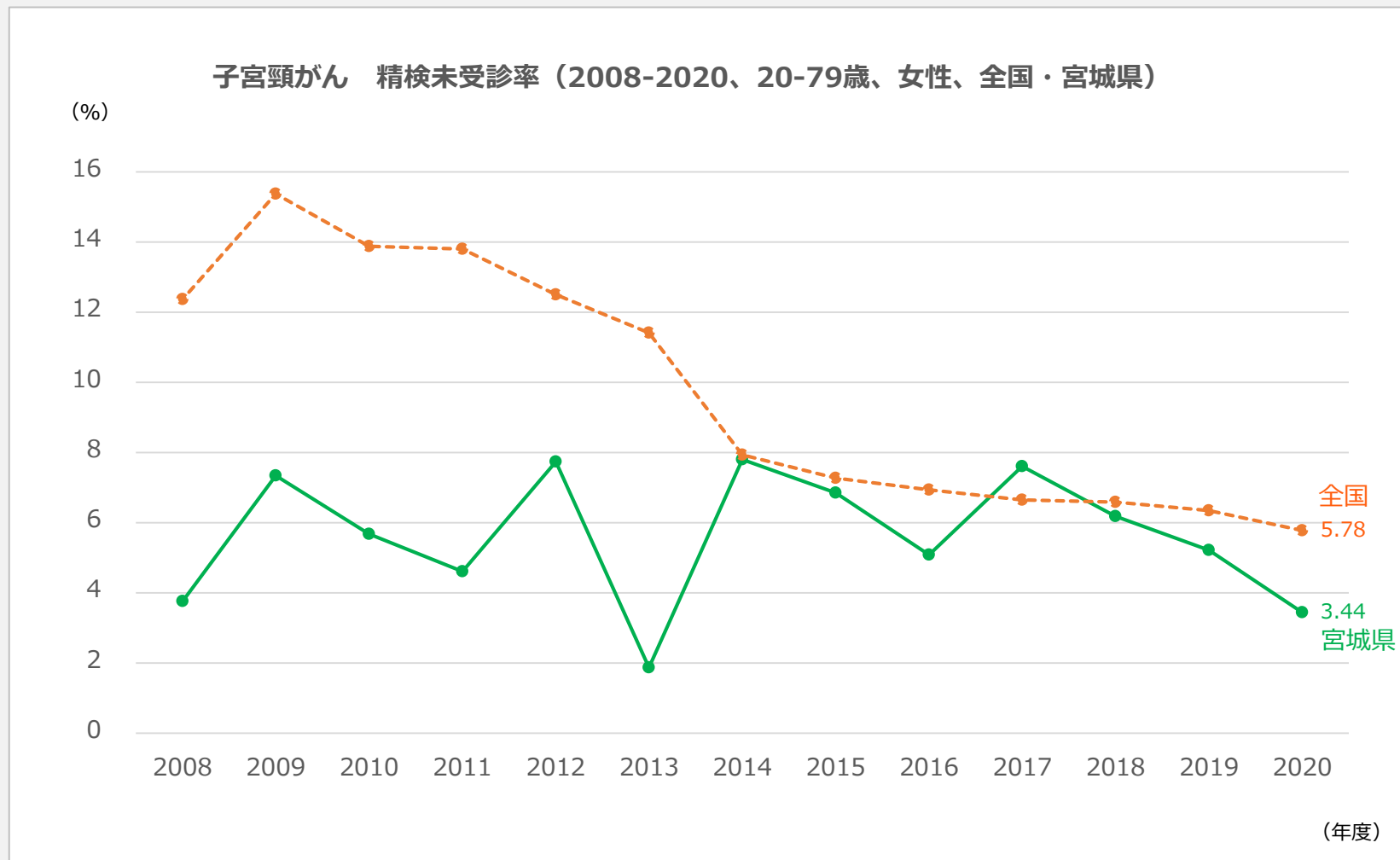
子宮頸がん 要精検率（2020年、20-74歳、女性、都道府県別）



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
対象：市町村が実施する住民検診（20-74歳を抽出）集団・個別合計

プロセス指標③（精検未受診率）経年

要精検者が実際に精密検査を受診したか【未受診者数／要精検者数×100】



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化

対象：市町村が実施する住民検診（20-74歳を抽出）集団・個別合計

精検未受診：要精検者が精検機関に行かなかったことが判明しているもの（本人自己申告、精検機関で受診の事実が確認されないものなど）

プロセス指標③（精検未受診率） 全国順位

子宮頸がん 精検未受診率（2020年、20-74歳、女性、都道府県別）



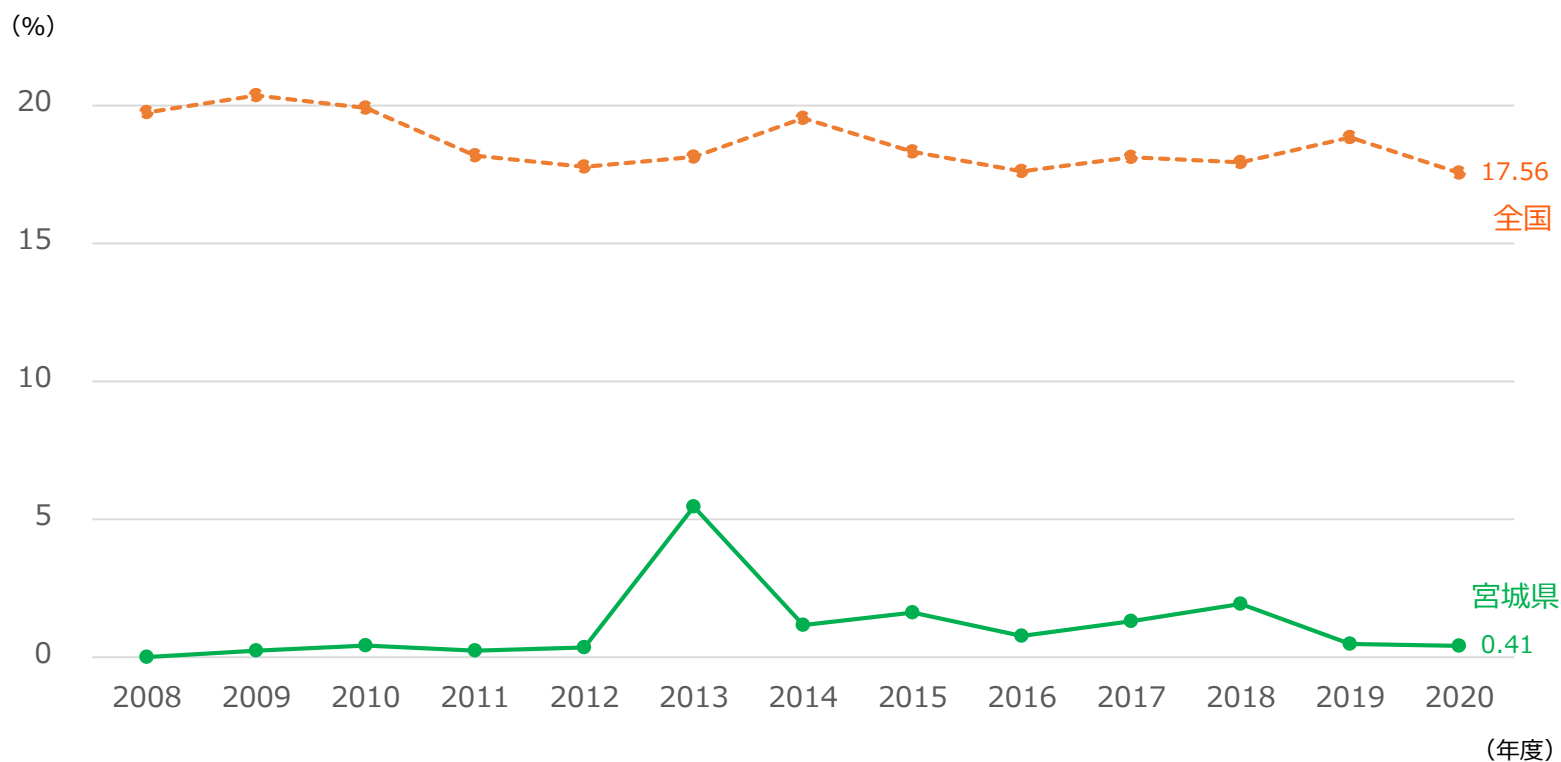
→ 良い

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
対象：市町村が実施する住民検診（20-74歳を抽出）集団・個別合計

プロセス指標④（精検未把握率）経年

精検受診の有無や精検結果が、適切に把握されたか【未把握者数／要精検者数×100】

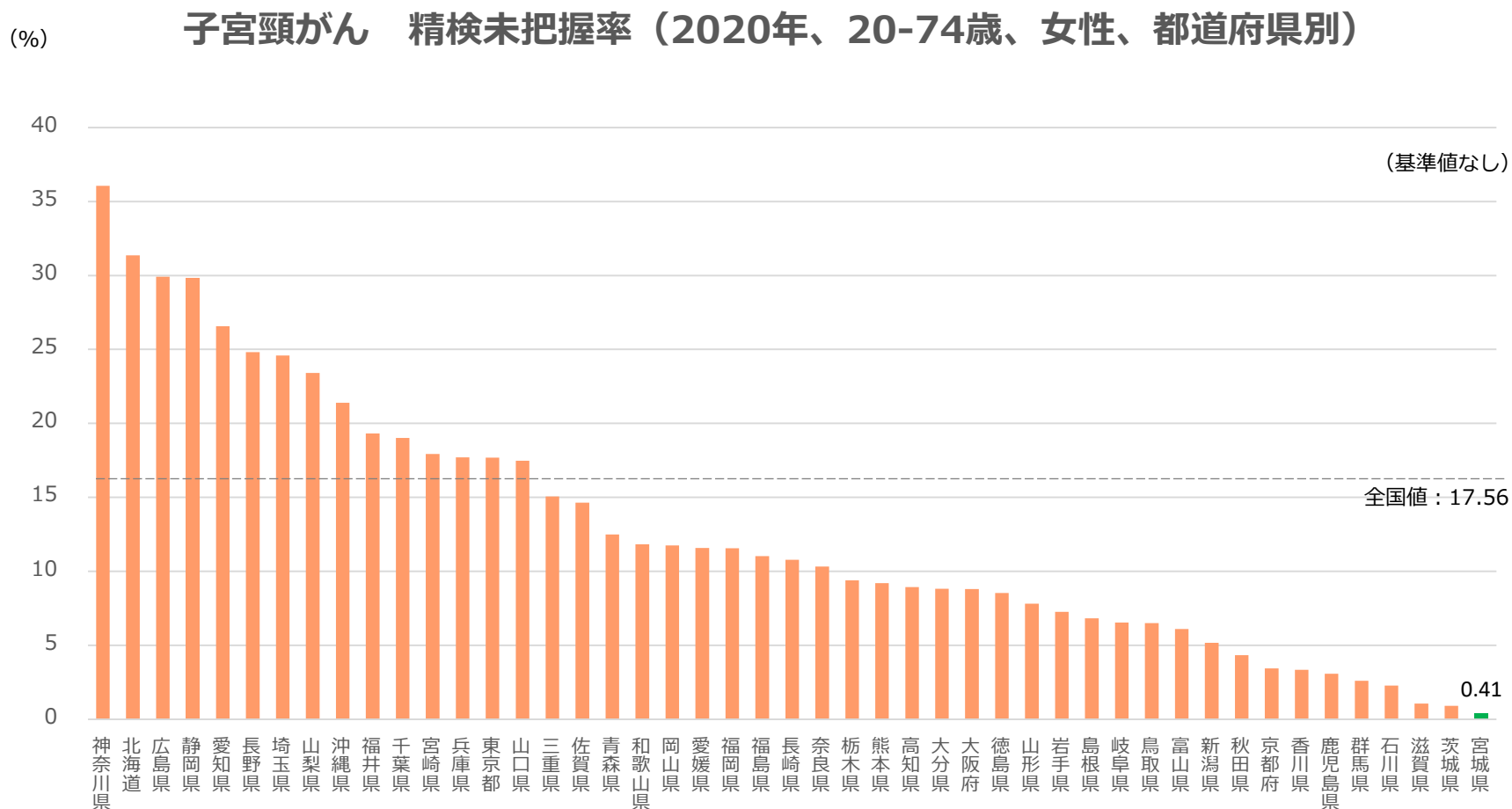
子宮頸がん 精検未把握率（2008-2020、20-74歳、女性、全国・宮城県）



良い

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
対象：市町村が実施する住民検診（20-74歳を抽出）集団・個別合計
精検未把握：精検受診の有無がわからないもの、精検結果が正確に報告されないもの

プロセス指標④（精検未把握率） 全国順位



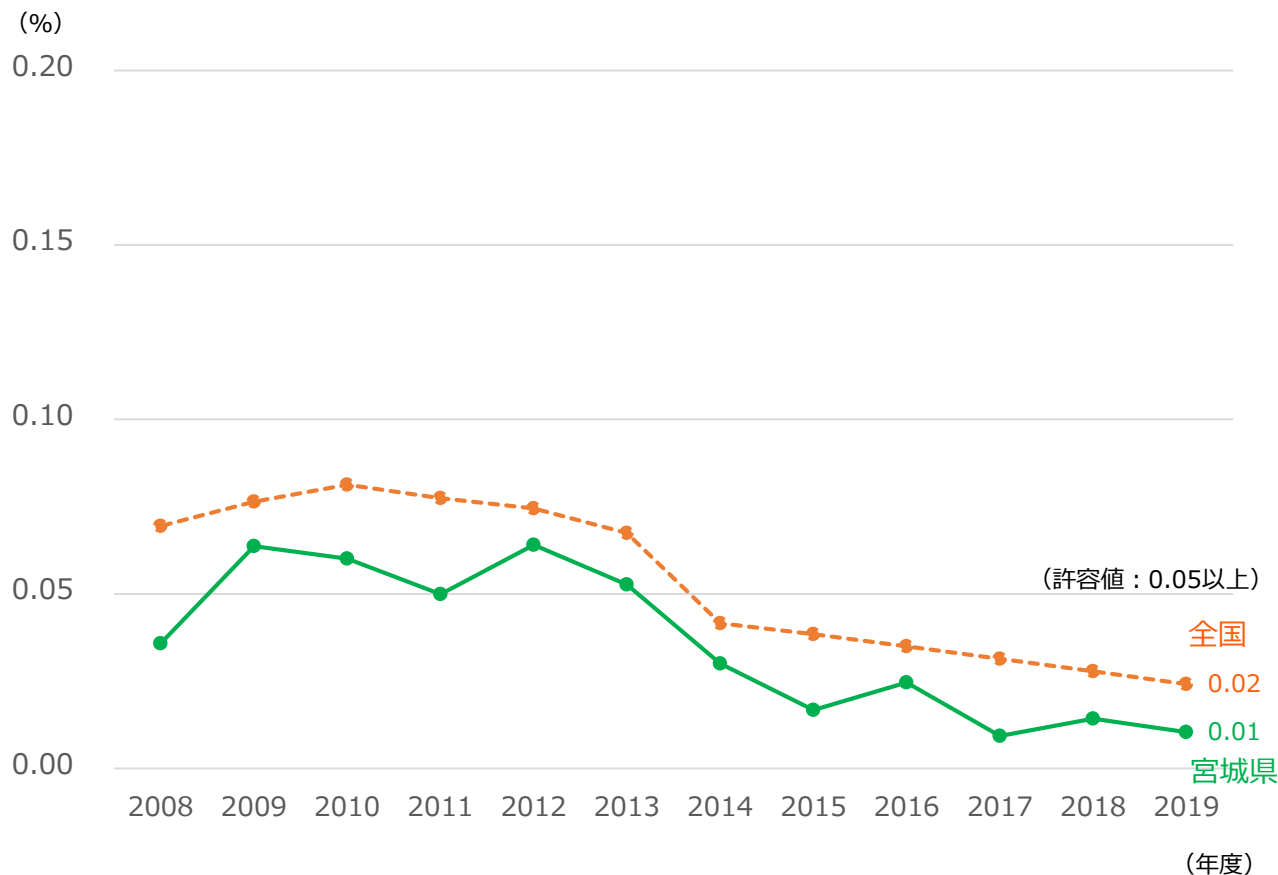
→ 良い

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
対象：市町村が実施する住民検診（20-74歳を抽出）集団・個別合計

プロセス指標⑤ (がん発見率) 経年

その検診において、適正な頻度でがんを発見できたか【がんであった者／受診者数×100】

子宮頸がん がん発見率 (2008-2019、20-74歳、女性、全国・宮城県)



CIN3以上
(2020)

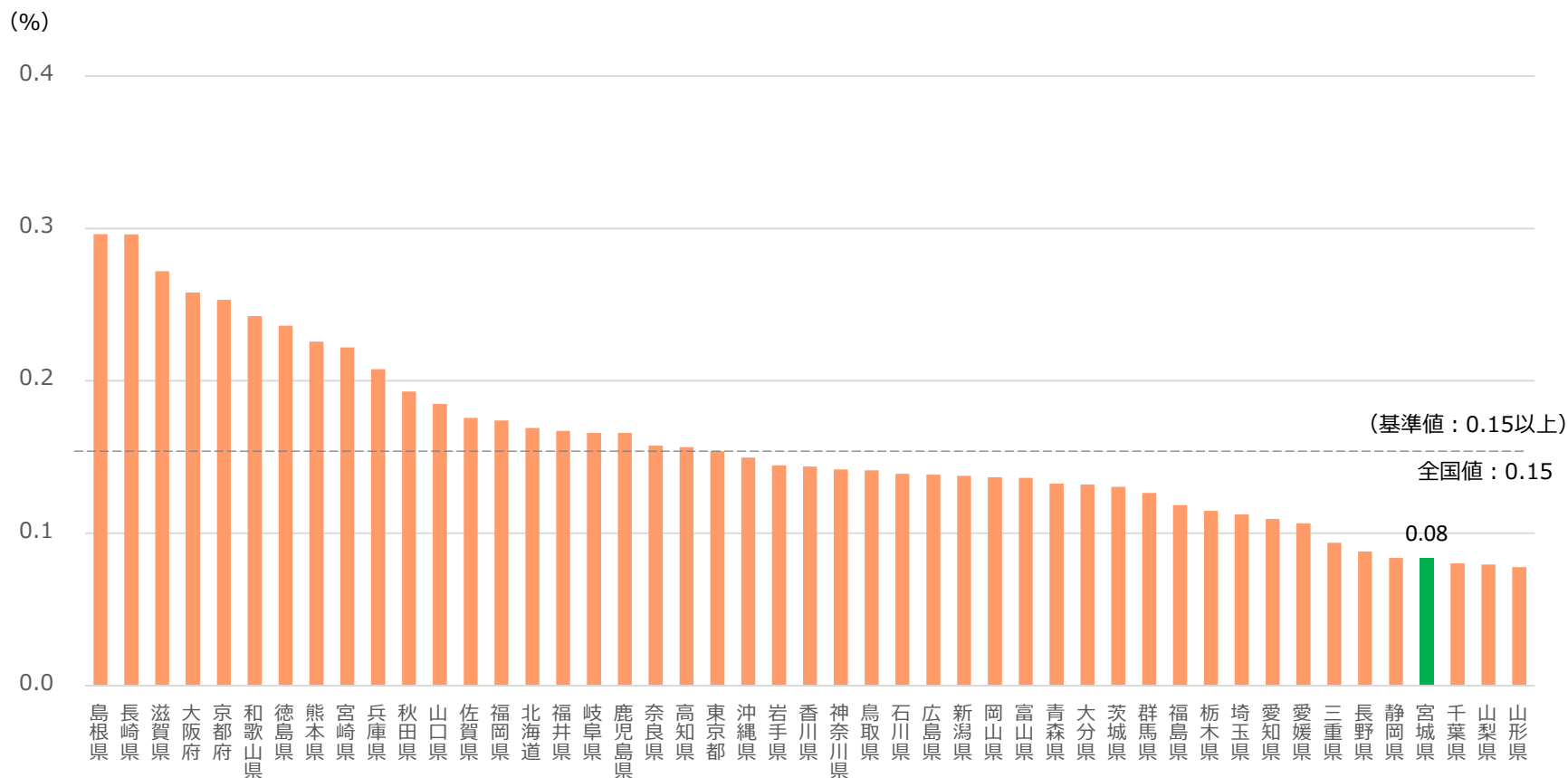


基本的に高いことが望ましいが、
極端に高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
対象：市町村が実施する住民検診（20-74歳を抽出）集団・個別合計
2020年度からは、CIN 3 以上の発見率に集計変更

プロセス指標⑤ (がん発見率) 全国順位

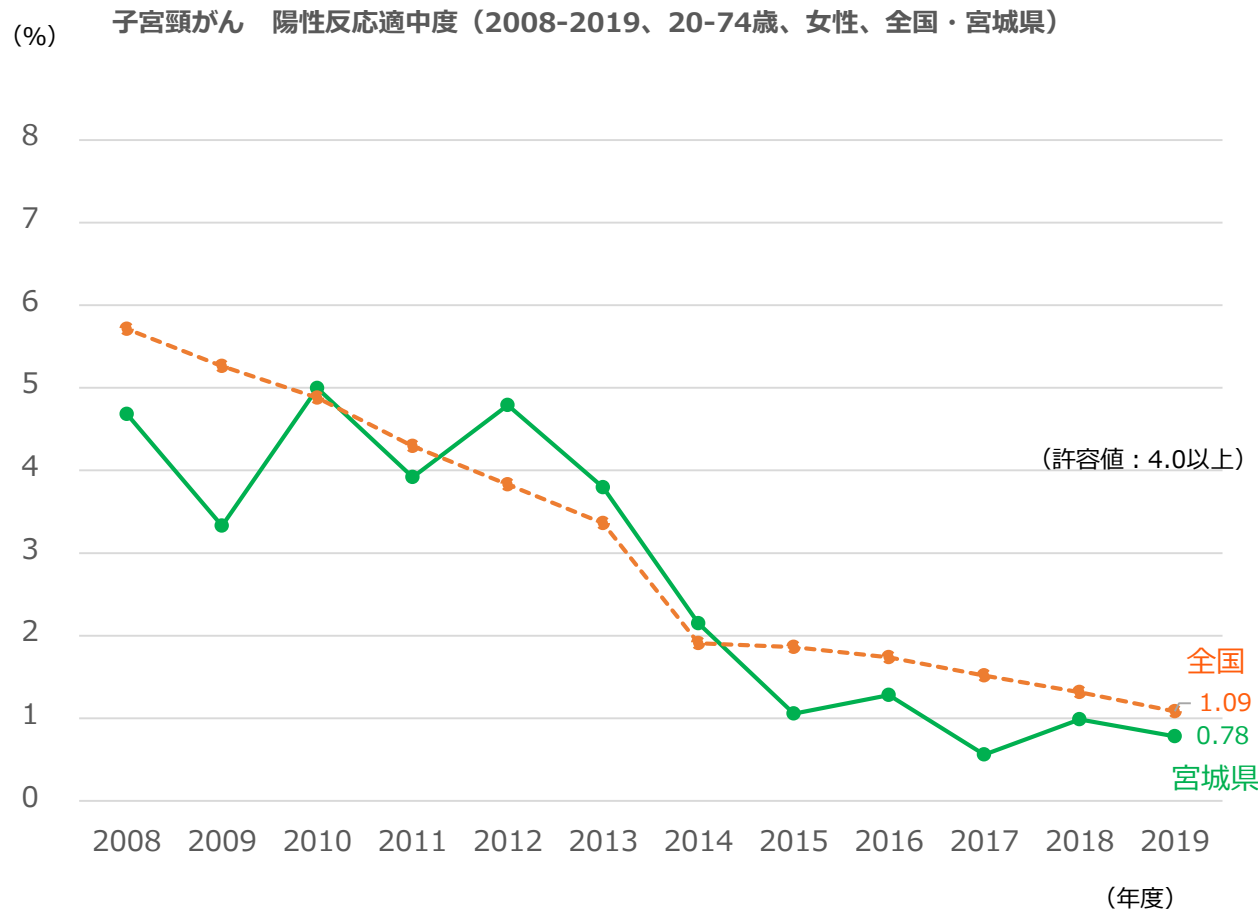
子宮頸がん CIN3以上がん発見率 (2020年、20-74歳、女性、都道府県別)



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
 対象：市町村が実施する住民検診（20-74歳を抽出）集団・個別合計
 2020年度からは、CIN 3 以上の発見率に集計変更

プロセス指標⑥（陽性反応適中度） 経年

その検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標（検診の精度を測る指標）
【がんであった者／要精検者数×100】



CIN3以上 (2020)

(基準値: 5.9以上)

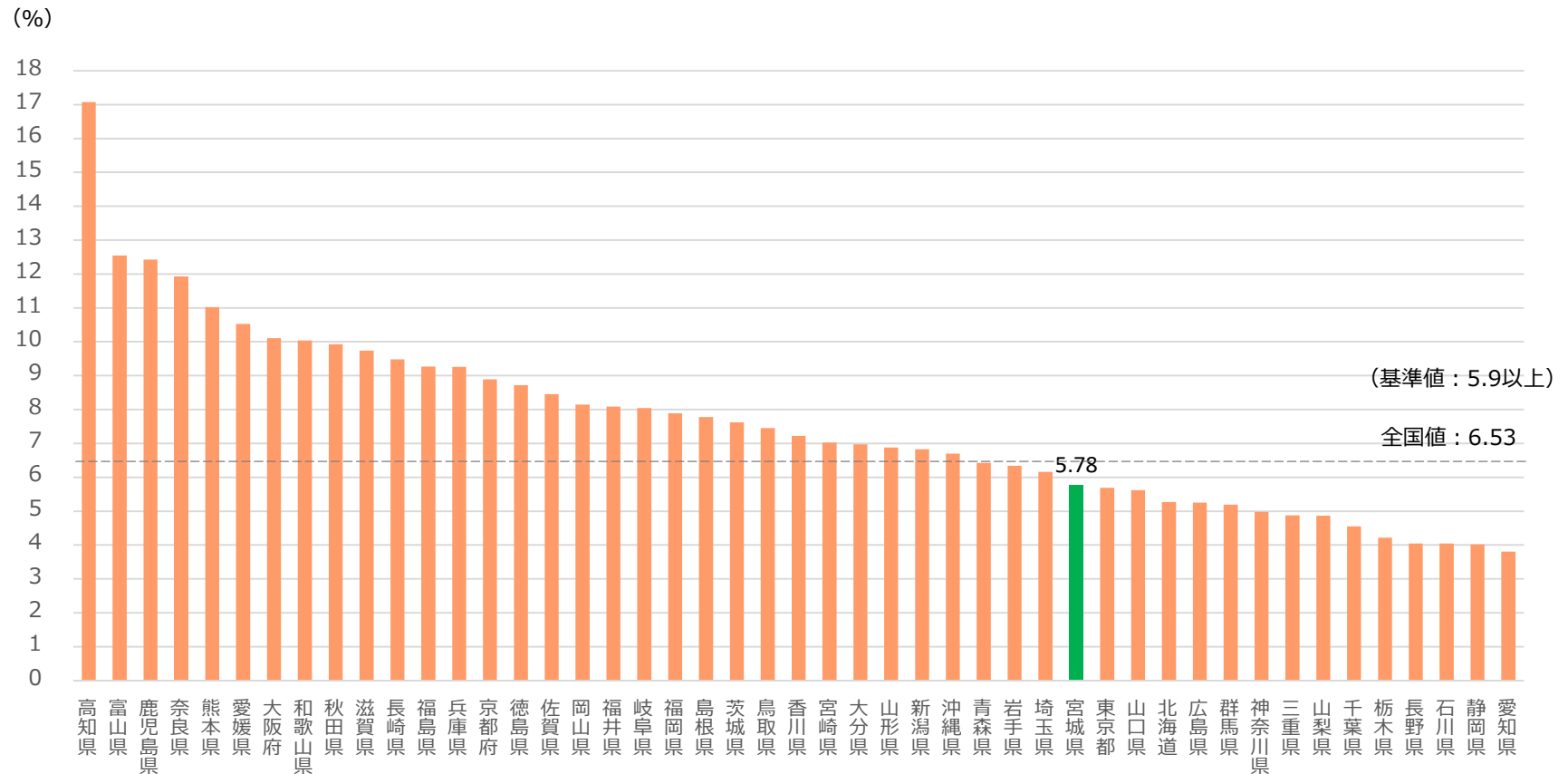


基本的に高いことが望ましいが、
極端に高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
対象：市町村が実施する住民検診（20-74歳を抽出）集団・個別合計
2020年度からは、CIN 3 以上の陽性反応適中率に集計変更

プロセス指標⑥ (陽性反応適中度) 全国順位

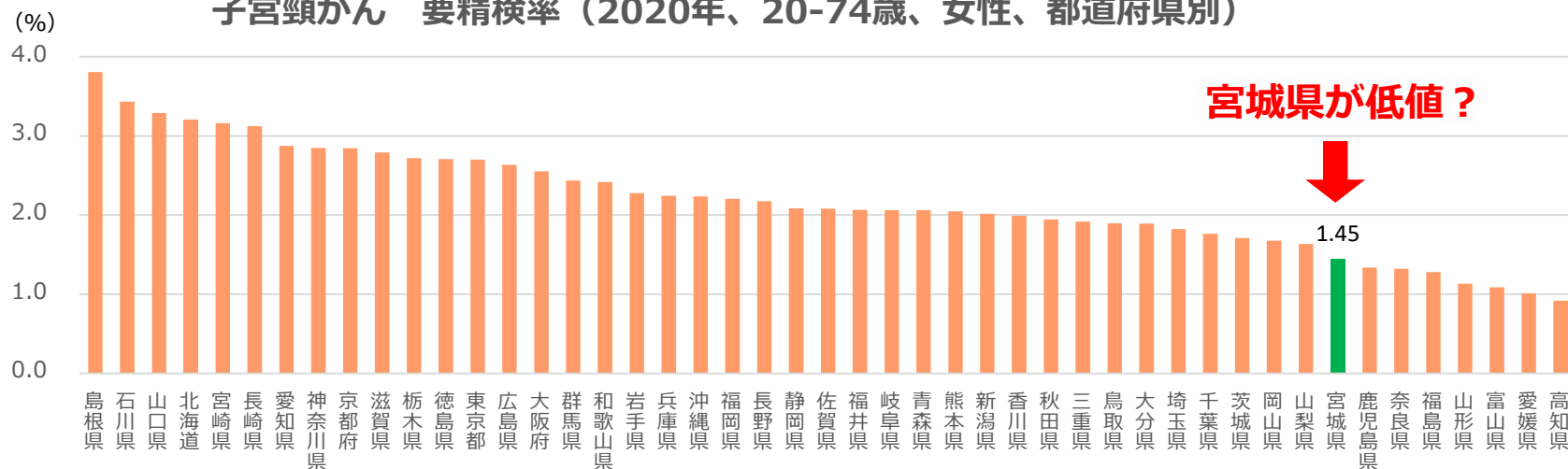
子宮頸がん CIN3以上陽性反応適中度 (2020年、20-74歳、女性、都道府県別)



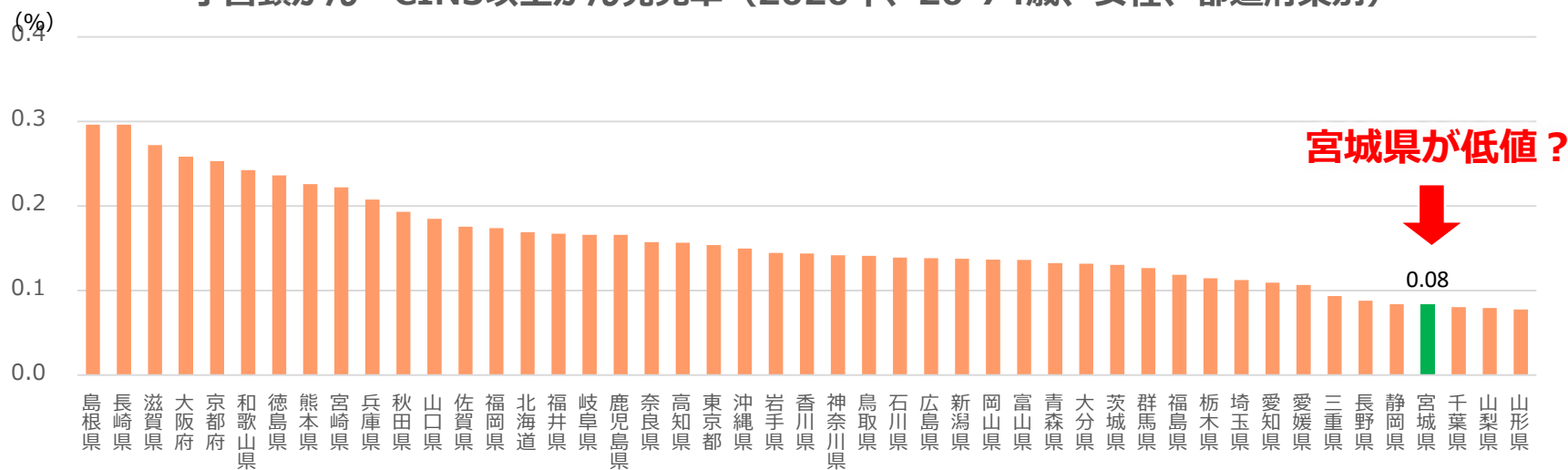
出典 : 国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」(地域保健・健康増進事業報告) から県でグラフ化
 対象 : 市町村が実施する住民検診(20-74歳を抽出) 集団・個別合計
 2020年度からは、CIN 3 以上の陽性反応適中率に集計変更

要精検率、がん発見率の評価

子宮頸がん 要精検率（2020年、20-74歳、女性、都道府県別）



子宮頸がん CIN3以上がん発見率（2020年、20-74歳、女性、都道府県別）

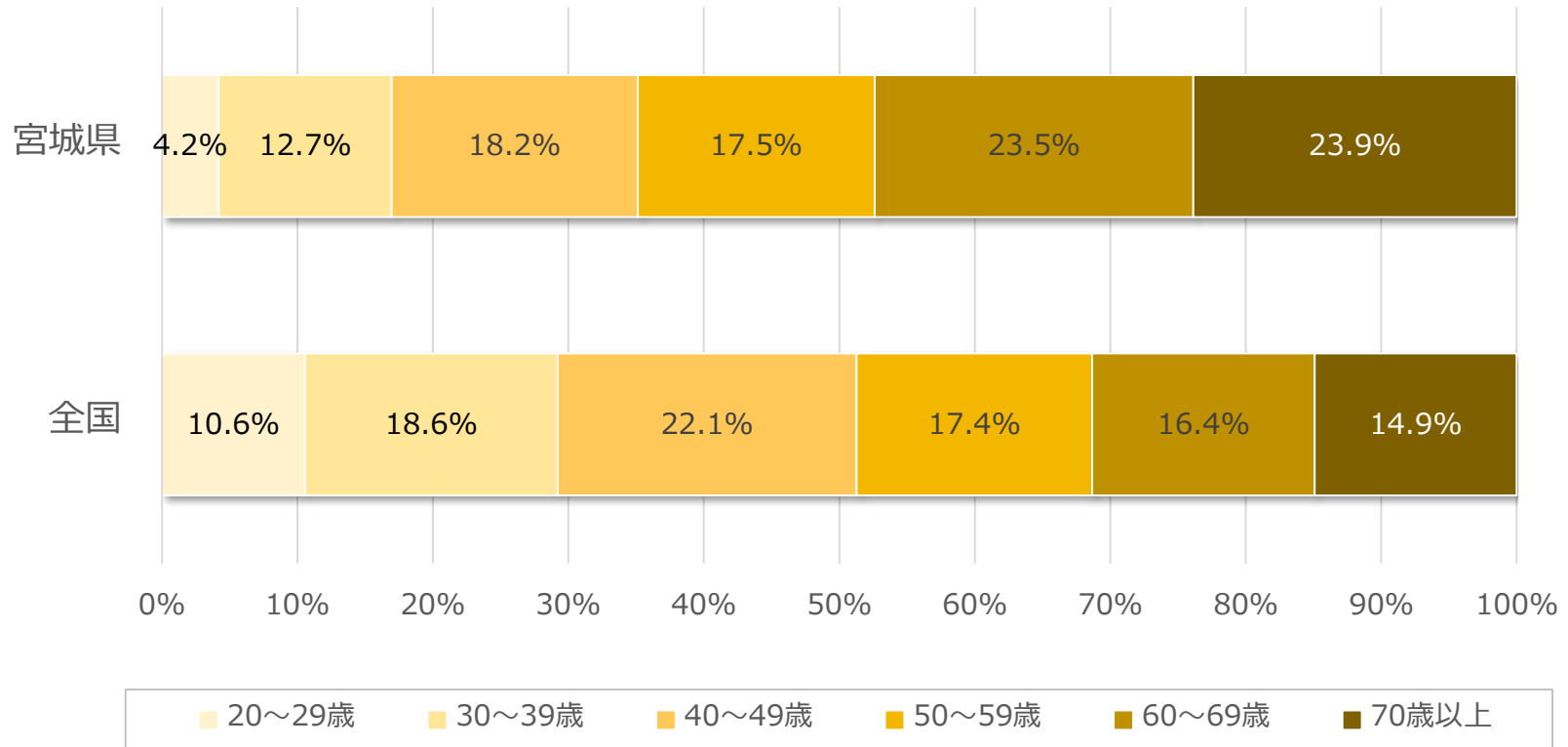


プロセス指標の意味と活用方法

	各指標の意味 【算出方法】	各指標値の評価	値が適正でない場合の検討事項		
			指標	予想される原因	検討内容
要精検率	検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているか 【要精検者数／受診者数×100】	対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要	高値	① 受診者が有病率の高い集団に偏っている ② 偽陽性が多い	① 有症状者が検診を受けていないか(有症状者は診療を受けるよう指導する)、有病率の高い年齢層、有病率の高い初回受診者に偏っていないか ② 各検診機関の要精検の判定基準は適切か
			低値	① 受診者が有病率の低い集団に偏っている ② 偽陰性が多い	① 有病率の低い年齢層に偏っていないか(年齢層、受診歴等) ② 各検診機関の要精検の判定基準、検査手技、読影等は適切か
がん発見率	その検診において、適正な頻度でがんを発見できたか 【がんであった者／受診者数×100】	基本的に高いことが望ましいが、極端に高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要	極端に高値	受診者が有病率の高い集団に偏っている	有症状者が検診を受けていないか(有症状者は診療を受けるよう指導する)、有病率の高い年齢層、有病率の高い初回受診者に偏っていないか
			低値	① 受診者が有病率の低い集団に偏っている ② 偽陰性が多い	① 有病率の低い年齢層に偏っていないか(年齢層、受診歴等) ② 各検診機関の要精検の判定基準、検査手技、読影等は適切か

(参考) 検診受診者の年齢構成割合 全国・県

子宮頸がん検診受診者の年齢構成割合（2020年、女性）県・全国

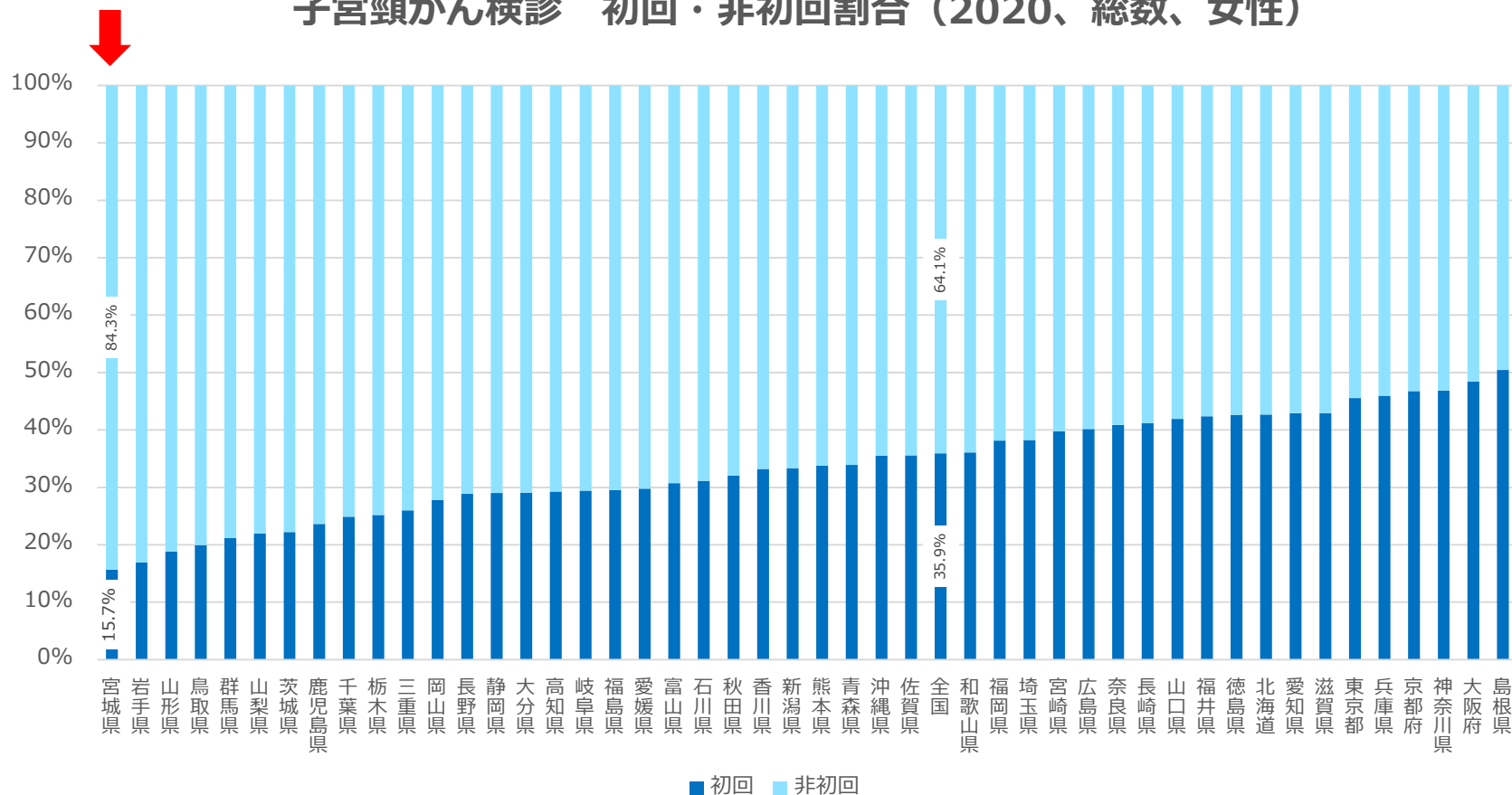


出典：令和2年度地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)都道府県表（第18-1表 子宮頸がん検診受診者数）

注意：この集計では、74歳以上も含む

(参考) 検診受診者の初回割合 全国・県

子宮頸がん検診 初回・非初回割合（2020、総数、女性）



出典：令和2年度地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)都道府県表（第18-1表 子宮頸がん検診受診者数）

全国 初回 1,334,599人、非初回 2,378,328人

宮城県 初回 20,995人、非初回 112,838人

注意：この集計では、74歳以上も含む

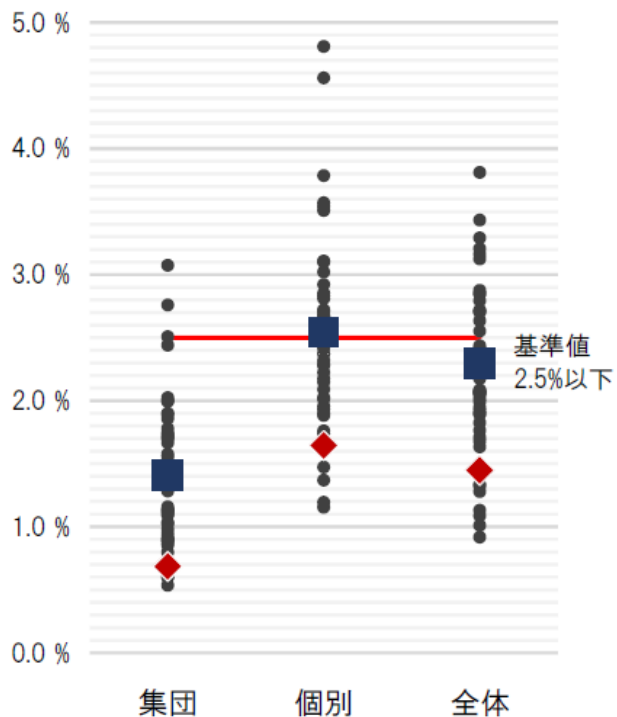
→ 宮城県は全国より初回割合が最も低い

(参考) 要精検率 集団・個別

子宮頸がん 要精検率

(2020年、20～74歳、女性)

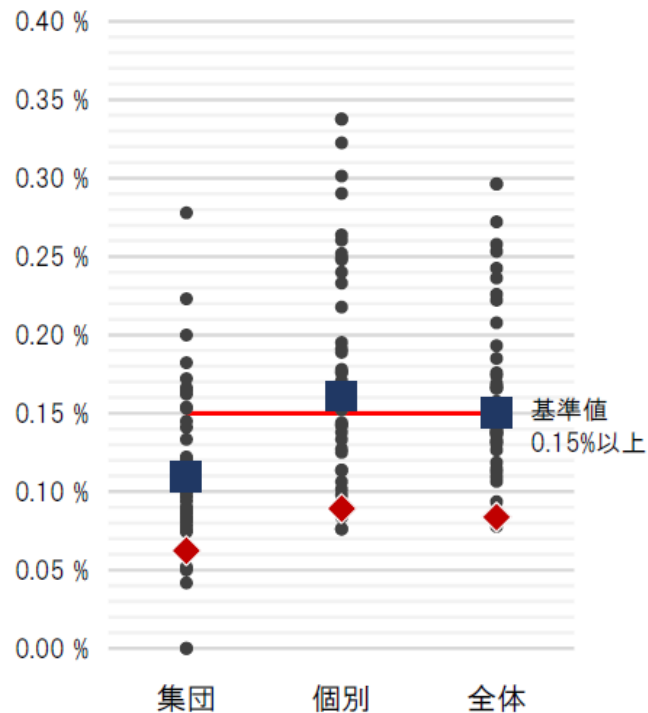
	集団	個別	全体
全 国	1.4	2.5	2.3
宮城県	0.7	1.6	1.4



子宮頸がん CIN3以上発見率

(2020年、20～74歳、女性)

	集団	個別	全体
全 国	0.11	0.16	0.15
宮城県	0.06	0.09	0.08



基準値

◆ 宮城県

■ 全 国

● その他の県

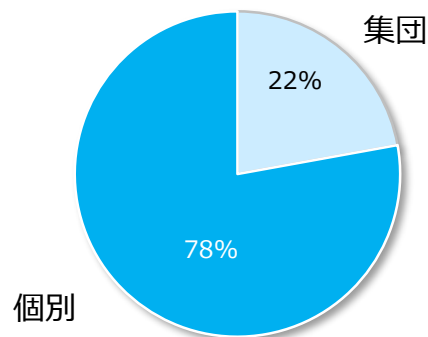
(参考) 市町村の検診受診者

集団・個別割合

市町村名	対象者数 注1)	令和2(2020)年度 受診者数			受診率 (%) 注2
			集団検診	個別検診	
白石市	14,502	2,854	1,107	1,747	24.78
角田市	12,391	1,995	587	1,408	21.13
蔵王町	5,109	1,032	705	327	25.19
七ヶ宿町	560	168	168	0	37.50
大河原町	9,935	1,638	0	1,638	21.48
村田町	4,598	883	323	560	24.27
柴田町	15,931	2,808	0	2,808	23.66
川崎町	3,731	883	883	0	29.75
丸森町	5,592	986	986	0	23.19
塩竈市	24,185	2,874	0	2,874	19.63
名取市	32,407	4,869	242	4,627	21.74
多賀城市	25,711	3,779	0	3,779	21.01
岩沼市	18,547	3,753	0	3,753	25.79
富谷市	20,594	5,453	0	5,453	33.37
亘理町	14,291	2,165	611	1,554	20.66
山元町	5,336	923	722	201	21.81
松島町	6,165	1,099	0	1,099	22.51
七ヶ浜町	7,804	1,313	0	1,313	26.28
利府町	14,722	2,566	0	2,566	23.51
大和町	11,196	2,096	0	2,096	24.20
大郷町	3,455	528	236	292	22.14
大衡村	2,329	445	44	401	27.18
大崎市	55,051	8,526	1,854	6,672	20.28
色麻町	2,952	633	633	0	26.36
加美町	9,969	1,155	1,149	6	23.05
涌谷町	6,989	950	950	0	19.13
美里町	10,635	1,868	1,861	7	24.00
栗原市	29,419	4,702	3,308	1,394	23.34
登米市	34,225	9,047	8,087	960	34.72
石巻市	63,054	12,548	1,552	10,996	25.65
東松島市	16,746	2,837	0	2,837	22.49
女川町	2,775	493	493	0	20.97
気仙沼市	27,925	4,135	2,133	2,002	20.78
南三陸町	5,548	1,016	1,015	1	26.01
仙台市	460,322	40,813	0	40,813	16.08
県総計	984,701	133,833	29,649	104,184	—

県内の子宮頸がん検診 2020

集団・個別検診者数の割合

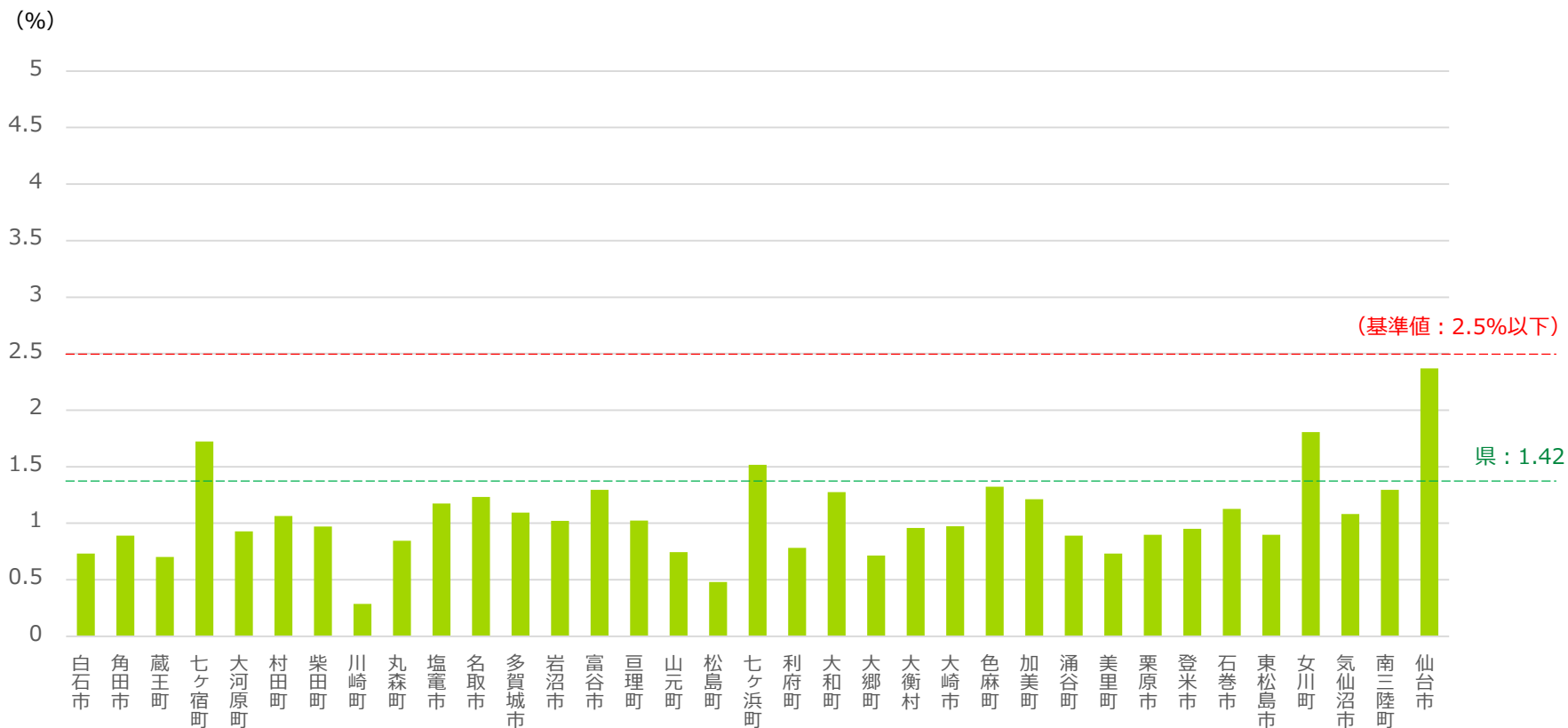


出典：令和3年度子宮がん部会資料
子宮頸がん検診結果別人員等調査結果
令和2年子宮頸がん検診実施状況（合計）
地域保健・健康増進事業報告（健康増進編）市区町村表

注1：この集計では、74歳以上も含む
注2：受診率は2年連続受診者を除いた値

(参考) 市町村の各プロセス指標① 過去3年間平均値

市町村別 子宮頸がん検診 要精検率（2018-2020（3年平均）、20-74歳、女性）

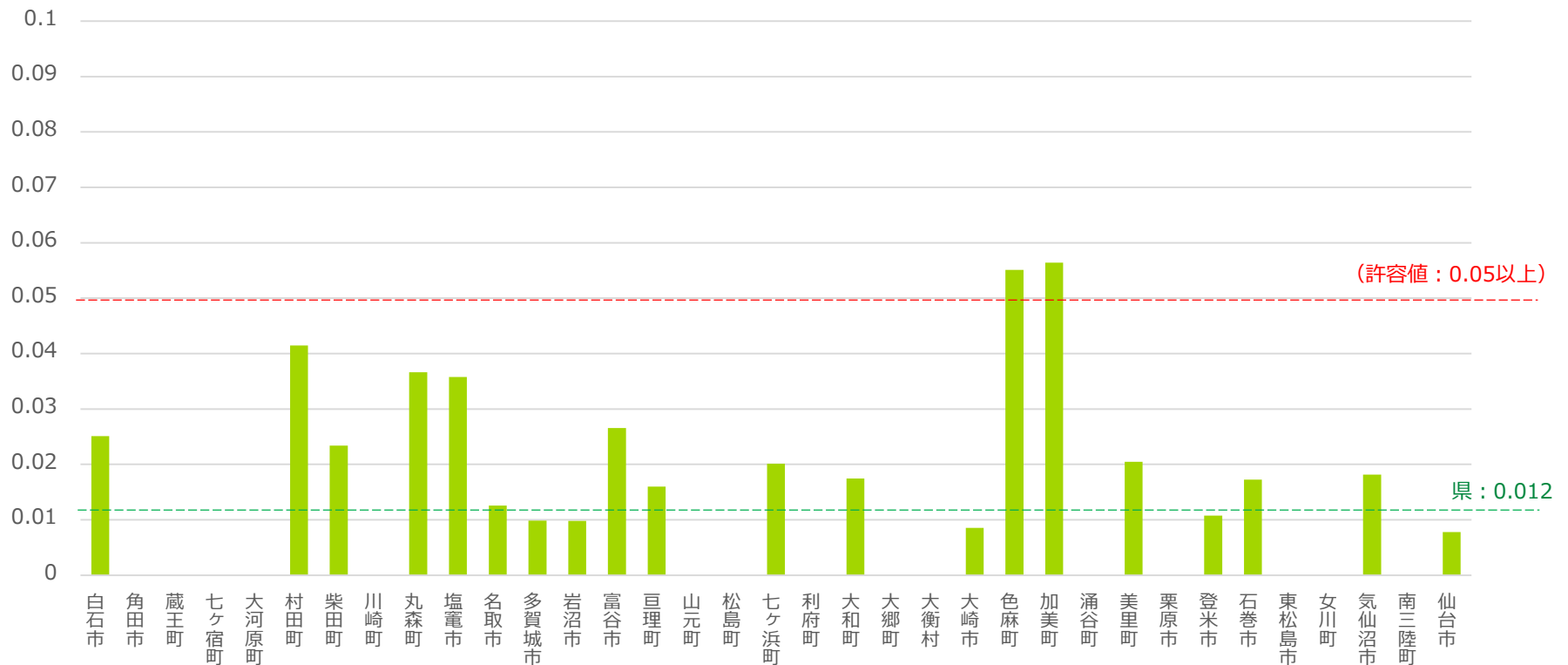


出典：令和2～4年度子宮がん部会資料
 子宮頸がん検診結果別人員等調査結果
 事業評価指標（平成30年度～令和2年度平均値 子宮頸がん検診20～74歳）

(参考) 市町村の各プロセス指標② 過去3年間平均値

注意：CIN 3 以上ではありません

(%) 市町村別 子宮頸がん検診 がん発見率 (2018-2020 (3年平均)、20-74歳、女性)



出典：令和2～4年度子宮がん部会資料
 子宮頸がん検診結果別人員等調査結果
 事業評価指標（平成30年度～令和2年度平均値 子宮頸がん検診20～74歳）

(参考) 令和2年度 市町村 委託検診機関

分類	市町村名	集団検診 検診機関名	個別検診 検診機関名		
①	白石市	宮城県対がん協会	白石市医師会		
①	角田市	宮城県対がん協会	角田市医師会		
①	蔵王町	宮城県対がん協会	公立刈田総合病院	大泉記念病院	
②	七ヶ宿町	宮城県対がん協会			
③	大河原町		柴田郡医師会		
①	村田町	宮城県対がん協会	柴田郡医師会		
③	柴田町		柴田郡医師会		
②	川崎町	宮城県対がん協会			
②	丸森町	宮城県対がん協会			
③	塩竈市		宮城県塩釜医師会		
①	名取市	宮城県対がん協会	名取市医師会	岩沼市医師会	
③	多賀城市		宮城県塩釜医師会		
③	岩沼市		岩沼市医師会		
③	富谷市		黒川医師会	仙台市医師会	
①	亘理町	宮城県対がん協会	岩沼市医師会		
①	山元町	宮城県対がん協会	岩沼市医師会		
③	松島町		宮城県塩釜医師会		
②	七ヶ浜町		宮城県塩釜医師会	宮城県対がん協会	
③	利府町		宮城県塩釜医師会		
②	大和町		宮城県対がん協会	黒川医師会	
②	大郷町	宮城県対がん協会	黒川医師会		
②	大衡村	宮城県対がん協会	宮城県対がん協会	黒川医師会	大崎市医師会
②	大崎市	宮城県対がん協会	大崎市医師会		
①	色麻町	宮城県対がん協会			
①	加美町	宮城県対がん協会			
①	涌谷町	宮城県対がん協会	宮城県対がん協会		
①	美里町	宮城県対がん協会	宮城県対がん協会		
②	栗原市	宮城県対がん協会	栗原市医師会	宮城県対がん協会	宮城県成人病予防協会
②	登米市	宮城県対がん協会	登米市医師会		
②	石巻市	宮城県対がん協会	石巻市医師会	桃生郡医師会	
③	東松島市		桃生郡医師会	石巻市医師会	宮城県塩釜医師会
②	女川町	宮城県対がん協会			
①	気仙沼市	宮城県対がん協会	宮城県対がん協会	気仙沼市医師会	
②	南三陸町	宮城県対がん協会			
④	仙台市		仙台市医師会	宮城県医師会	

出典：
令和2年度
子宮がん部会資料
「令和2年度子宮頸がん
検診概要調査結果」

(参考) チェックリスト項目 (検診機関)

検診機関用

がん検診のためのチェックリスト 集団検診・個別検診
(内容は、各がんにより異なる)

子宮頸がん用

項目	項目数
1. 受診者への説明 (検診の際、あるいはそれに先立って受診者全員に対して行う説明)	6
2. 検診機関での精度管理	11
3. 細胞診判定施設での精度管理	5
4. システムとしての精度管理	6

(チェックリスト項目数 計28問)

例 (詳細)

**R5年度は、
集団検診機関は、
100%実施
個別検診機関は、
73.9%実施**

(検診機関の自己申告、
県では内容までは確認
していない)

項目
(1) 細胞診判定施設は、公益社団法人日本臨床細胞学会の施設認定を受けているか。もしくは、公益社団法人日本臨床細胞学会の認定を受けた細胞診専門医と細胞検査士が連携して検査を行っているか
(2) 細胞診陰性と判断された検体は、その10%以上について、再スクリーニングを行い、再スクリーニング施行率を報告している
(3) 細胞診結果の報告には、ベセスダシステムを用いているか
(4) 全ての子宮頸がん検診標本の状態について、ベセスダシステムの基準に基づいて適正・不適正のいずれかに分類し、細胞診結果に明記しているか

プロセス指標のまとめ（子宮頸がん）


- 検診受診率、精検受診率ともに全国より高い （良い）
- 精検未受診率、精検未把握率ともに全国より低い （良い）
- がん発見率は、ほぼ全国と同じだが、
要精検率、がん発見率は低値になっている



値の評価、要因等について、専門的な見地から御意見ををお願いします

(余 白)

がん部会の内容

- 1 生活習慣病検診管理指導協議会各がん部会と精度管理について
- 2 概要調査結果
- 3 チェックリスト遵守状況調査結果
- 4 がん検診結果別人員等調査結果
(プロセス指標)
-  5 アウトカム指標

がん検診の精度管理はどう評価するか

精度管理状況を評価する3種類の指標

短期的指標

技術・体制指標

国が推奨する
最低限の検診体制
(受診勧奨、検診機関など)

プロセス指標

各体制の下で行った
検診の中間結果
(受診率、要精検率など)

長期的指標

アウトカム指標

がん死亡率

①概要調査

③がん検診結果別
人員等調査

②チェックリスト
遵守状況調査

今回から評価

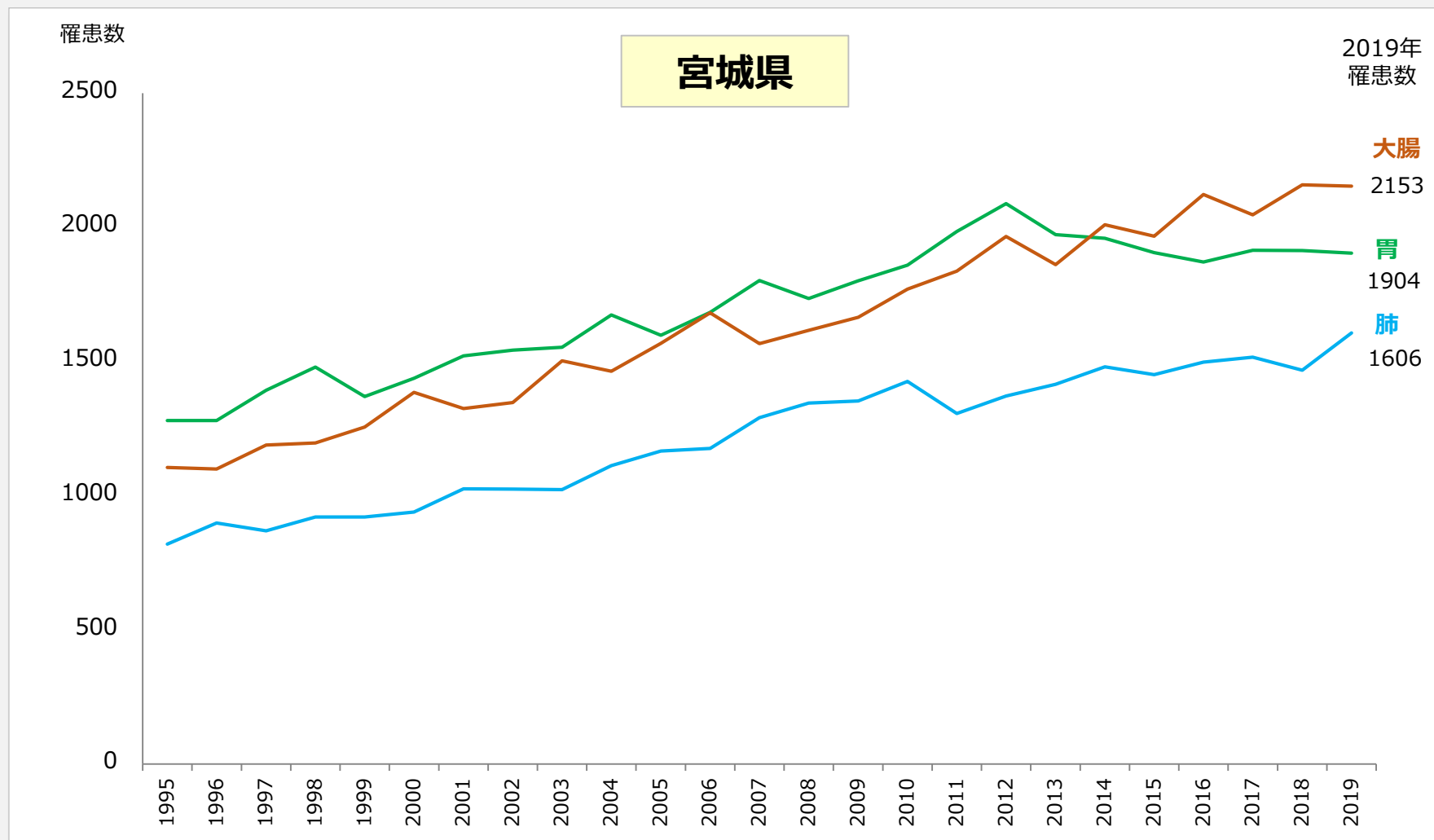
短期的指標により評価

(不備な点を改善しなければ、検診の効果を十分に発揮することができない)

→ いわゆる品質管理と同様に繰り返しにより検診の質を徐々に高めていく必要がある。

宮城県のがん罹患数（男）

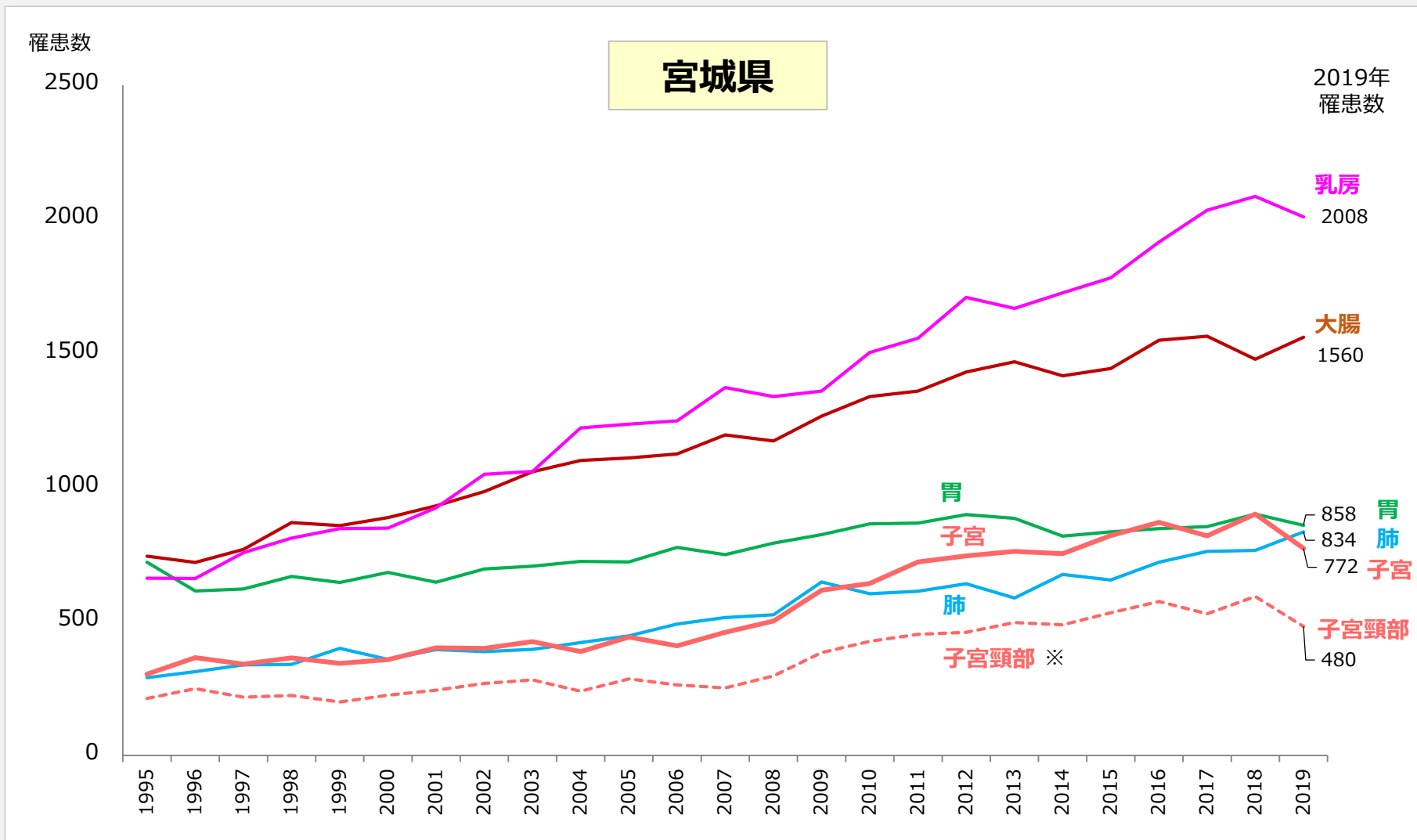
3部位のがん（上皮内がんを含む）罹患数 年次推移（1995-2019，宮城県，男性）



出典 宮城県がん登録情報（宮城県がん登録室集計・再集計値）

宮城県のがん罹患数（女）

6 部位のがん（上皮内がんを含む）罹患数 年次推移（1995-2019，宮城県，女性）

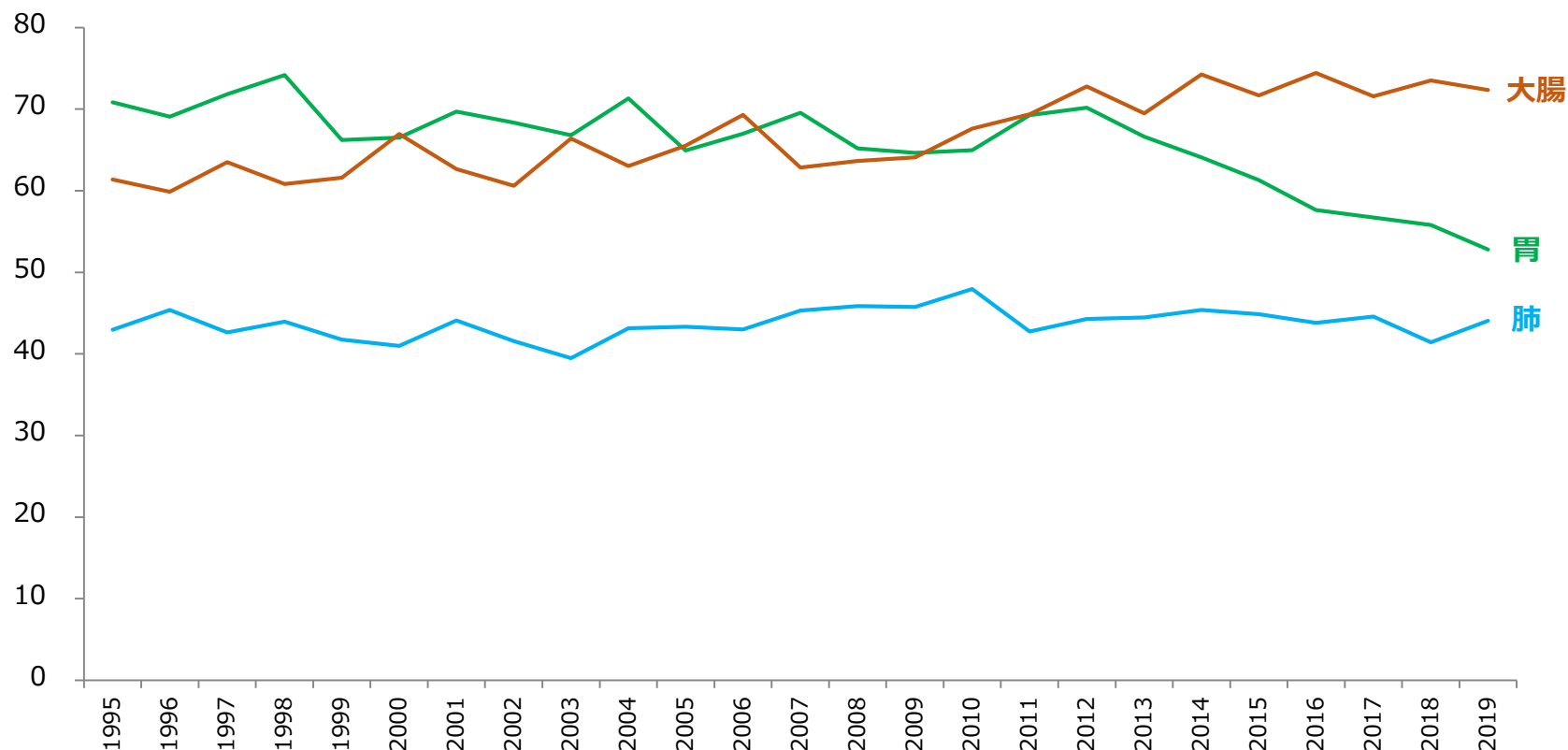


宮城県のがん年齢調整罹患数（男）

3部位のがん（上皮内がんを含む）年齢調整罹患率 年次推移（1995-2019, 男性）

年齢調整罹患率
（人口10万対）
（世界人口モデル）

宮城県

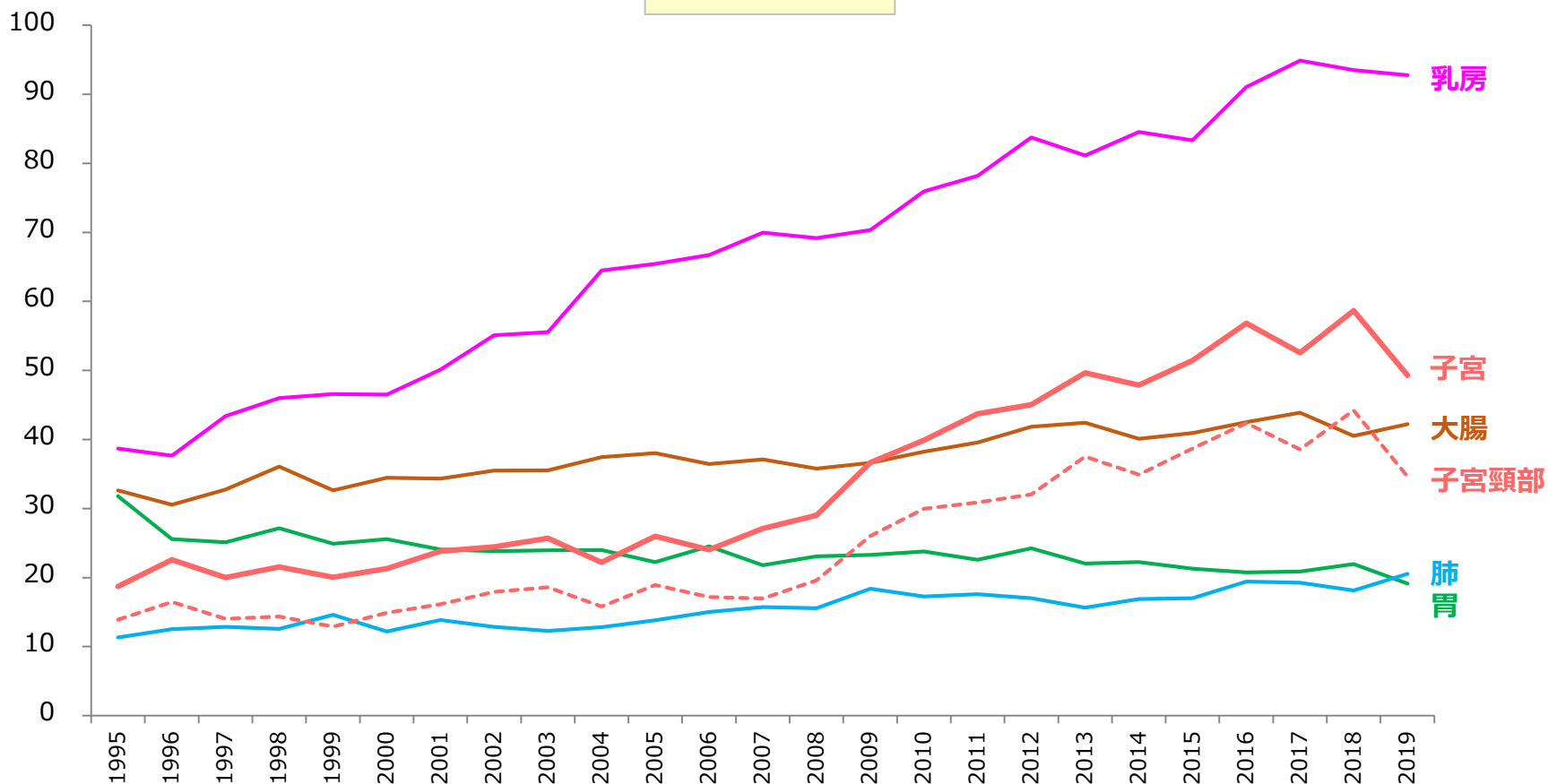


宮城県のがん年齢調整罹患数（女）

6部位のがん（上皮内がんを含む）年齢調整罹患率 年次推移（1995-2019, 女性）

年齢調整罹患率
（人口10万対）
（世界人口モデル）

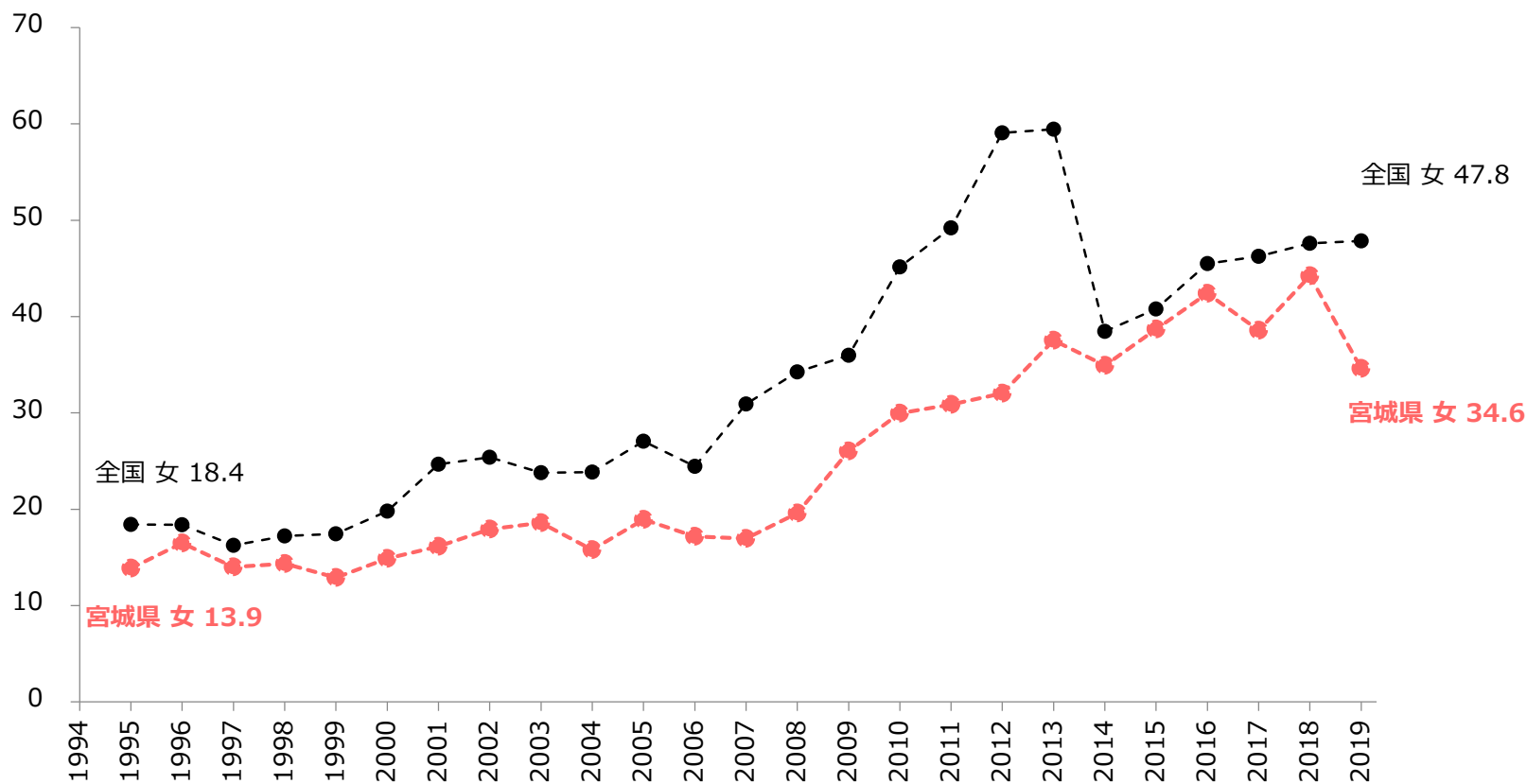
宮城県



子宮頸がんの罹患率 全国比較

子宮頸がん（上皮内がんを含む） 年齢調整罹患率 年次推移（1995-2019, 女性）

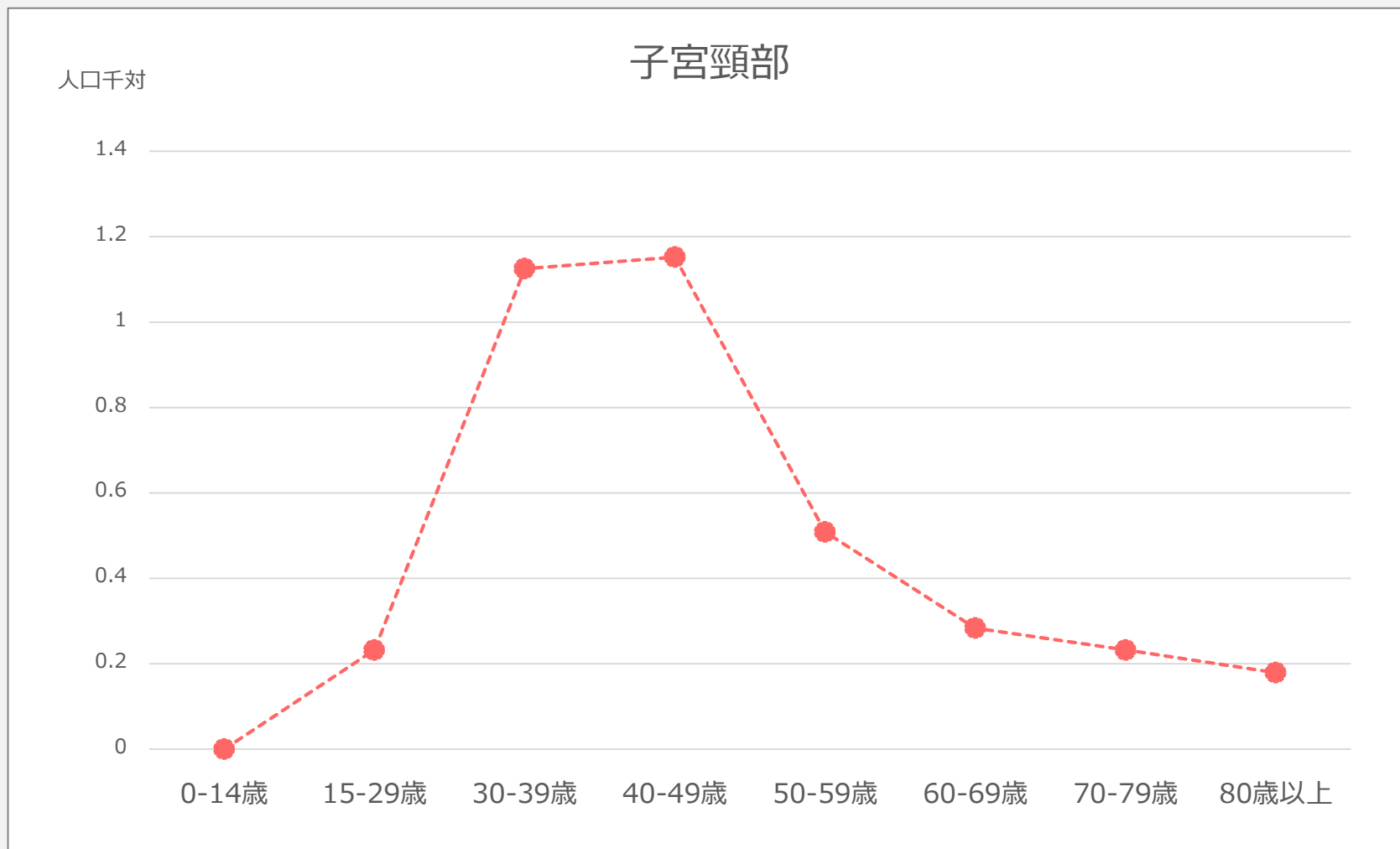
年齢調整罹患率
（人口10万対）
（世界人口モデル）



出典 全 国 : 国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録・地域がん登録全国実測値・高精度地域実測値・全国推計値）
宮城県 : 宮城県がん登録情報（宮城県がん登録室集計・再集計値）

子宮頸がん罹患率（年齢階級別）

子宮頸がんの年齢階級別罹患率（2020，宮城県，男女別）



出典 宮城県がん登録情報（宮城県がん登録室集計・再集計値）

がん登録データ

平成25（2013）年12月	がん登録等の推進に関する法律成立
平成28（2016）年 1月	全国がん登録の開始

「**全国がん登録**」とは、日本でがんと診断されたすべての人のデータを、国で1つにまとめて集計・分析・管理する新しい仕組み。

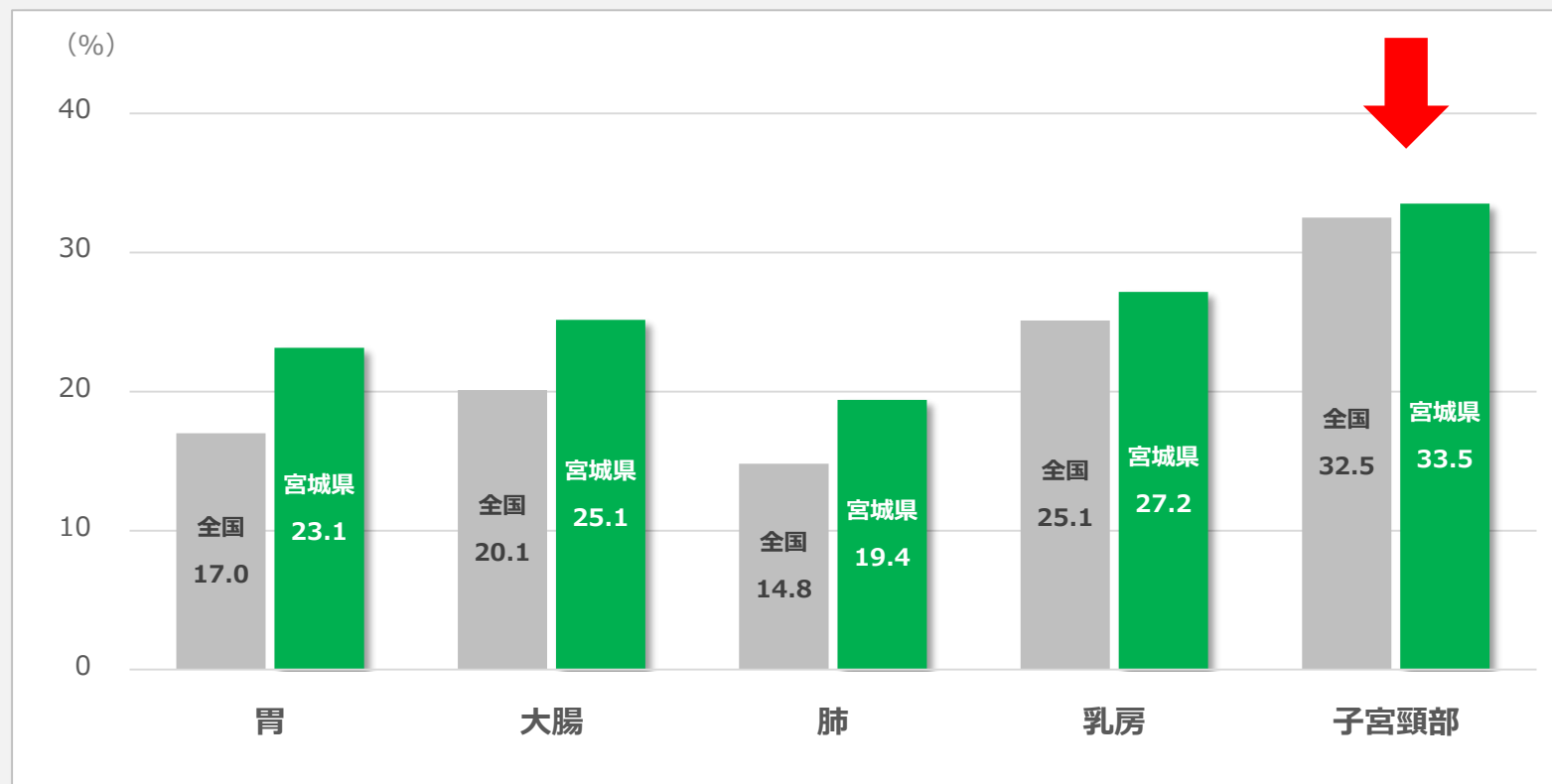
→ 宮城県内では、全病院（143病院）から罹患情報を「**宮城県がん登録室**」へ届出

主な罹患情報	
(1) 氏名、性別、生年月日、住所	
(2) がんの診断を行った医療機関名	
(3) がんの診断を受けた日	
(4) がんの種類	<input type="checkbox"/> 上皮内 <input type="checkbox"/> 限局 <input type="checkbox"/> 領域リンパ節転移 <input type="checkbox"/> 隣接臓器浸潤 <input type="checkbox"/> 遠隔転移 <input type="checkbox"/> 該当せず <input type="checkbox"/> 不明
(5) がんの進行度	<input type="checkbox"/> がん検診・健康診断・人間ドックでの発見例 <input type="checkbox"/> 他疾患の経過観察中の偶然発見 <input type="checkbox"/> 剖検発見 <input type="checkbox"/> その他 → 自覚症状等 <input type="checkbox"/> 不明
(6) がんの発見の経緯	
(7) がんの治療内容	
(8) （死亡した場合は）死亡日	
(9) その他	

【注意】
市町村が実施した
がん検診**以外も含む**
（職域検診等）

がん検診発見割合 全国比較

がん検診発見割合（2020，全国・宮城県，男女計）

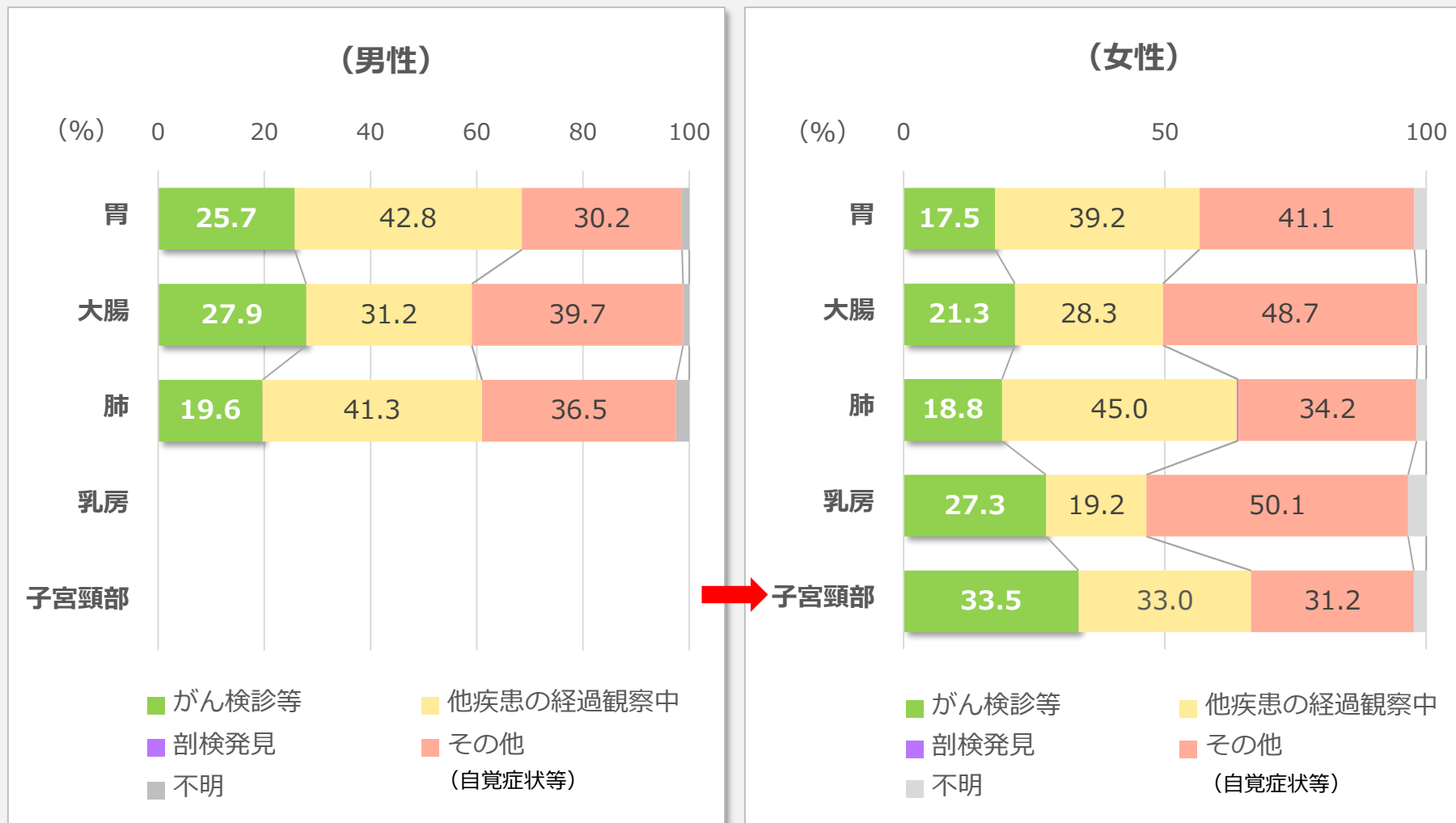


出典 宮城県がん登録情報（宮城県がん登録室集計・再集計値） 2020年 全がん罹患数 男性11,237、女性8,855人（宮城県）

すべての部位で、がん検診等（健康診断・人間ドックを含む）で発見された割合が
全国よりも高くなっていました。

部位別がん発見経緯別割合

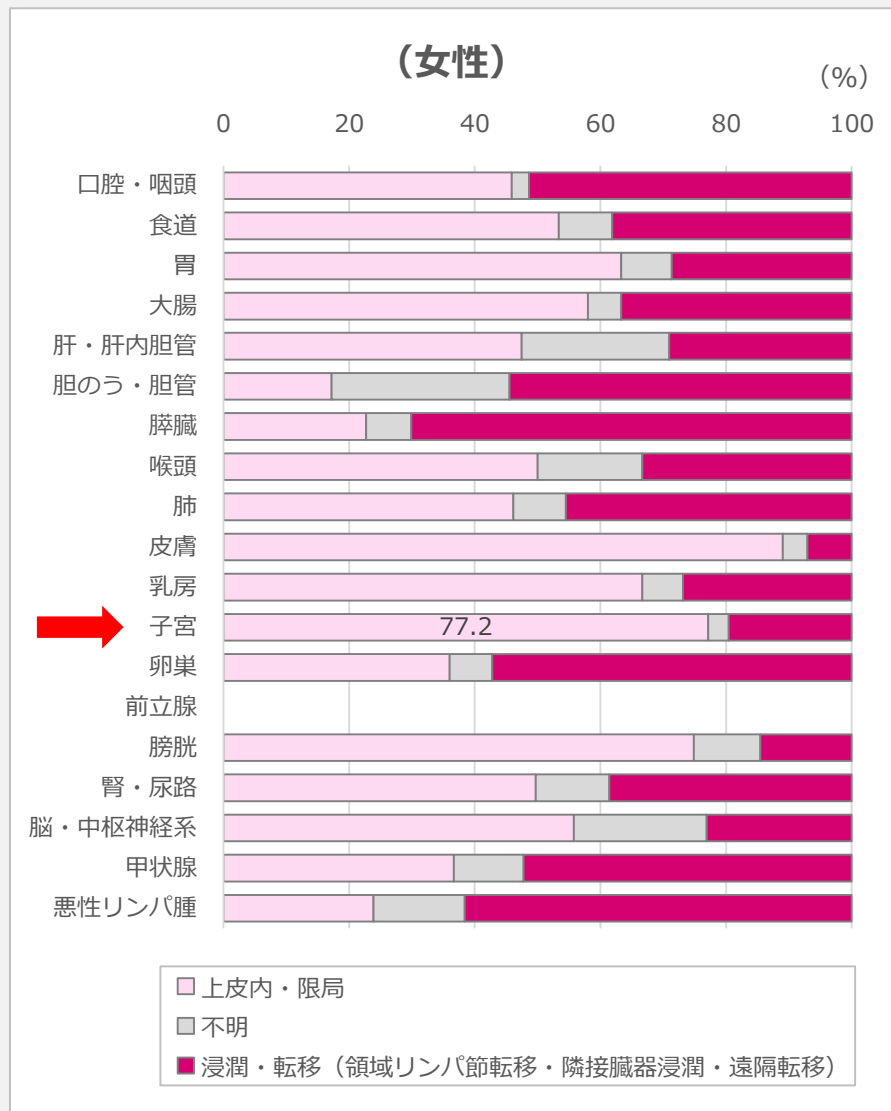
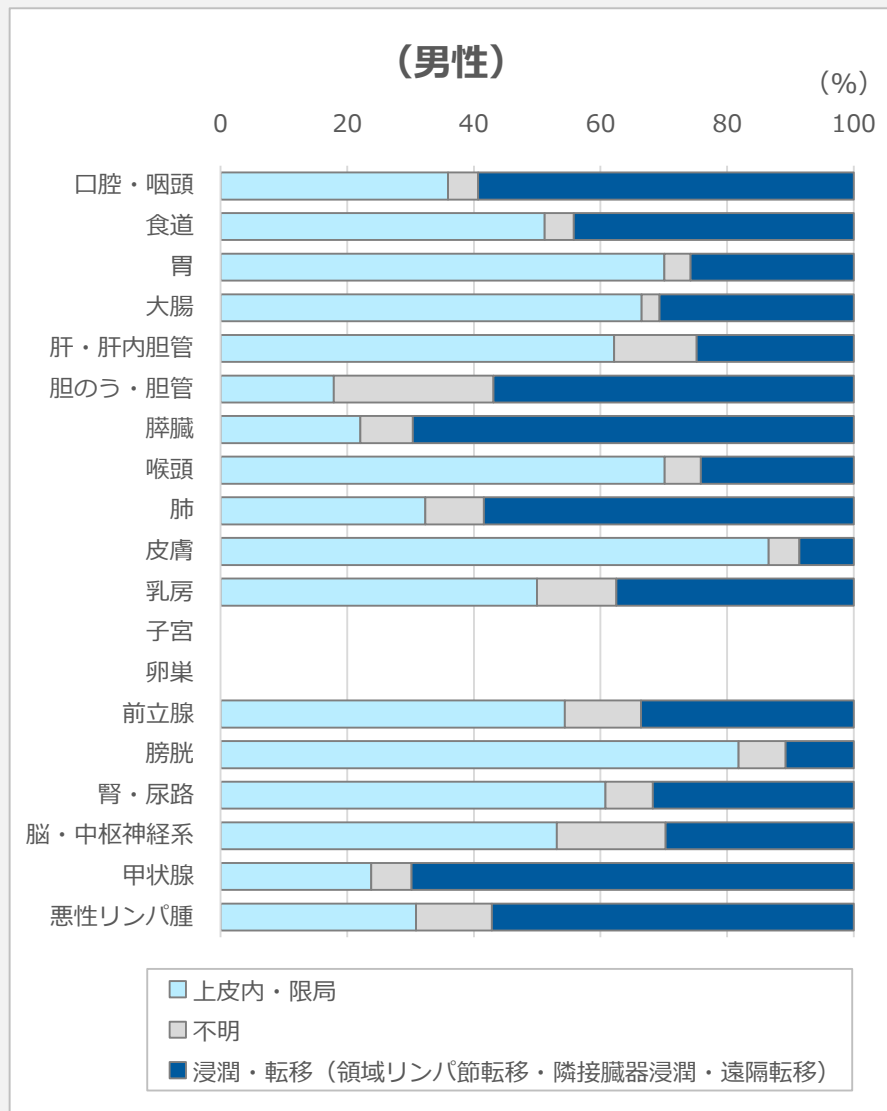
主な部位のがん発見経緯別割合（2020，宮城県，男女別）



出典 宮城県がん登録情報（宮城県がん登録室集計・再集計値）

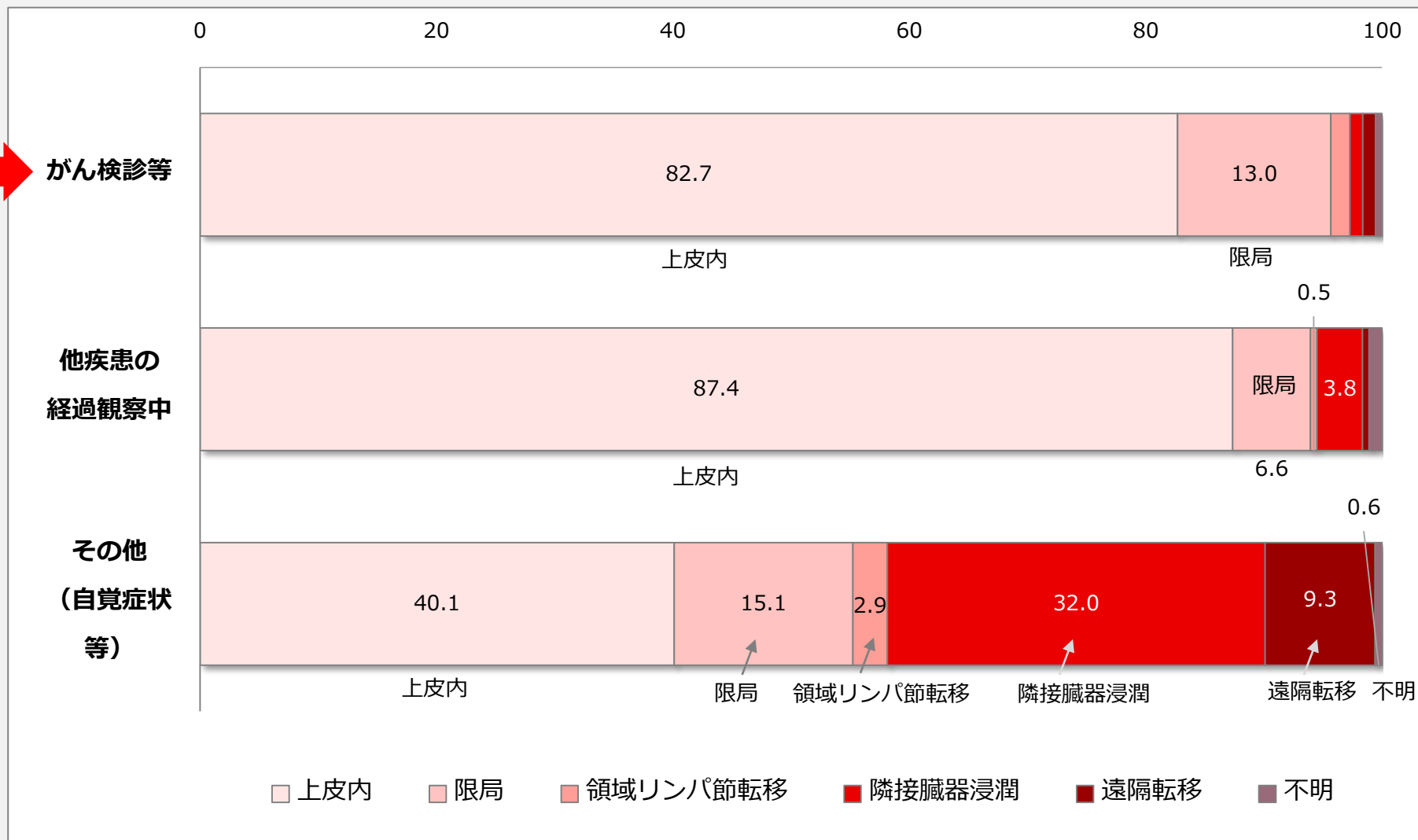
部位別 早期発見割合

がんが発見されたときの進み具合（2020，宮城県，男女別）



がん検診等による早期発見の割合

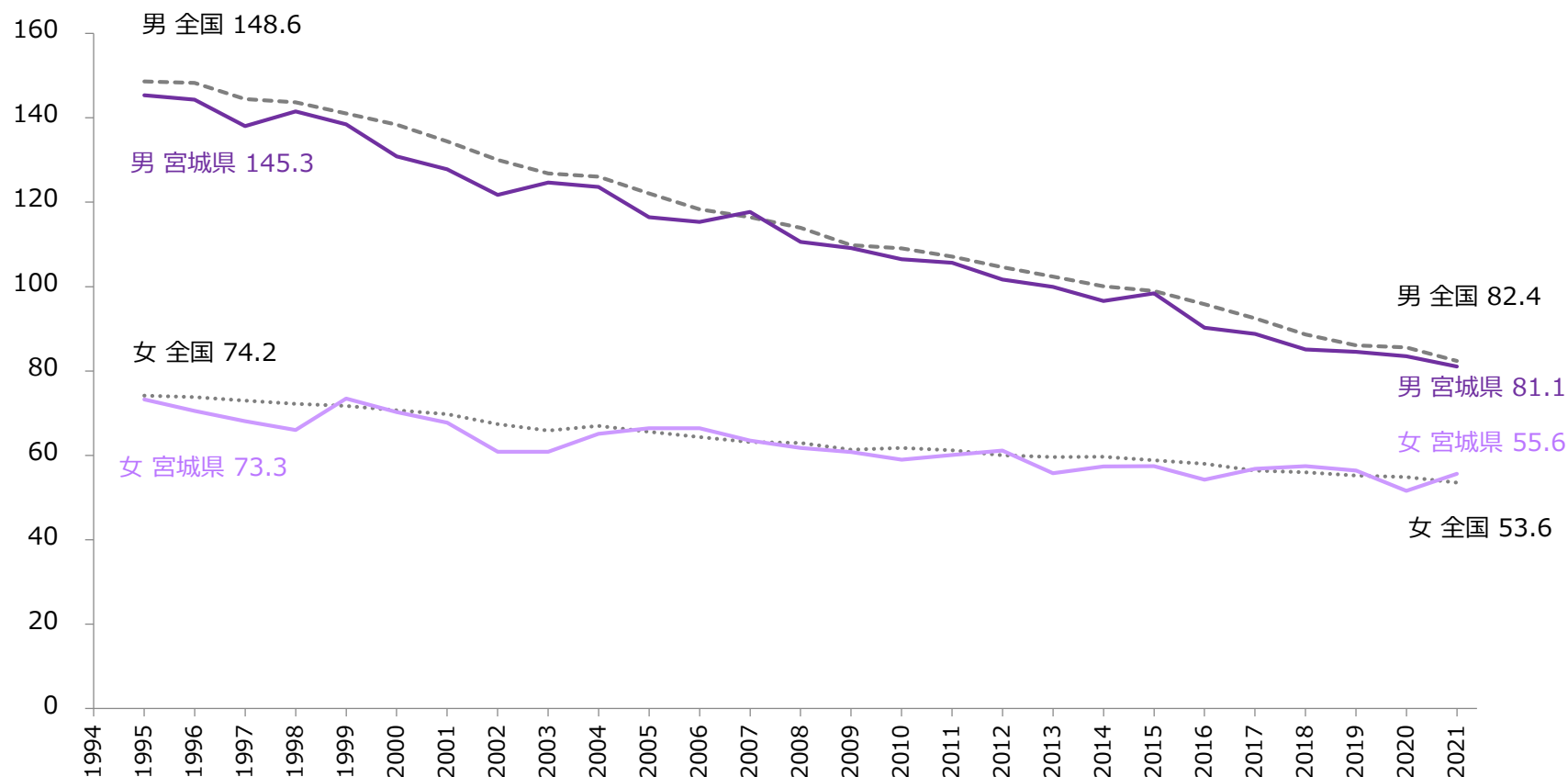
子宮頸がん がんの発見経緯と進展度（2020，宮城県，女性）



全部位の年齢調整死亡率（全部位）

悪性新生物 75歳未満年齢調整死亡率 年次推移（1995-2021，男女別）

75歳未満年齢調整死亡率
（人口10万対）
（昭和60年人口モデル）

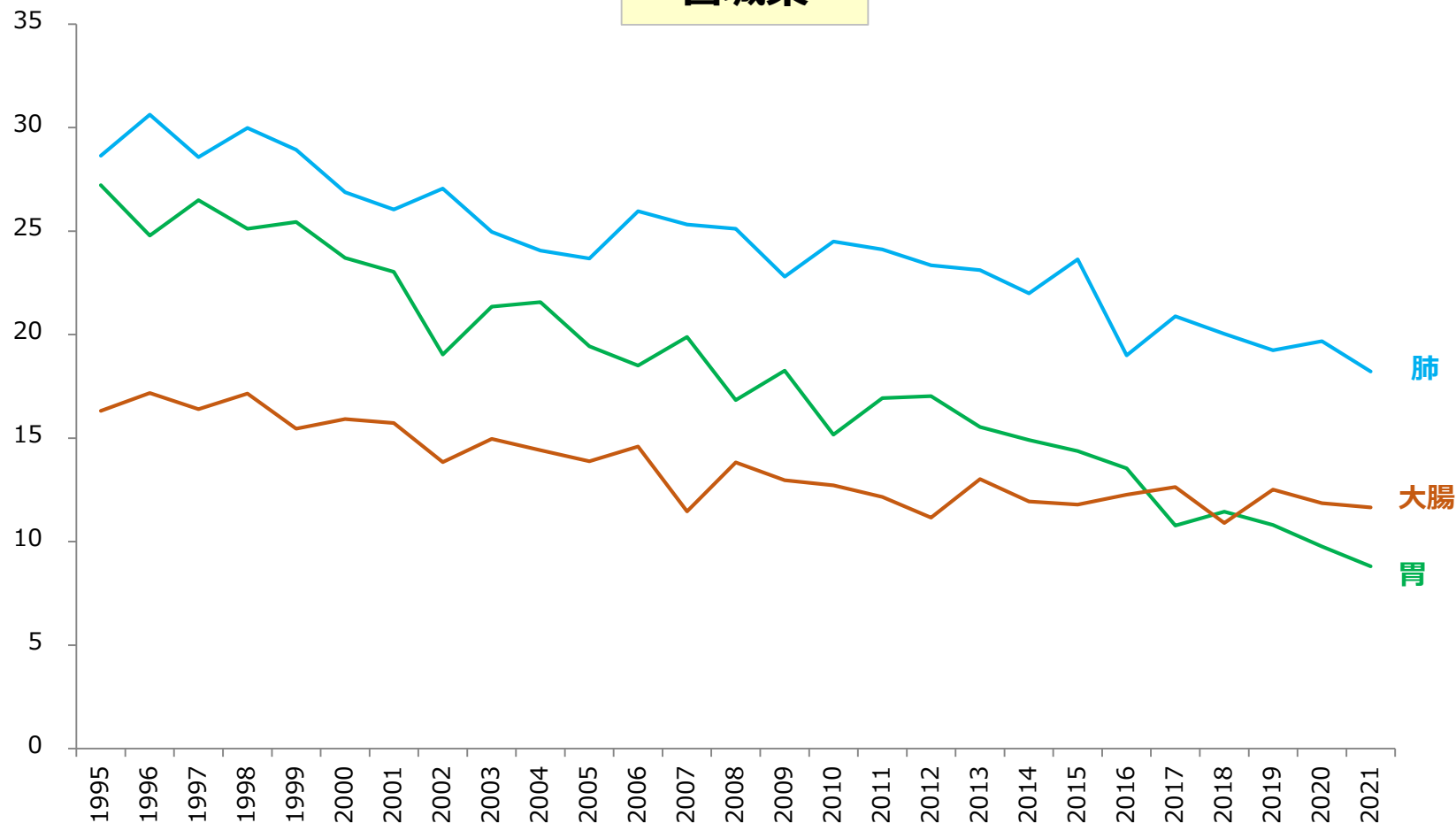


年齢調整死亡率（男） 他の部位との比較

悪性新生物 75歳未満年齢調整死亡率 年次推移（1995-2021，宮城県，男性）

75歳未満年齢調整死亡率
（人口10万対）
（昭和60年人口モデル）

宮城県

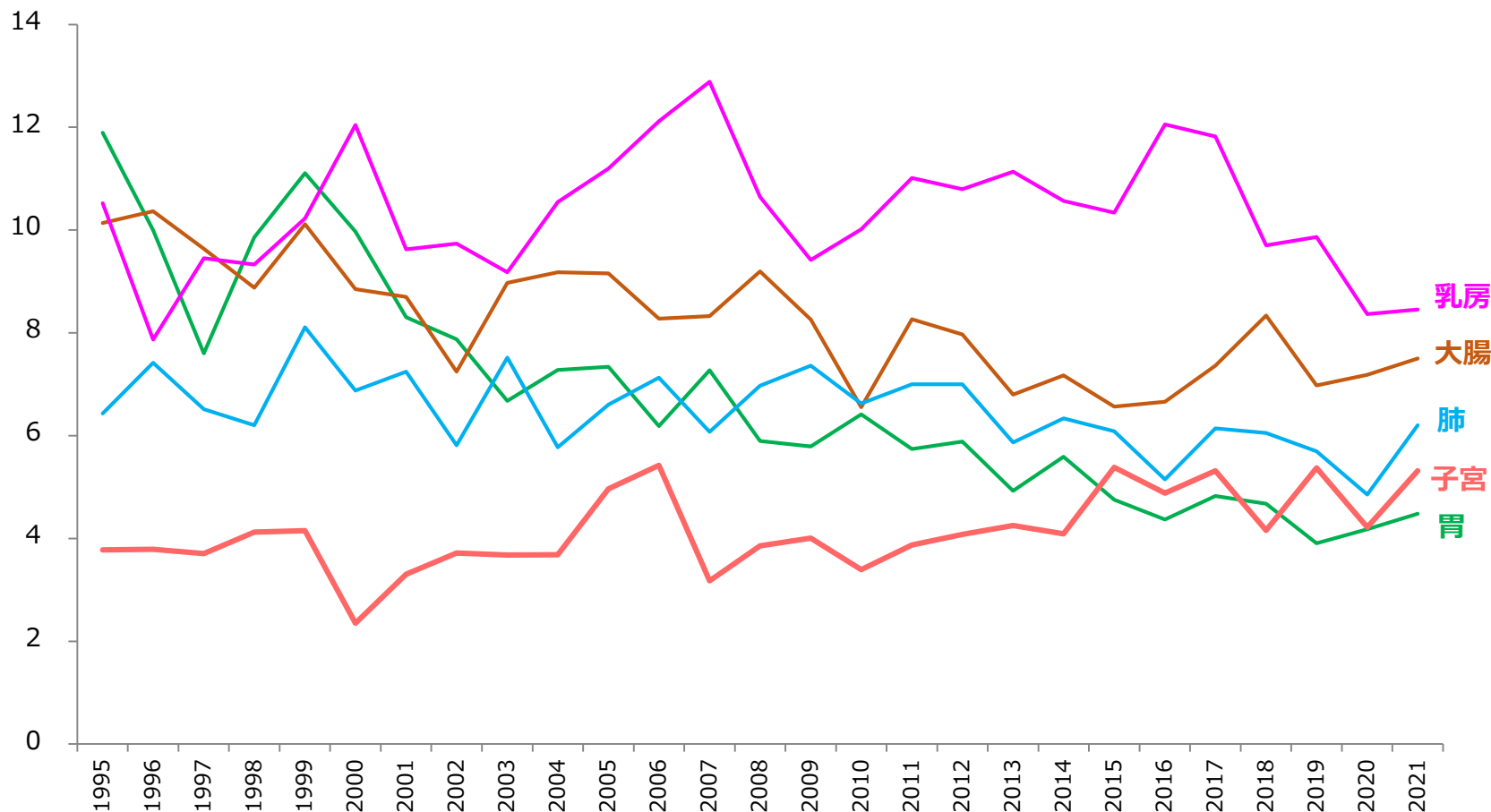


年齢調整死亡率（女） 他の部位との比較

悪性新生物 75歳未満年齢調整死亡率 年次推移（1995-2021，宮城県，女性）

75歳未満年齢調整死亡率
（人口10万対）
（昭和60年人口モデル）

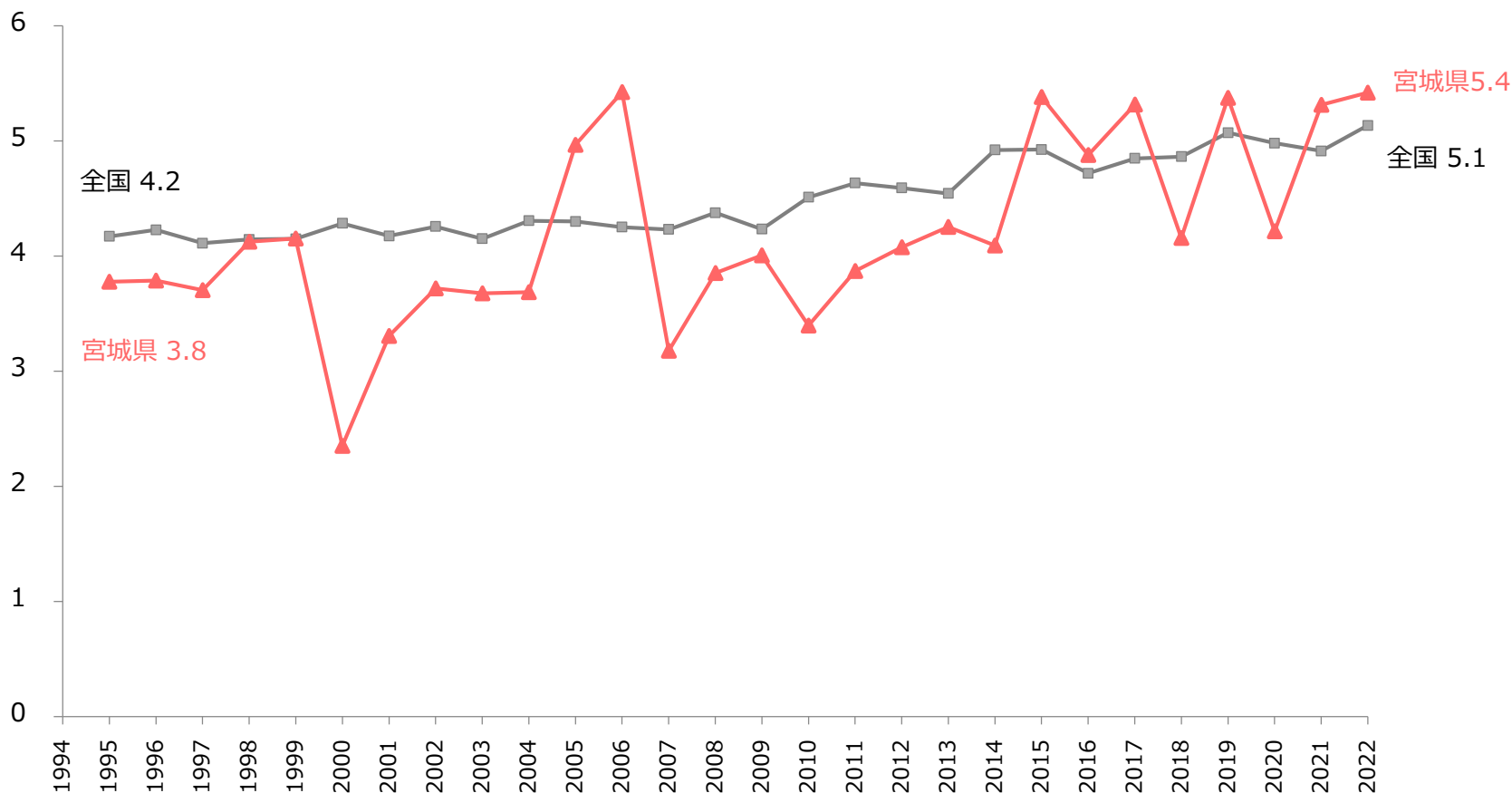
宮城県



子宮がん年齢調整死亡率 女性 経年 全国比較

子宮がん 75歳未満年齢調整死亡率 年次推移（1994-2022，女性）

75歳未満年齢調整死亡率
（人口10万対）
（昭和60年人口モデル）



子宮がん年齢調整死亡率 女性 全国順位

子宮がん 75歳未満年齢調整死亡率（2022，女性）都道府県別

年齢調整罹患率
(人口10万対)
(昭和60年人口モデル)

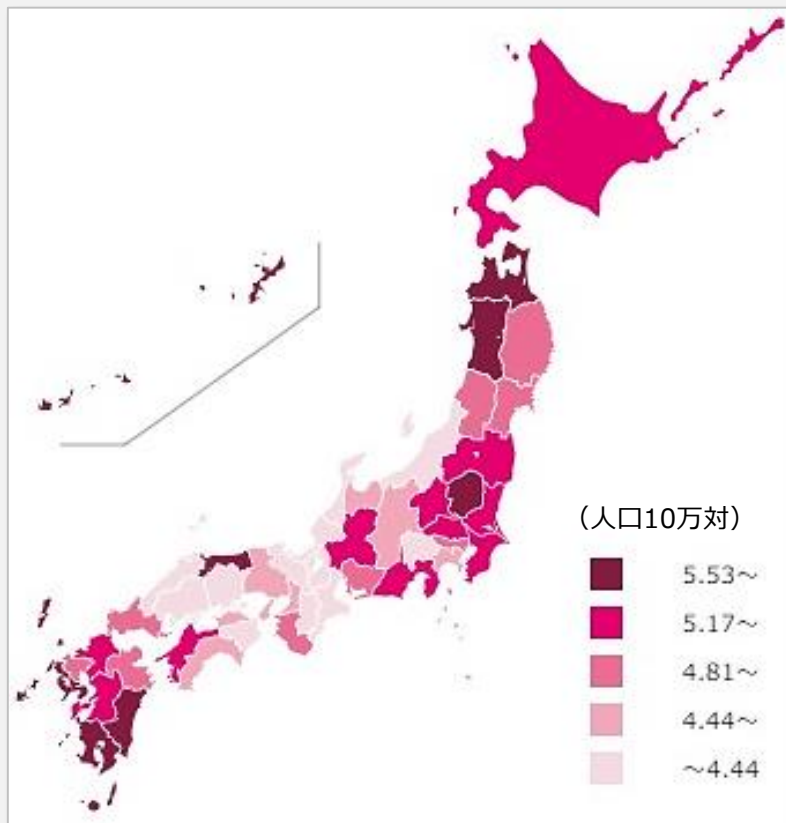


宮城県 26位（低い方から）

(参考) 子宮がん死亡率① (75歳未満 5年平均)

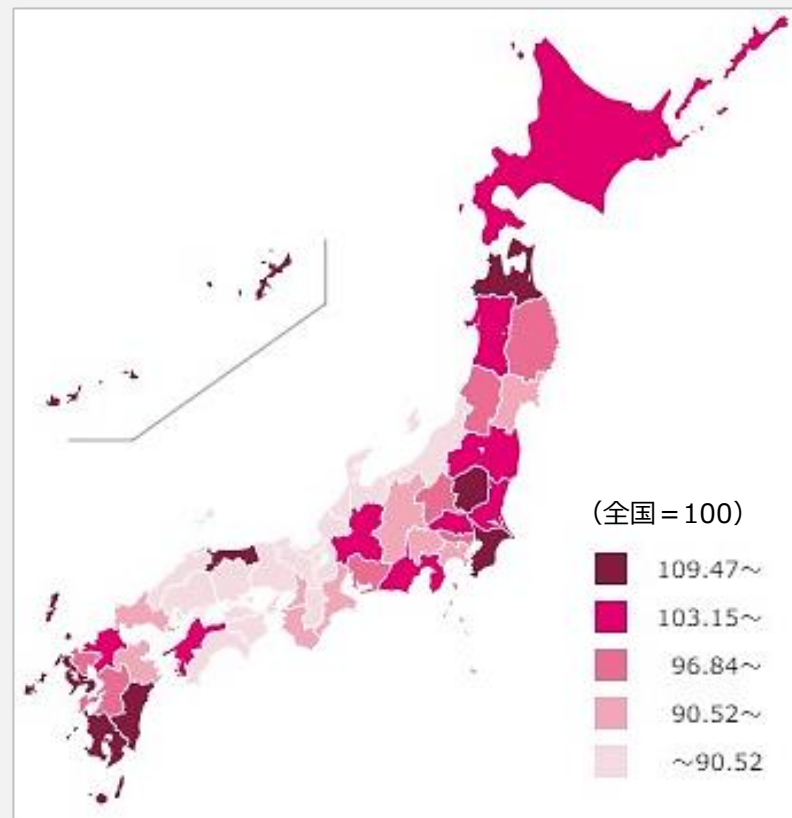
子宮がん (2018-2022平均, 女性) 都道府県別マップ

年齢調整死亡率 (75歳未満)



宮城県 4.9

標準化比 (75歳未満)

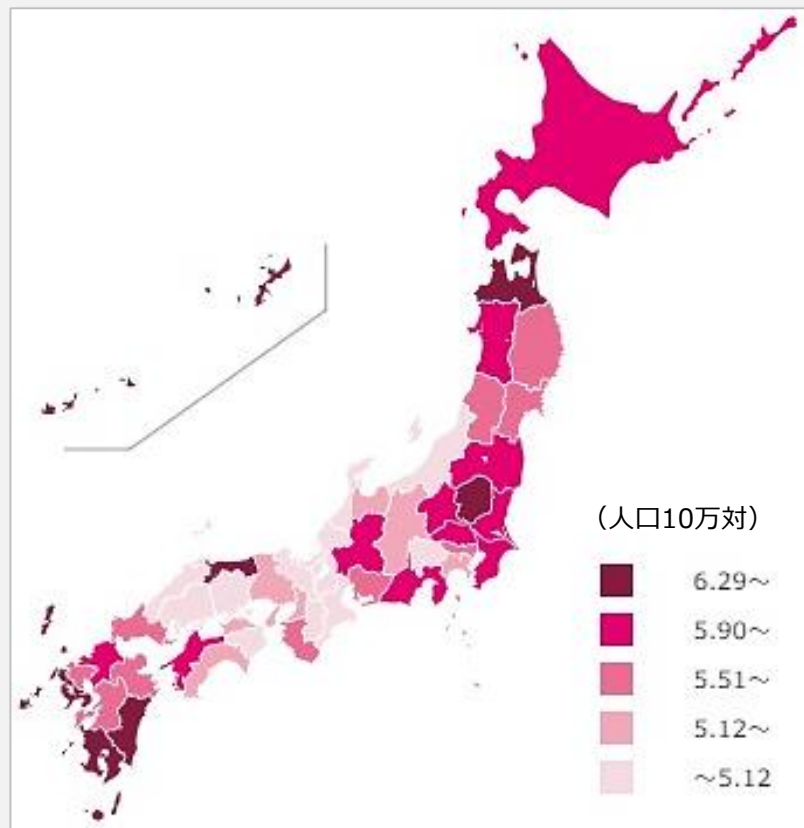


宮城県 95.5

(参考) 子宮がん死亡率② (全年齢 5年平均)

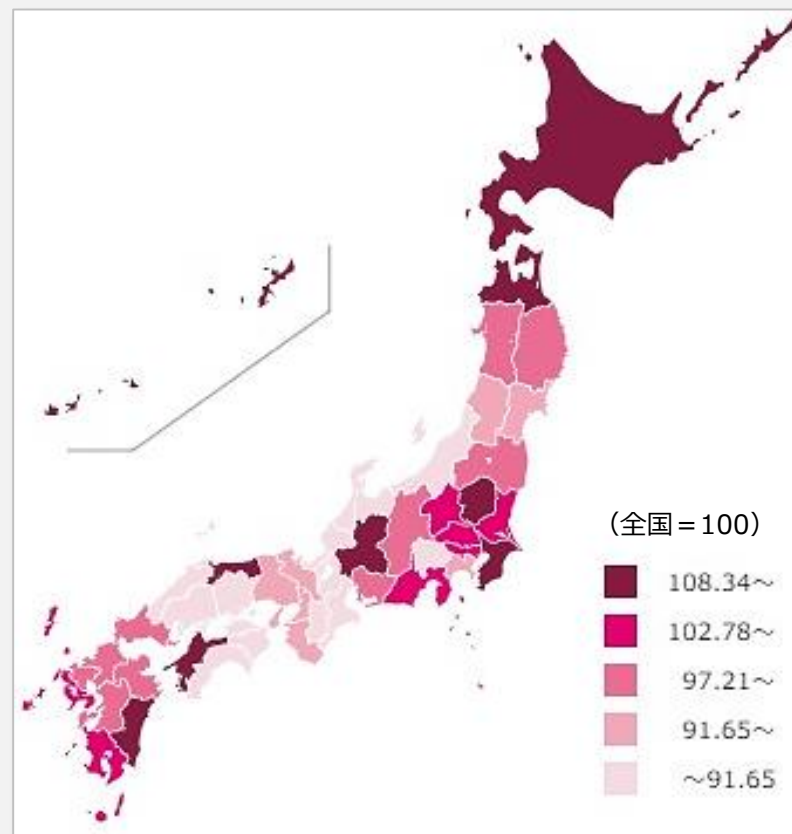
子宮がん (2018-2022平均, 女性) 都道府県別マップ

年齢調整死亡率 (全年齢)



宮城県 5.6

標準化比 (全年齢)



宮城県 96.5

アウトカム指標のまとめ（子宮がん）

- 罹患数は、増加傾向。
全国値より、やや低く推移している。
- がん検診で発見される割合が全国よりやや多く、早期発見に大きく貢献していると思われる。また、がん検診は、がんの進展度が初期（上皮内・限局）で発見される割合が高い。
- 年齢調整死亡率は、ほぼ全国と同じ値を推移しているが（年度によりバラつきあり）、過去5年平均では、全国よりやや低くなっている。



値の評価、要因等について、専門的な見地から御意見をお願いします。